

第一回

細かな数と時を扱う

数字の形だけでなく、何を数え、どの時点を示すかまで読む。

今日の中心漢字

時 半 次 期 倍 曜 順 丈

いっしょに覚える漢字

八	後	七	予	等	甲
乙	斗	曾	宵	箇	騎

時刻・期間・倍率・古い単位を確かめたあと、異なる暦と単位が混じる記録を正確に年表へ移す文章を読みます。

意味の芯 → 熟語 → 使い分け → 短文 → 文章

一 今日の中心漢字の芯

字	主な読み	意味の芯／熟語	字	主な読み	意味の芯／熟語
時 半 次 期	ジ・とき	時間／ある時点 時刻・時間・時代	倍 曜 順 丈	バイ	同じ数を重ねた量 倍率・倍増・二倍
	ハン・なかば	二つに分けた一方 半期・半分・前半		ヨウ	七日を区切る日の名 曜日・七曜・日曜
	ジ・シ・つぐ・つぎ	あとに続く／順番 次回・次第・順次		ジュン	ならび／筋道 順序・順番・手順
	キ・ゴ	定めた時／一区切り 期日・期間・期限		ジョウ・たけ	長さの単位／高さ 一丈・丈六・身丈

二 いっしょに覚える漢字

字	主な読み	意味の方向／熟語	字	主な読み	意味の方向／熟語
八 後 七 予 等 甲	ハチ・や・やつ・やっつ・よう	数の八 八日・八人・八方	乙 斗 曾 宵 箇 騎	オツ・イツ・きのと	十干の第二／第二の区分 乙種・甲乙・乙夜
	ゴ・コウ・のち・うしろ・あと・おくれる	時間や位置があと 後半・以後・後日		ト	ひしゃく／昔の容量単位 一斗・北斗・斗升
	シチ・なな・ななつ・なの	数の七 七曜・七日・七人		ソウ・ソ・かつて	以前／世代を一つ隔てる 曾祖父・曾祖母・未曾有
	ヨ・あらかじめ	前もって 予定・予告・予測		ショウ・よい	日が暮れて間もないころ 宵・今宵・宵宮
	トウ・ひとしい	同じ／段階／複数を受ける 等級・平等・一等		カ	物や場所を数える 箇所・数箇所・箇条
	コウ・カン・きのえ	十干の第一／第一の区分 甲種・甲乙・甲板		キ	馬などに乗る／乗った人を数える 騎馬・一騎・騎乗

三 漢字の働きを考えよう

次の問いに答えなさい。

(1) 「時刻」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 時間の流れの中で示される一点。
- イ 今回のあとに続く回。
- ウ 元の量に対して何倍であるかを示す割合。
- エ 物事が並んだり進んだりする前後の関係。

(2) 「半期」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア あらかじめ定められた日。
- イ 一週間の中の日を表す呼び名。
- ウ 昔の長さの単位である丈を一つ分とした長さ。
- エ 一年などの期間を二つに分けた一方。

(3) 「次回」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 元の量に対して何倍であるかを示す割合。
- イ 物事が並んだり進んだりする前後の関係。
- ウ 今回のあとに続く回。
- エ 時間の流れの中で示される一点。

(4) 「期日」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 一週間の中の日を表す呼び名。
- イ あらかじめ定められた日。
- ウ 昔の長さの単位である丈を一つ分とした長さ。
- エ 一年などの期間を二つに分けた一方。

(5) 「倍率」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 元の量に対して何倍であるかを示す割合。
- イ 物事が並んだり進んだりする前後の関係。
- ウ 時間の流れの中で示される一点。
- エ 今回のあとに続く回。

(6) 「曜日」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 昔の長さの単位である丈を一つ分とした長さ。
- イ 一年などの期間を二つに分けた一方。
- ウ あらかじめ定められた日。
- エ 一週間の中の日を表す呼び名。

四 熟語を広げよう

次の文に合う熟語を、語群から選んで書きなさい。

【語群】 時刻 曜日 七曜 半期 順序 予定 次回 一丈 等級 期日 八日 甲種 倍率 後半

(1) 集合の（ ）を間違えないよう、案内を確認した。

(8) 古文書には、塀の高さが（ ）ほどあったと記されている。

(2) 今年度の上（ ）は、売上が前年を上回った。

(9) 旅行に出てから（ ）目に帰宅した。

(3) 続きは（ ）の授業で扱う。

(10) 試合の（ ）に流れが大きく変わった。

(4) 申請の（ ）は今月末です。

(11) 古代の天文学では、日・月と五惑星を合わせて（ ）とした。

(5) 顕微鏡の（ ）を上げ、細部を観察した。

(12) 雨の（ ）だったが、朝には晴れた。

(6) 燃えるごみを出せる（ ）を確認する。

(13) 品質を三つの（ ）に分けて表示する。

(7) 作業の（ ）を決めてから取りかかった。

(14) 募集要項では、最も高い区分を（ ）とした。

五 似た語を使い分けよう

それぞれの語の違いとして、最も適切なものを選びなさい。

(1) 「時刻」と「期間」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 時刻は始まりから終わりまでの幅、期間は時間の流れの中の一点を表す。
- イ 時刻は時間の流れの中の一点、期間は始まりから終わりまでの幅を表す。
- ウ どちらも時間を数字で表すため、一点か幅かを分ける必要はない。
- エ 時刻は昼だけ、期間は夜だけを表す。

(2) 「次回」と「次期」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 次回は今の期間に続く次の期間、次期は今の回に続く次の回を表す。
- イ どちらも後に続くものなので、回と期間の違いはない。
- ウ 次回は一日以内、次期は一年以上の場合だけに用いる。
- エ 次回は今の回に続く次の回、次期は今の期間に続く次の期間を表す。

(3) 「甲種」と「乙種」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 甲種は分類上で乙と名づけた種類、乙種は分類上で甲と名づけた種類を表す。
- イ 甲種は分類上で甲と名づけた種類、乙種は分類上で乙と名づけた種類を表す。
- ウ 甲種は必ず優れ、乙種は必ず劣るという価値の上下を表す。
- エ 甲種は人、乙種は物を分類するときだけに用いる。

(4) 「一丈」と「一斗」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 一丈は斗を単位に量る容量、一斗は丈を単位に測る長さを表す。
- イ どちらも古い単位なので、長さか容量かを区別しなくてよい。
- ウ 一丈は小さい量、一斗は大きい量を表すだけである。
- エ 一丈は丈を単位に測る長さ、一斗は斗を単位に量る容量を表す。

(5) A・Bに入る語の組合せとして、最も適切なものを選びなさい。A「出発の(A)を記す」 B「調査の(B)を区切る」

- ア A=時刻/B=期間 イ A=期間/B=時刻
- ウ A=時刻/B=時刻 エ A=期間/B=期間

(6) A・Bに入る語の組合せとして、最も適切なものを選びなさい。A「(A)の帳票を使う」 B「(B)の資料を別置する」

- ア A=乙種/B=甲種 イ A=甲種/B=乙種
- ウ A=甲種/B=甲種 エ A=乙種/B=乙種

六 短文で使ってみよう

A カタカナを漢字に直しなさい。

- | | |
|---------------------------|----------------------------------|
| (1) 調査に使えるジカンは、あと一時間しかない。 | (9) 班はハッポウに分かれ、町の痕跡を探した。 |
| (2) 新路線の開通で、駅の利用者がバイゾウした。 | (10) 二つの作品は優劣をつけがたく、コウオツなしと評された。 |
| (3) 大きな紙をハンブンに折り、二人で分けた。 | (11) これイゴは、申請をオンラインで受け付ける。 |
| (4) ニチヨウの朝は、家族でゆっくり食事をする。 | (12) 放送の最後に、次回の内容をヨコクした。 |
| (5) 話し合いの結果シダイで、実施日を決める。 | (13) 展覧会でイトウに選ばれ、賞状を受け取った。 |
| (6) 安全な作業のテジュンを、図で確認した。 | (14) 船のカンパンから、遠ざかる港を眺めた。 |
| (7) 展示のキカンは、今月末までである。 | (15) 夜空のホクト七星を目印に、北の方角を確かめた。 |
| (8) 仏像の高さを表す古い語にジョウロクがある。 | |

B 次の熟語の読みを書きなさい。

- | | | | | |
|-------------|--------------|------------|-------------|-------------|
| (16) 一斗 () | (17) 曾祖父 () | (18) 宵 () | (19) 箇所 () | (20) 騎馬 () |
|-------------|--------------|------------|-------------|-------------|

七 文章の中で考えよう

次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

二つの暦を一つの年表へ移す

町の最終展示へ向け、悠人と真央は二種類の当番簿を比べた。一方は曜日と時刻、もう一方は甲・乙の記号と古い単位で記され、同じ出来事でも順序の示し方が異なっていた。

新しい簿冊には「八日午前」「次回は後半期」とある。

八日は月の八番目の日か八日間か、半期の後半か次期かを前後から確かめた。予定の期日だけを見て期間まで決めてはならない。

【移す前に確かめる欄】 暦／時刻か期間か／何の数か／単位／原文

一方の暦だけに合わせると、もう一方の記録が一日ずれて見えた。二人は正解を一つに固定せず、換算の式を札の裏に残した。

古い帳簿では甲種と乙種が資料の等級ではなく、保管場所の区分だった。甲が優れ乙が劣るという意味ではない。倍率の数字も、原図に対する拡大率か人数の比かで読み方が変わる。

長さは一丈、米は一斗、馬は一騎、注意箇所は三箇所と数えられていた。七曜の名や宵の時刻も現代の曜日表記へ直したが、換算前の語を欄外に残した。

家系の注記には曾祖父、巡回記録には「後七日」とある。

曾は一世代隔てた関係を示す一方、「かつて」の意味でも使われる。数字と字面だけで同じ列へ入れると、関係と時間が混ざる。

二人は出来事を日付順に置いた後、換算の根拠を添えた。次の記録が次回なのか次期なのかも明記する。古い表現を消さず、現代の値と並べれば、後から別の換算を検討できる。

真央は「細かい数字より、違う数え方をつなぐ説明が要るね」と言った。年表の余白には、迷った理由も短く書き添えた。

精密な年表は数字を細かくするだけではない。何を数えたか、どの時点か、どの単位かを区別し、予測ではなく根拠に沿ってそろえることで、異なる記録を初めて比べられる。

七 文章の中で考えよう（問い）

本文を根拠にして答えなさい。

(1) 本文中から、「分類上で甲と名づけた種類」という意味で使われている熟語を抜き出しなさい。

(2) 「バイリツ」を漢字 2 字で書きなさい。

(3) 本文中の「一斗」の意味として最も近いものを選びなさい。

ア 昔の長さの単位である丈を一つ分とした長さ。

イ 馬に乗った人を一つと数える言い方。

ウ 昔の容量の単位である斗を一つ分とした量。

エ 日が暮れて間もない時間。

(4) 二人が換算前の語を欄外に残した理由として最も適切なものを選びなさい。

ア 古い単位はすべて現代より正確だから。

イ 換算の根拠を示し、別の読み方が出たとき原文へ戻って確かめられるから。

ウ 年表の数字をできるだけ多く見せるため。

エ 甲種と乙種の価値の上下を示すため。

(5) 甲種と乙種を価値の上下と決めなかったのはなぜか。45～55 字で説明しなさい。

(6) 「単位」「換算」の二語を用い、古い記録を年表へ移す方法を 70～90 字でまとめなさい。

三 漢字の働きを考えよう

- | | |
|-------------------------|---------------------------|
| (1) ア 時間の流れの中で示される一点。 | (4) イ あらかじめ定められた日。 |
| (2) エ 一年などの期間を二つに分けた一方。 | (5) ア 元の量に対して何倍であるかを示す割合。 |
| (3) ウ 今回のあとの続く回。 | (6) エ 一週間の中の日を表す呼び名。 |

四 熟語を広げよう

- | | |
|--------|---------|
| (1) 時刻 | (8) 一丈 |
| (2) 半期 | (9) 八日 |
| (3) 次回 | (10) 後半 |
| (4) 期日 | (11) 七曜 |
| (5) 倍率 | (12) 予定 |
| (6) 曜日 | (13) 等級 |
| (7) 順序 | (14) 甲種 |

使い分けを確かめよう：時刻は時間の流れの中の一点、期間は始まりから終わりまでの幅を表す。

五 似た語を使い分けよう

(1) イ 時刻は時間の流れの中の一点、期間は始まりから終わりまでの幅を表す。

用例：出発の時刻を記す／調査の期間を区切る

(2) エ 次回は今の回に続く次の回、次期は今の期間に続く次の期間を表す。

用例：次回の会合を予告する／次期の委員を選ぶ

(3) イ 甲種は分類上で甲と名づけた種類、乙種は分類上で乙と名づけた種類を表す。

用例：甲種の帳票を使う／乙種の資料を別置する

(4) エ 一丈は丈を単位に測る長さ、一斗は斗を単位に量る容量を表す。

用例：布の長さは一丈／米の量は一斗

(5) ア A＝時刻、B＝期間。(1)の使い分けを参照。

(6) イ A＝甲種、B＝乙種。(3)の使い分けを参照。

六 短文で使ってみよう

(1) 時間	(11) 以後
(2) 倍増	(12) 予告
(3) 半分	(13) 一等
(4) 日曜	(14) 甲板
(5) 次第	(15) 北斗
(6) 手順	(16) いっと
(7) 期間	(17) そうそふ
(8) 丈六	(18) よい
(9) 八方	(19) かしょ
(10) 甲乙	(20) きば

七 文章の中で考えよう

- (1) 甲種 本文中では「甲種」と表されている。
- (2) 倍率
- (3) ウ 昔の容量の単位である斗を一つ分とした量。
- (4) イ 換算の根拠を示し、別の読み方が出たとき原文へ戻って確かめられるから。
- (5) 解答例（48 字）

帳簿では資料の保管場所を分ける記号として使われ、優劣を示す根拠が本文にも分類表にもなかったため。

見る点：本文中の判断と、その理由を結びつけていること

- (6) 解答例（76 字）

数字の前後から何を数えたかと単位を確かめ、現代の値へ換算する。原文の表記と根拠も残し、時刻・期間・回数を別の欄に置いて後から判断を検証できるようにする。

見る点：指定語を用いたこと／本文の具体と結論を結んだこと

第二回

隔たりと地勢

地図の向きと基準を明示し、似た地形の境界を細かく読む。

今日の中心漢字

右 谷 州 岡 湾 岬 崖 麓

いっしょに覚える漢字

左	柱	底	帯	沢	江
邦	勾	距	偏	隙	頓

右岸・左岸、湾・入り江、距離・勾配などを確かめたあと、古地図と測量図のずれから地勢を復元する文章を読みます。

意味の芯 → 熟語 → 使い分け → 短文 → 文章

一今日の中心漢字の芯

字	主な読み	意味の芯／熟語	字	主な読み	意味の芯／熟語
右 谷 州 岡	ウ・ユウ・みぎ	右の方 右岸・右側・左右	湾	ワン	海が陸地へ入り込んだ所 湾口・湾岸・港湾
	コク・たに	山の間の低い所 峡谷・谷底・溪谷	岬	みさき	海や湖へ突き出た陸地 岬・岬角・岬端
	シュウ・す	川の中の陸地／行政区 中州・州都・九州	崖	ガイ・がけ	切り立った斜面 断崖・崖下・懸崖
	コウ・おか	小高い土地 岡・岡山・岡辺	麓	ロク・ふもと	山の下の部分 山麓・麓・北麓

二いっしょに覚える漢字

字	主な読み	意味の方向／熟語	字	主な読み	意味の方向／熟語
左 柱 底 帯 沢 江	サ・ひだり	左の方 左岸・左側・左右	邦	ハウ	国／地域 邦域・本邦・異邦
	チュウ・はしら	支える縦材／中心 標柱・支柱・石柱	勾	コウ	曲がる／傾き 勾配・勾玉・急勾配
	テイ・そこ	いちばん下 谷底・海底・底部	距	キョ	へだたり 距離・遠距離・測距
	タイ・おび・おび る	細長く続く範囲 沿岸帯・地帯・帯状	偏	ヘン・かたよる	一方へ寄る 偏在・偏り・偏向
	タク・さわ	水のある低地／潤い 沢地・沼沢・山沢	隙	ゲキ・すき	物の間／すき 間隙・隙間・空隙
	コウ・え	大きな川／入り江 入り江・江河・入江	頓	トン	急に／途中で止まる 頓挫・整頓・頓着

三 漢字の働きを考えよう

次の問いに答えなさい。

(1) 「右岸」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 川の流れの中に土砂が積もってできた陸地。
- イ 川の下流を向いたとき右側に当たる岸。
- ウ 湾が外海へ開いている入口。
- エ 切り立って険しく落ち込んだ崖。

(2) 「峡谷」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 山地を川などが深く刻んでできた細長い谷。
- イ なだらかに盛り上がった小高い土地。
- ウ 海や湖の中へ細く突き出した陸地。
- エ 山のふもとに広がる土地。

(3) 「中州」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 湾が外海へ開いている入口。
- イ 切り立って険しく落ち込んだ崖。
- ウ 川の下流を向いたとき右側に当たる岸。
- エ 川の流れの中に土砂が積もってできた陸地。

(4) 「岡」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 海や湖の中へ細く突き出した陸地。
- イ 山のふもとに広がる土地。
- ウ なだらかに盛り上がった小高い土地。
- エ 山地を川などが深く刻んでできた細長い谷。

(5) 「湾口」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 切り立って険しく落ち込んだ崖。
- イ 湾が外海へ開いている入口。
- ウ 川の下流を向いたとき右側に当たる岸。
- エ 川の流れの中に土砂が積もってできた陸地。

(6) 「岬」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 海や湖の中へ細く突き出した陸地。
- イ 山のふもとに広がる土地。
- ウ 山地を川などが深く刻んでできた細長い谷。
- エ なだらかに盛り上がった小高い土地。

四 熟語を広げよう

次の文に合う熟語を、語群から選んで書きなさい。

【語群】 右岸 岬 谷底 峡谷 断崖 沿岸帯 中州 山麓 沢地 岡 左岸 入り江 湾口 標柱

(1) 下流へ向かって右手に当たる川の（ ）に遊歩道が続く。

(8) 村は山の（ ）に沿って広がっている。

(2) 深い（ ）を流れる川の音が岩壁に響く。

(9) 下流へ向かって左手に当たる川の（ ）には畑が広がる。

(3) 川の（ ）に草木が茂り、鳥が集まっている。

(10) 道の境を示す（ ）が雪に埋もれていた。

(4) なだらかな（ ）の上に古い城跡がある。

(11) 橋の上から深い（ ）をのぞき込んだ。

(5) 船は速度を落として狭い（ ）へ入った。

(12) 海と陸が接する（ ）の生態系を調べる。

(6) 海へ突き出た（ ）の先に白い灯台が立つ。

(13) 水を多く含む（ ）には、特有の植物が育つ。

(7) 海に面した（ ）の上から波を見下ろした。

(14) 波の静かな（ ）に小舟を係留した。

五 似た語を使い分けよう

それぞれの語の違いとして、最も適切なものを選びなさい。

(1) 「右岸」と「左岸」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 右岸は下流を向いたとき右側の岸、左岸は下流を向いたとき左側の岸を表す。
- イ 右岸は下流を向いたとき左側の岸、左岸は下流を向いたとき右側の岸を表す。
- ウ 見る人が地図の上を向いたときの左右で決まり、川の流れは関係しない。
- エ 右岸は東側、左岸は西側に固定される。

(2) 「湾」と「入り江」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 湾は海や湖が陸へ入り込んだ地形の一般的な呼び方、入り江は海が陸へ入り込む比較的大きな水域を表す。
- イ どちらも水が陸へ入るので、規模や用法を確かめる必要はない。
- ウ 湾は海が陸へ入り込む比較的大きな水域、入り江は海や湖が陸へ入り込んだ地形の一般的な呼び方を表す。
- エ 湾は海、入り江は川にだけ用いる。

(3) 「距離」と「勾配」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 距離は二地点の間の隔たり、勾配は斜面の傾きの程度を表す。
- イ 距離は斜面の傾きの程度、勾配は二地点の間の隔たりを表す。
- ウ どちらも地図上の長さを示し、水平の隔たりと傾きは同じである。
- エ 距離は平地、勾配は山頂だけで測る。

(4) 「断崖」と「谷底」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 断崖は谷の最も低い部分、谷底は切り立って落ち込む斜面を表す。
- イ どちらも低い場所を指し、斜面か底面かを区別しない。
- ウ 断崖は切り立って落ち込む斜面、谷底は谷の最も低い部分を表す。
- エ 断崖は岩、谷底は土でできた場合だけを表す。

(5) A・Bに入る語の組合せとして、最も適切なものを選びなさい。A「(A) 口を測る」 B「小さな(B) に舟を置く」

- ア A=入り江／B=湾 イ A=湾／B=湾
- ウ A=湾／B=入り江 エ A=入り江／B=入り江

(6) A・Bに入る語の組合せとして、最も適切なものを選びなさい。A「(A) の縁に近づかない」 B「(B) を川が流れる」

- ア A=谷底／B=断崖 イ A=断崖／B=断崖
- ウ A=谷底／B=谷底 エ A=断崖／B=谷底

六 短文で使ってみよう

A カタカナを漢字に直しなさい。

- | | |
|------------------------------|------------------------------|
| (1) 通路のミギガワに寄り、対向する人へ道を空けた。 | (9) 探査船が深いカイテイの地形を調べた。 |
| (2) ワンガン地域には、大きな工場が並んでいる。 | (10) 温暖なチタイでは、二期作が行われる。 |
| (3) 深いケイコクを川が蛇行して流れている。 | (11) 多くのコウガが平野を潤し、文明を育てた。 |
| (4) その州のシュウトには、議会と行政機関が置かれる。 | (12) 坂のコウバイを測り、安全な道を設計した。 |
| (5) 断崖に垂れ下がるケンガイ造りの松を鑑賞した。 | (13) 二つの町のキョリを、地図の縮尺から求めた。 |
| (6) 地図のヒダリガワに、古い街道が描かれている。 | (14) 病院が都市部へヘンザイし、地域差が生じている。 |
| (7) ホンポウで最初に確認された標本を展示する。 | (15) 部品のわずかなカンゲキに、薄い板を差し込んだ。 |
| (8) 苗木を支えるため、細いシチュウを立てた。 | |

B 次の熟語の読みを書きなさい。

- | | | | | |
|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| (16) 勾配 () | (17) 距離 () | (18) 偏在 () | (19) 間隙 () | (20) 頓挫 () |
|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|

七 文章の中で考えよう

次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

二枚の地図から海岸線を復元する

資料館の古地図と現在の測量図では、湾の形と川筋が少し違っていた。悠人は右岸と左岸へ同じ印を付けたが、真央は「どちらを下流と見たのか」と基準を尋ねた。

【地勢を比べる基準】 方位／水の流れ／標高／距離／勾配

川は峡谷の谷底を抜け、中州を分けて湾口へ注ぐ。下流を向けば倉は右岸、標柱は左岸にある。地図の上側を基準に左右を決めると、川が曲がる箇所では位置が逆転してしまう。

海岸線を重ねると、消えた土地と新しく現れた土地が同時に見えた。地図の誤差だけでなく、埋立てや侵食も確かめる必要がある。海岸には岬、断崖、山麓、沢地、入り江が連なる。岬は水面へ突き出た陸地、崖は急に落ちる斜面、麓は山の下部である。似た輪郭でも、どの面を指すかは異なる。

古い邦域の境には石柱が置かれ、沿岸帯には小さな集落が偏在していた。二つの集落の距離と坂の勾配を別に測ると、近くても往来しにくい理由が分かった。

岡と谷の間には狭い間隙があり、江へ通じる水路が描かれていた。しかし現在は土砂でふさがり、復元計画は頓挫している。線がないことを、昔から道がなかった証拠にはできない。

二人は海底の深さ、崖の高さ、集落間の距離を異なる記号で示した。湾と入り江の呼称も地図ごとに写し、現代の定義だけで古い名称を訂正しなかった。二人は線を一本に平均せず、年代ごとの色を残した。ずれは消すべき雑音ではなく、変化そのものの記録である。

地図を精密に読むとは、線を細く引くことではない。右と左、上と下の基準を示し、距離・勾配・標高を分ければ、地勢が人の移動や境界へ与えた影響まで説明できる。

七 文章の中で考えよう（問い）

本文を根拠にして答えなさい。

（1）本文中から、「ある場所や側にかたよって存在すること」という意味で使われている熟語を抜き出さなさい。

（2）「カンゲキ」を漢字 2 字で書きなさい。

（3）本文中の「右岸」の意味として最も近いものを選びなさい。

ア 地図を北へ向けたとき右側にあるすべての土地。

イ 海や湖が陸地へ入り込んだ所。

ウ 山地を川が深く刻んでできた谷。

エ 川の下流を向いたとき右側に当たる岸。

（4）近い二集落の往来が難しい理由を確かめるため、距離とともに何を測ったか。

ア 坂の勾配を測り、水平の近さだけでなく移動するときの傾きも確かめた。

イ 湾口の幅だけを測り、川の流れは調べなかった。

ウ 集落の家数だけを数え、地形は比べなかった。

エ 古地図の左右を現在の地図へそのまま写した。

（5）右岸と左岸を地図の左右だけで決めなかったのはなぜか。45～55 字で説明しなさい。

（6）「距離」「勾配」の二語を用い、地勢が移動へ与える影響の調べ方を 70～90 字でまとめなさい。

三 漢字の働きを考えよう

- | | |
|----------------------------|------------------------|
| (1) イ 川の下流を向いたとき右側に当たる岸。 | (4) ウ なんだか盛り上がった小高い土地。 |
| (2) ア 山地を川などが深く刻んでできた細長い谷。 | (5) イ 湾が外海へ開いている入口。 |
| (3) エ 川の流れの中に土砂が積もってできた陸地。 | (6) ア 海や湖の中へ細く突き出した陸地。 |

四 熟語を広げよう

- | | |
|--------|----------|
| (1) 右岸 | (8) 山麓 |
| (2) 峡谷 | (9) 左岸 |
| (3) 中州 | (10) 標柱 |
| (4) 岡 | (11) 谷底 |
| (5) 湾口 | (12) 沿岸帯 |
| (6) 岬 | (13) 沢地 |
| (7) 断崖 | (14) 入り江 |

使い分けを確かめよう：右岸は下流を向いたとき右側の岸、左岸は下流を向いたとき左側の岸を表す。

五 似た語を使い分けよう

(1) ア 右岸は下流を向いたとき右側の岸、左岸は下流を向いたとき左側の岸を表す。

用例：右岸に倉がある／左岸に標柱が立つ

(2) ウ 湾は海が陸へ入り込む比較的大きな水域、入り江は海や湖が陸へ入り込んだ地形の一般的な呼び方を表す。

用例：湾口を測る／小さな入り江に舟を置く

(3) ア 距離は二地点の間の隔たり、勾配は斜面の傾きの程度を表す。

用例：岬までの距離を測る／坂の勾配を求める

(4) ウ 断崖は切り立って落ち込む斜面、谷底は谷の最も低い部分を表す。

用例：断崖の縁に近づかない／谷底を川が流れる

(5) ウ A＝湾、B＝入り江。(2)の使い分けを参照。

(6) エ A＝断崖、B＝谷底。(4)の使い分けを参照。

六 短文で使ってみよう

(1) 右側	(11) 江河
(2) 湾岸	(12) 勾配
(3) 溪谷	(13) 距離
(4) 州都	(14) 偏在
(5) 懸崖	(15) 間隙
(6) 左側	(16) こうばい
(7) 本邦	(17) きょり
(8) 支柱	(18) へんざい
(9) 海底	(19) かんげき
(10) 地帯	(20) とんざ

七 文章の中で考えよう

- (1) 偏在 本文中では「偏在」と表されている。
- (2) 間隙
- (3) エ 川の下流を向いたとき右側に当たる岸。
- (4) ア 坂の勾配を測り、水平の近さだけでなく移動するときの傾きも確かめた。
- (5) 解答例 (50 字)

右岸と左岸は川の下流を向いた人の左右で決まり、地図上の向きや川の曲がり方によって見かけが変わるため。

見る点：本文中の判断と、その理由を結びつけていること

- (6) 解答例 (77 字)

集落どうしの距離だけで近さを判断せず、道や斜面の勾配も測る。川の流れ、標高、崖や谷底の位置を同じ地図へ重ね、実際に通りやすい経路と境界の成り立ちを考える。

見る点：指定語を用いたこと／本文の具体と結論を結んだこと

第三回

親疎と序列

呼称に埋め込まれた親しさ・世代・身分を、資料の時代から読む。

今日の中心漢字

妹 姉 婚 孤 伯 嫁 輩 嬢

いっしょに覚える漢字

英	件	后	郎	依	偉
佳	侯	俺	僅	藩	縁※

婚姻・縁故・同輩・諸侯などを確かめたあと、家系図と手紙の呼称から関係を読み分ける文章を扱います。 ※再会漢字：縁（第一冊第六回）

意味の芯 → 熟語 → 使い分け → 短文 → 文章

一 今日の中心漢字の芯

字	主な読み	意味の芯／熟語	字	主な読み	意味の芯／熟語
妹	マイ・いもうと	年下の女のきょうだい 姉妹・妹・義妹	伯	ハク	父母の兄／高い爵位 伯父・伯爵・画伯
姉	シ・あね	年上の女のきょうだい 姉弟・姉妹・義姉	嫁	カ・よめ・とつぐ	結婚して相手の家族となる 嫁ぐ・花嫁・嫁入り
婚	コン	夫婦となること 婚姻・結婚・婚家	輩	ハイ	同じ仲間／人々 同輩・先輩・後輩
孤	コ	ひとり／頼るものがない 孤児・孤立・孤独	嬢	ジョウ	若い女性への呼び名 令嬢・お嬢さん・愛嬢

二 いっしょに覚える漢字

字	主な読み	意味の方向／熟語	字	主な読み	意味の方向／熟語
英	エイ	優れている／花 英傑・英雄・英知	佳	カ	美しい／優れている 佳人・佳作・佳日
件	ケン	事柄を数える／事柄 一件・条件・事件	侯	コウ	大名／爵位の一つ 諸侯・侯爵・王侯
后	コウ	天皇・皇帝のきさき 皇后・后妃・太后	俺	おれ	男性が自分を指す語 俺・俺たち・俺様
郎	ロウ	若い男性／男子の名 新郎・郎党・一郎	僅	キン・わずか	ほんの少し 僅差・僅少・僅か
依	イ・エ・よる	頼る／もとづく 依存・依頼・依拠	藩	ハン	江戸時代の大名領 藩主・藩士・廃藩
偉	イ・えらい	優れて立派 偉業・偉人・偉大	縁※	エン・ふち	再会：つながり／物の端 縁故・血縁・縁辺

三 漢字の働きを考えよう

次の問いに答えなさい。

(1) 「姉妹」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 社会的・法的に夫婦となる結び付き。
- イ 父または母の兄。
- ウ 姉と妹、または女のきょうだい。
- エ 地位や年齢などが同じ程度の仲間。

(2) 「姉弟」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 親を亡くすなどして養育する親のいない子。
- イ 姉と弟の関係。
- ウ 結婚して他家の人と夫婦になる。
- エ 他人の娘を敬っていう語。

(3) 「婚姻」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 社会的・法的に夫婦となる結び付き。
- イ 父または母の兄。
- ウ 地位や年齢などが同じ程度の仲間。
- エ 姉と妹、または女のきょうだい。

(4) 「孤児」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 結婚して他家の人と夫婦になる。
- イ 他人の娘を敬っていう語。
- ウ 姉と弟の関係。
- エ 親を亡くすなどして養育する親のいない子。

(5) 「伯父」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 地位や年齢などが同じ程度の仲間。
- イ 姉と妹、または女のきょうだい。
- ウ 父または母の兄。
- エ 社会的・法的に夫婦となる結び付き。

(6) 「嫁ぐ」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 他人の娘を敬っていう語。
- イ 結婚して他家の人と夫婦になる。
- ウ 姉と弟の関係。
- エ 親を亡くすなどして養育する親のいない子。

四 熟語を広げよう

次の文に合う熟語を、語群から選んで書きなさい。

【語群】 姉妹 嫁ぐ 皇后 姉弟 同輩 新郎 婚姻 令嬢 依存 孤児 英傑 偉業 伯父 一件

(1) 姉も妹も音楽が好きで、() で合奏する。

(8) 主催者の() が客を玄関で迎えた。

(2) 姉が弟に宿題を教える、仲のよい() だ。

(9) 国を救った() として、彼の名は長く語り継がれた。

(3) 両家は二人の() を祝って宴を開いた。

(10) 新しい相談が() 寄せられた。

(4) 戦争で親を失った() を地域で支えた。

(11) () は皇帝に並んで儀式へ臨んだ。

(5) 母の兄である() から古い写真を借りた。

(12) 披露宴で() が来客へ感謝を述べた。

(6) 彼女は遠い村へ() 。

(13) 特定の一人に() せず、複数の担当で支える。

(7) 同じ時代を生きた() の詩人たちを比較する。

(14) 長い年月を要した治水事業は、後世に残る() となった。

五 似た語を使い分けよう

それぞれの語の違いとして、最も適切なものを選びなさい。

(1) 「姉妹」と「姉弟」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 姉妹は姉と弟の組合せ、姉弟は女のきょうだいどうしを表す。
- イ どちらも年上の女性を含むので、もう一人の性別や関係は同じである。
- ウ 姉妹は成人、姉弟は子どもの場合だけに用いる。
- エ 姉妹は女のきょうだいどうし、姉弟は姉と弟の組合せを表す。

(2) 「伯父」と「叔父」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 伯父は父母の弟、叔父は父母の兄を表す。
- イ 伯父は父母の兄、叔父は父母の弟を表す。
- ウ どちらも父母の男のきょうだいであり、年上か年下かは字に表れない。
- エ 伯父は父方、叔父は母方だけを表す。

(3) 「縁故」と「婚姻」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 縁故は社会的・法的に夫婦となる結び付き、婚姻は血縁や知人関係など広いつながりを表す。
- イ どちらも家族になる関係だけを示し、知人や紹介者は含まれない。
- ウ 縁故は昔、婚姻は現代の関係だけを表す。
- エ 縁故は血縁や知人関係など広いつながり、婚姻は社会的・法的に夫婦となる結び付きを表す。

(4) 「同輩」と「諸侯」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 同輩は領地を治める複数の君主や大名、諸侯は地位などが同じ程度の仲間を表す。
- イ 同輩は地位などが同じ程度の仲間、諸侯は領地を治める複数の君主や大名を表す。
- ウ どちらも複数の人を指すため、地位の等しさや統治権は区別しない。
- エ 同輩は一人、諸侯は二人を指す場合だけに用いる。

(5) A・Bに入る語の組合せとして、最も適切なものを選びなさい。A「(A)を頼って職を得る」 B「(B)によって家が結ばれる」

- ア A=縁故／B=婚姻 イ A=婚姻／B=縁故
- ウ A=縁故／B=縁故 エ A=婚姻／B=婚姻

(6) A・Bに入る語の組合せとして、最も適切なものを選びなさい。A「(A)で店を継ぐ」 B「(B)の名を並べる」

- ア A=姉弟／B=姉妹 イ A=姉妹／B=姉弟
- ウ A=姉妹／B=姉妹 エ A=姉弟／B=姉弟

六 短文で使ってみよう

A カタカナを漢字に直しなさい。

- | | |
|------------------------------|-----------------------------|
| (1) 弟の妻は、私にとってギマイに当たる。 | (9) 人類のエイチを集め、難しい問題へ向き合う。 |
| (2) 中世ヨーロッパのハクシャクが治めた領地を調べた。 | (10) 応募作の中から、三点がカサクに選ばれた。 |
| (3) 兄の妻であるギシから、手紙が届いた。 | (11) 申し込めるジョウケンを、募集要項で確かめた。 |
| (4) 白い衣装のハナヨメが、家族と式場へ入った。 | (12) 王のコウヒが、慈善施設を訪れた記録が残る。 |
| (5) 二人は長い交際を経てケツコンした。 | (13) 主君に従うロウトウが、館の周囲を守った。 |
| (6) 困ったとき、職場のセンパイが助言してくれた。 | (14) 修理のイライを受け、職人が現場を訪れた。 |
| (7) 周囲からコリツした人へ、声をかけることが大切だ。 | (15) 社会を変えたイジンの足跡をたどった。 |
| (8) 伯爵はアイジョウの婚礼を盛大に祝った。 | |

B 次の熟語の読みを書きなさい。

- | | | | | |
|-------------|------------|-------------|-------------|-------------|
| (16) 諸侯 () | (17) 俺 () | (18) 僅差 () | (19) 藩主 () | (20) 縁故 () |
|-------------|------------|-------------|-------------|-------------|

七 文章の中で考えよう

次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

家系図の呼称は何を語るか

旧藩の家系図には、姉妹・姉弟、伯父、婚姻相手が細かな線で結ばれていた。真央は線だけを血縁と見たが、養育、嫁ぐこと、縁故による後見も同じ図に書き込まれていた。

一件の手紙で新郎は自分を「俺」と書き、相手を令嬢と称した。くだけた一人称と敬った呼称が同居している。語の丁寧さだけで親疎を一直線に並べることはできない。

呼称は家族の位置を示すが、親しさの強さまで同じようには示さない。手紙の言い回しと贈答の記録も合わせて読んだ。

孤児となった妹は伯父へ依存したと記されるが、別の帳面では姉が家業を支えた。家系図の太い線が、実際に誰を世話したかや心の近さまで示すわけではない。

【関係を読む欄】 世代／血縁か婚姻か／地位／書き手と相手／時代

藩主と諸侯、同輩と家臣の序列も手紙ごとに異なる。英傑・偉業・佳人という称賛語、皇后や伯爵の身分語は、人そのものではなく資料中の評価や制度上の位置を表す。

ある縁談は年齢の僅差を理由に反対され、別の婚姻は郎党との結び付きを強めた。令嬢という語も若い女性一般ではなく、相手の娘を敬う場面で使われる。

二人は血縁、婚姻、縁故を色分けし、誰が誰をどう呼んだかを矢印で示した。呼称を現代の家族観へ直さず、差別的な序列は当時の制度として注記する。

系図の中央だけでなく、婚姻で結ばれた外側の家にも札を伸ばした。呼び名の違いが、政治的な関係を隠すこともある。

関係を精密に読むには、系図の線と日々の支えを分ける必要がある。呼称は親しさの手がかりになるが、それだけで愛情や人格を決めず、書き手・相手・時代を合わせて考える。

七 文章の中で考えよう（問い）

本文を根拠にして答えなさい。

(1) 本文中から、「血縁や知人関係など人どうしのつながり」という意味で使われている熟語を抜き出
しなさい。

(2) 「レイジョウ」を漢字 2 字で書きなさい。

(3) 本文中の「同輩」の意味として最も近いものを選びなさい。

ア 地位や年齢などが同じ程度の仲間。

イ 江戸時代に一つの藩を治めた大名。

ウ 父または母の兄。

エ 結婚式を迎える男性。

(4) 二人が家系図の線だけで心の近さを決めなかった理由として最も適切なものを選びなさい。

ア 家系図には人の名が一つも残っていなかったから。

イ 婚姻はどの時代にも家族関係を生まないから。

ウ 姉妹と姉弟は同じ意味で区別できないから。

エ 線は血縁・婚姻・後見などの制度的関係を示しても、実際の世話や感情までは示さないから。

(5) 「俺」と「令嬢」が同じ手紙にあることから、何に注意すべきか。45～55 字で説明しなさい。

(6) 「呼称」「時代」の二語を用い、家系資料から関係を読む方法を 70～90 字でまとめなさい。

三 漢字の働きを考えよう

- | | |
|-------------------------|----------------------------|
| (1) ウ 姉と妹、または女のきょうだい。 | (4) エ 親を亡くすなどして養育する親のいない子。 |
| (2) イ 姉と弟の関係。 | (5) ウ 父または母の兄。 |
| (3) ア 社会的・法的に夫婦となる結び付き。 | (6) イ 結婚して他家の人と夫婦になる。 |

四 熟語を広げよう

- | | |
|--------|---------|
| (1) 姉妹 | (8) 令嬢 |
| (2) 姉弟 | (9) 英傑 |
| (3) 婚姻 | (10) 一件 |
| (4) 孤児 | (11) 皇后 |
| (5) 伯父 | (12) 新郎 |
| (6) 嫁ぐ | (13) 依存 |
| (7) 同輩 | (14) 偉業 |

使い分けを確かめよう：姉妹は女のきょうだいどうし、姉弟は姉と弟の組合せを表す。

五 似た語を使い分けよう

(1) エ 姉妹は女のきょうだいどうし、姉弟は姉と弟の組合せを表す。

用例：姉妹で店を継ぐ／姉弟の名を並べる

(2) イ 伯父は父母の兄、叔父は父母の弟を表す。

用例：母方の伯父を訪ねる／父方の叔父に手紙を書く

(3) エ 縁故は血縁や知人関係など広いつながり、婚姻は社会的・法的に夫婦となる結び付きを表す。

用例：縁故を頼って職を得る／婚姻によって家が結ばれる

(4) イ 同輩は地位などが同じ程度の仲間、諸侯は領地を治める複数の君主や大名を表す。

用例：同輩として意見を述べる／諸侯が会議へ集まる

(5) ア A＝縁故、B＝婚姻。(3)の使い分けを参照。

(6) イ A＝姉妹、B＝姉弟。(1)の使い分けを参照。

六 短文で使ってみよう

(1) 義妹	(11) 条件
(2) 伯爵	(12) 后妃
(3) 義姉	(13) 郎党
(4) 花嫁	(14) 依頼
(5) 結婚	(15) 偉人
(6) 先輩	(16) しょうこう
(7) 孤立	(17) おれ
(8) 愛嬢	(18) きんさ
(9) 英知	(19) はんしゅ
(10) 佳作	(20) えんこ

七 文章の中で考えよう

- (1) 縁故 本文中では「縁故」と表されている。
- (2) 令嬢
- (3) ア 地位や年齢などが同じ程度の仲間。
- (4) エ 線は血縁・婚姻・後見などの制度的関係を示しても、実際の世話や感情までは示さないから。
- (5) 解答例（48 字）

一つの手紙でも自称と相手への呼称では丁寧さが異なるため、語だけで二人の親疎や身分を決めないこと。

見る点：本文中の判断と、その理由を結びつけていること

- (6) 解答例（79 字）

血縁・婚姻・縁故を分け、誰が誰へ用いた呼称かを確かめる。家系図の線だけで感情を決めず、身分制度と語の意味が置かれた時代を注記し、実際の支えを手紙や帳面で補う。

見る点：指定語を用いたこと／本文の具体と結論を結んだこと

第四回

病理と身体感覚

部位・症状・検査・判断を混ぜず、身体の記録を精密に読む。

今日の中心漢字

肥 脈 脂 胞 胎 肢 膨 骸

いっしょに覚える漢字

眼	創	冒	尿	聴	酔
脊	咽	嘔	醒	頬	顎

細胞・脈拍・脊髄・咽頭などを確かめたあと、診療図と解剖記録から観察と診断を分ける文章を読みま
す。

意味の芯 → 熟語 → 使い分け → 短文 → 文章

一 今日の中心漢字の芯

字	主な読み	意味の芯／熟語	字	主な読み	意味の芯／熟語
肥 脈 脂 胞	ヒ・こえる・こえ・こやす・こやし	太る／土地を豊かにする 肥大・肥満・肥料	胎 肢 膨 骸	タイ	母体内で育つ子 胎児・胎内・受胎
	ミャク	血の流れ／筋道 脈拍・血脈・山脈		シ	手足／分かれた部分 四肢・上肢・下肢
	シ・あぶら	動物性のおぶん 脂質・脂肪・皮脂		ボウ・ふくらむ・ふくれる	内から大きくなる 膨張・膨大・膨満
	ハウ	包む袋／生物の小単位 細胞・胞子・同胞		ガイ	骨だけになった体／なきがら 遺骸・骸骨・形骸

二 いっしょに覚える漢字

字	主な読み	意味の方向／熟語	字	主な読み	意味の方向／熟語
眼 創 冒 尿 聴 酔	ガン・ゲン・まなこ	目／物を見る点 眼球・眼底・肉眼	脊 咽 哺 醒 頰 顎	セキ	背骨 脊髓・脊柱・脊椎
	ソウ・つくる	傷／新しくつくる 創傷・創部・創造		イン	口や鼻の奥から食道・喉頭へ続く所 咽頭・咽頭炎・鼻咽腔
	ボウ・おかす	危険を押して進む／おおう 感冒・冒険・冒頭		ホ	口に食べ物を含ませる 哺乳・哺育・哺乳類
	ニョウ	体外へ出される液体 尿検査・血尿・排尿		セイ・さめる・さます	眠りや酔いから戻る 覚醒・醒める・半醒
	チョウ・きく	注意して音を聞く 聴覚・聴診・傾聴		キョウ・ほお	顔の両側 頰骨・頰・頰部
	スイ・よう	酒や薬で正常な感覚を失う 麻醉・泥酔・船酔い		ガク・あご	口の上下を形づくる部分 顎関節・下顎・顎骨

三 漢字の働きを考えよう

次の問いに答えなさい。

(1) 「肥大」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 脂肪などを含む水に溶けにくい成分。
- イ 母体の子宮内で成長している子。
- ウ 体積や組織などがふくらんで大きくなること。
- エ 組織や器官などが大きくなること。

(2) 「脈拍」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 生物の体をつくる基本的な小単位。
- イ 左右の腕と脚を合わせた四本の手足。
- ウ 心臓の動きに伴って血管に伝わる規則的な動き。
- エ 亡くなった人や動物のなきがら。

(3) 「脂質」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 母体の子宮内で成長している子。
- イ 脂肪などを含む水に溶けにくい成分。
- ウ 体積や組織などがふくらんで大きくなること。
- エ 組織や器官などが大きくなること。

(4) 「細胞」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 生物の体をつくる基本的な小単位。
- イ 左右の腕と脚を合わせた四本の手足。
- ウ 亡くなった人や動物のなきがら。
- エ 心臓の動きに伴って血管に伝わる規則的な動き。

(5) 「胎児」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 体積や組織などがふくらんで大きくなること。
- イ 組織や器官などが大きくなること。
- ウ 脂肪などを含む水に溶けにくい成分。
- エ 母体の子宮内で成長している子。

(6) 「四肢」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 亡くなった人や動物のなきがら。
- イ 心臓の動きに伴って血管に伝わる規則的な動き。
- ウ 左右の腕と脚を合わせた四本の手足。
- エ 生物の体をつくる基本的な小単位。

四 熟語を広げよう

次の文に合う熟語を、語群から選んで書きなさい。

【語群】 肥大 四肢 感冒 脈拍 膨張 尿検査 脂質 遺骸 聴覚 細胞 眼球 麻酔 胎児 創傷

(1) 検査で心臓の一部に（ ）が見つかった。

(8) 遺跡から人の（ ）が見つかり、丁寧に調査された。

(2) 運動の前後で（ ）がどう変わるか測った。

(9) 模型を使って（ ）の構造を学んだ。

(3) 油に多く含まれる（ ）の取りすぎに注意する。

(10) 傷口を洗浄し、深い（ ）がないか確かめた。

(4) 顕微鏡で植物の（ ）を観察した。

(11) 古い医学書では、かぜを（ ）と記すことがある。

(5) 超音波検査で（ ）の成長を確認する。

(12) 健康診断で（ ）を受けた。

(6) 事故で（ ）を動かしにくくなり、訓練を始めた。

(13) 加齢による（ ）の変化を調べる。

(7) 温められた空気が（ ）し、容器を押し広げた。

(14) 手術の前に（ ）を行い、痛みを感じにくくする。

五 似た語を使い分けよう

それぞれの語の違いとして、最も適切なものを選びなさい。

(1) 「肥大」と「膨張」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 肥大は体積がふくらんで大きくなること、膨張は組織や器官などが大きくなることを表す。
- イ どちらも大きくなるため、生体の組織か物体の体積かは区別しない。
- ウ 肥大は組織や器官などが大きくなること、膨張は体積がふくらんで大きくなることを表す。
- エ 肥大は病気、膨張は健康な変化だけを表す。

(2) 「脈拍」と「心拍」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 脈拍は血管へ伝わる規則的な動き、心拍は心臓そのものが収縮する回数を表す。
- イ 脈拍は心臓そのものが収縮する回数、心拍は血管へ伝わる規則的な動きを表す。
- ウ 多くの場合近い数になるので、測る場所と現象の違いはない。
- エ 脈拍は運動中、心拍は安静時だけに測る。

(3) 「覚醒」と「酩酊」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 覚醒は酒などで判断や運動が乱れた状態、酩酊は眠りや麻酔から意識が明瞭になることを表す。
- イ どちらも意識が変わるので、明瞭になるか乱れるかを区別しない。
- ウ 覚醒は眠りや麻酔から意識が明瞭になること、酩酊は酒などで判断や運動が乱れた状態を表す。
- エ 覚醒は朝、酩酊は夜にだけ起こる。

(4) 「創傷」と「感冒」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 創傷は外力などによってできた体の傷、感冒は鼻や喉に症状が出るかぜを指す語を表す。
- イ 創傷は鼻や喉に症状が出るかぜを指す語、感冒は外力などによってできた体の傷を表す。
- ウ どちらも治療を要するため、けがか病気を区別しない。
- エ 創傷は軽症、感冒は重症だけを表す。

(5) A・Bに入る語の組合せとして、最も適切なものを選びなさい。A「腕の(A)を洗う」 B「(B)の経過を記す」

- ア A=感冒/B=創傷 イ A=創傷/B=創傷
- ウ A=創傷/B=感冒 エ A=感冒/B=感冒

(6) A・Bに入る語の組合せとして、最も適切なものを選びなさい。A「手首で(A)を測る」 B「装置で(B)を記録する」

- ア A=心拍/B=脈拍 イ A=脈拍/B=脈拍
- ウ A=心拍/B=心拍 エ A=脈拍/B=心拍

六 短文で使ってみよう

A カタカナを漢字に直しなさい。

- | | |
|----------------------------------|------------------------------|
| (1) 運動不足が続くと、ヒマンにつながることもある。 | (9) 検査で目の奥のガンテイを撮影した。 |
| (2) 寺の像には、母のタイナイにいる仏が表されている。 | (10) 人のセキチュウは、体を支えながら曲がる。 |
| (3) 仏教では、師から弟子へ法を伝える系譜をケチミヤクという。 | (11) 手術後のスープを、清潔な布で覆った。 |
| (4) 肩から手までのジョウシを伸ばす運動をした。 | (12) 未知の土地へ進むボウケン物語を読んだ。 |
| (5) 食事から取るシボウの量を確かめた。 | (13) 尿に血が混じるケツニョウが出たため、受診した。 |
| (6) 調査で集まったボウダイな資料を分類した。 | (14) 医師は胸へ器具を当て、チョウシンした。 |
| (7) シダ植物は、種ではなくハウシで増える。 | (15) 酒を飲み過ぎ、路上でデイスイしていた。 |
| (8) 洞窟から動物のガイコツが見つかった。 | |

B 次の熟語の読みを書きなさい。

- | | | | | |
|-------------|-------------|-------------|-------------|--------------|
| (16) 咽頭 () | (17) 哺乳 () | (18) 覚醒 () | (19) 頬骨 () | (20) 顎関節 () |
|-------------|-------------|-------------|-------------|--------------|

七 文章の中で考えよう

次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

図に描かれた身体を読み直す

最終展示には古い診療図も加わった。図には眼球、頬骨、顎関節、咽頭、脊髄、四肢が描かれ、脈拍と聴覚の検査結果が欄外に記されていた。ある症例では組織の肥大と腹部の膨張が同じ丸印で示される。脂質の蓄積、細胞の増加、胎児の成長も、単に「大きい」と書けば違いが消える。何が変化したかを分ける必要がある。

身体図の線は正確に見えたが、当時の人が実際に観察した範囲は分からない。後世の知識を図へ戻しすぎないように注意した。創傷と感冒、尿検査と眼底観察、麻酔からの覚醒は別の欄へ置いた。哺乳の記録も乳児の栄養行動であり、母子の健康全体を一語で評価するものではない。

【身体記録の四層】本人の感覚／観察した状態／検査値／診断

解剖図には骸骨と遺骸の語が見える。骸骨は骨格を指し得るが、遺骸は亡くなった存在を指す。展示では人の尊厳に配慮し、図の由来と資料が作られた経緯を明記した。

脊柱の内部に脊髄があり、口の奥には咽頭がある。頬と顎も外から見える位置と骨・関節では範囲が異なる。部位名を似た音や近い位置だけで置き換えてはならない。

真央は脈拍が速いことを病名にせず、悠人は酔いの記述を性格評価から外した。検査で得た値、患者の訴え、当時の診断を並べ、現在からの推測は注記へ回した。二人は器官名の横に、観察・推定・象徴の三つの印を付けた。同じ形でも、描かれた目的が違えば意味も変わる。

身体を精密に表す語は、人を細かな部品へ分けるためではない。どの部位に何が起き、何を根拠に判断したかを明らかにし、観察された事実と評価を混同しないためにある。

七 文章の中で考えよう（問い）

本文を根拠にして答えなさい。

(1) 本文中から、「眠りや麻酔などから意識がはっきりすること」という意味で使われている熟語を抜き出さない。

(2) 「セキズイ」を漢字 2 字で書きなさい。

(3) 本文中の「肥大」の意味として最も近いものを選びなさい。

- ア 体積や組織が内からふくらむこと。
- イ 組織や器官などが大きくなること。
- ウ 音を感じ取り聞き分ける感覚。
- エ 体外へ出された液体の成分を調べること。

(4) 二人が速い脈拍を病名にしなかった理由として最も適切なものを選びなさい。

- ア 脈拍は身体の状態と全く関係がないから。
- イ 古い診療図には数値が一つもないから。
- ウ 脈拍は観察・測定された値であり、それだけでは原因や病気を特定できないから。
- エ 心拍と脈拍は必ず異なる数になるから。

(5) 遺骸を扱う展示で図の由来まで明記したのはなぜか。45～55 字で説明しなさい。

(6) 「観察」「診断」の二語を用い、古い身体記録を読む方法を 70～90 字でまとめなさい。

三 漢字の働きを考えよう

- | | |
|------------------------------|-------------------------|
| (1) エ 組織や器官などが大きくなること。 | (4) ア 生物の体をつくる基本的な小単位。 |
| (2) ウ 心臓の動きに伴って血管に伝わる規則的な動き。 | (5) エ 母体の子宮内で成長している子。 |
| (3) イ 脂肪などを含む水に溶けにくい成分。 | (6) ウ 左右の腕と脚を合わせた四本の手足。 |

四 熟語を広げよう

- | | |
|--------|----------|
| (1) 肥大 | (8) 遺骸 |
| (2) 脈拍 | (9) 眼球 |
| (3) 脂質 | (10) 創傷 |
| (4) 細胞 | (11) 感冒 |
| (5) 胎児 | (12) 尿検査 |
| (6) 四肢 | (13) 聴覚 |
| (7) 膨張 | (14) 麻酔 |

使い分けを確かめよう：肥大は組織や器官などが大きくなること、膨張は体積がふくらんで大きくなることを表す。

五 似た語を使い分けよう

(1) ウ 肥大は組織や器官などが大きくなること、膨張は体積がふくらんで大きくなることを表す。

用例：心筋の肥大を調べる／気体が膨張する

(2) ア 脈拍は血管へ伝わる規則的な動き、心拍は心臓そのものが収縮する回数を表す。

用例：手首で脈拍を測る／装置で心拍を記録する

(3) ウ 覚醒は眠りや麻酔から意識が明瞭になること、酩酊は酒などで判断や運動が乱れた状態を表す。

用例：麻酔から覚醒する／飲酒で酩酊する

(4) ア 創傷は外力などによってできた体の傷、感冒は鼻や喉に症状が出るかぜを指す語を表す。

用例：腕の創傷を洗う／感冒の経過を記す

(5) ウ A＝創傷、B＝感冒。(4)の使い分けを参照。

(6) エ A＝脈拍、B＝心拍。(2)の使い分けを参照。

六 短文で使ってみよう

(1) 肥満	(11) 創部
(2) 胎内	(12) 冒険
(3) 血脈	(13) 血尿
(4) 上肢	(14) 聴診
(5) 脂肪	(15) 泥酔
(6) 膨大	(16) いんとう
(7) 孢子	(17) ほにゅう
(8) 骸骨	(18) かくせい
(9) 眼底	(19) ほおぼね
(10) 脊柱	(20) がくかんせつ

七 文章の中で考えよう

- (1) 覚醒 本文中では「覚醒」と表されている。
- (2) 脊髄
- (3) イ 組織や器官などが大きくなること。
- (4) ウ 脈拍は観察・測定された値であり、それだけでは原因や病気を特定できないから。
- (5) 解答例（48 字）

身体を資料として示すだけでなく、亡くなった人の尊厳へ配慮し、図が作られた経緯を読者に伝えるため。

見る点：本文中の判断と、その理由を結びつけていること

- (6) 解答例（75 字）

本人の感覚、部位の観察、検査値、当時の診断を別々に写す。現代の知識による推測は注記し、一つの数値や見た目から病名や人柄を決めず、判断の根拠を確かめる。

見る点：指定語を用いたこと／本文の具体と結論を結んだこと

第五回

繊細な感情と欲望

感情の向き・強さ・持続を分け、一語で人柄を固定しない。

今日の中心漢字

慣 興 泰 忌 懸 情 憬 臆

いっしょに覚える漢字

夢	徳	貞	殊	疎	玩
奨	悠	儀	寧	麗	鬱

憧憬・懸念・疎外・憂鬱などを確かめたあと、若者の日記に重なる感情と行動の関係を讀む文章を扱います。

意味の芯 → 熟語 → 使い分け → 短文 → 文章

一 今日の中心漢字の芯

字	主な読み	意味の芯／熟語	字	主な読み	意味の芯／熟語
慣	カン・なれる・ならす	繰り返して自然になる 習慣・慣例・慣れる	懸	ケン・かける・かかる	心にかかる／掛け渡す 懸念・懸命・懸賞
興	コウ・キョウ・おこる・おこす	おもしろみ／盛んになる 興味・興奮・復興	情	ダ	なまける 怠情・惰性・勤情
泰	タイ	安らか／大きい 安泰・泰然・泰平	憬	ケイ	あこがれる 憧憬
忌	キ・いむ・いまわしい	嫌って避ける／喪に服す 忌避・禁忌・忌日	臆	オク	気おくれする／推し量る 臆病・臆測・胸臆

二 いっしょに覚える漢字

字	主な読み	意味の方向／熟語	字	主な読み	意味の方向／熟語
夢	ム・ゆめ	眠って見る像／将来の願い 夢想・夢・悪夢	奨	ショウ	よいとして勧める 奨励・推奨・奨学
徳	トク	人としての優れた性質 美德・道徳・徳望	悠	ユウ	時間や空間がはるか／ゆったり 悠然・悠久・悠長
貞	テイ	心や節操を守る 貞節・貞淑・貞操	犧	ギ	神へ供えるもの／身を差し出す 犠牲・犠打・犠牲者
殊	シュ・こと	特に／異なる 殊更・特殊・殊勝	寧	ネイ	安らか／むしろ 丁寧・安寧・寧日
疎	ソ・うとい・うとむ	離れて親しくない／まばら 疎外・疎遠・過疎	麗	レイ・うるわしい	美しく整う 華麗・麗人・秀麗
玩	ガン	もてあそぶ／大切に眺める 愛玩・玩具・玩味	鬱	ウツ	気がふさぐ／草木が茂る 憂鬱・鬱屈・鬱蒼

三 漢字の働きを考えよう

次の問いに答えなさい。

(1) 「習慣」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 繰り返すうちに身についた行動や考え方。
- イ 危険や乱れがなく安らかであること。
- ウ 気がかりに思い悪い結果を心配すること。
- エ 理想とするものに強く心を引かれあこがれること。

(2) 「興味」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 嫌ったり恐れたりして避けること。
- イ なまけて努力しようとししないこと。
- ウ 必要以上に恐れて行動をためらうこと。
- エ ある物事をおもしろいと思い心を向けること。

(3) 「安泰」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 気がかりに思い悪い結果を心配すること。
- イ 理想とするものに強く心を引かれあこがれること。
- ウ 危険や乱れがなく安らかであること。
- エ 繰り返すうちに身についた行動や考え方。

(4) 「忌避」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア なまけて努力しようとししないこと。
- イ 嫌ったり恐れたりして避けること。
- ウ 必要以上に恐れて行動をためらうこと。
- エ ある物事をおもしろいと思い心を向けること。

(5) 「懸念」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 気がかりに思い悪い結果を心配すること。
- イ 理想とするものに強く心を引かれあこがれること。
- ウ 繰り返すうちに身についた行動や考え方。
- エ 危険や乱れがなく安らかであること。

(6) 「怠惰」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 必要以上に恐れて行動をためらうこと。
- イ ある物事をおもしろいと思い心を向けること。
- ウ 嫌ったり恐れたりして避けること。
- エ なまけて努力しようとししないこと。

四 熟語を広げよう

次の文に合う熟語を、語群から選んで書きなさい。

【語群】 習慣 怠惰 貞節 興味 憧憬 殊更 安泰 臆病 疎外 忌避 夢想 愛玩 懸念 美德

- | | |
|------------------------------------|-----------------------------------|
| (1) 寝る前に本を読むことが長年の（ ）になっている。
る。 | (8) 危険を前にすると（ ）になり、声が出なくなる。
る。 |
| (2) 町の成り立ちに（ ）を持ち、古地図を調べた。 | (9) いつか海辺で暮らす自分を（ ）した。 |
| (3) 堤防が完成し、村の（ ）が保たれた。 | (10) 失敗を認める正直さは一つの（ ）だ。 |
| (4) 感染を恐れて人との接触を（ ）する動きが広がった。 | (11) かつて女性に一方的な（ ）を求める社会規範があった。 |
| (5) 費用が増えるのではないかという（ ）が残る。 | (12) 皆が知る事実を（ ）に強調する必要はない。 |
| (6) 努力を避ける（ ）な生活を改めた。 | (13) 仲間からの（ ）を感じ、集まりへ行けなくなった。 |
| (7) 旅人は都の華やかな暮らしに（ ）を抱いた。 | (14) 小鳥を（ ）用として飼う場合も、適切な環境が要る。 |

五 似た語を使い分けよう

それぞれの語の違いとして、最も適切なものを選びなさい。

(1) 「憧憬」と「羨望」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 憧憬は他者の境遇や能力をうらやましく思うこと、羨望は理想として強く心を引かれあこがれることを表す。
- イ 憧憬は理想として強く心を引かれあこがれること、羨望は他者の境遇や能力をうらやましく思うことを表す。
- ウ どちらも欲しいと思う感情なので、理想への志向か他者との比較かは同じである。
- エ 憧憬は物、羨望は人にだけ向く。

(2) 「懸念」と「臆病」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 懸念は必要以上に恐れて行動をためらう性質や状態、臆病は悪い結果を気がかりに思うことを表す。
- イ どちらも恐れを含むので、対象への判断か人の性質かを区別しない。
- ウ 懸念は正しく、臆病は常に誤った感情である。
- エ 懸念は悪い結果を気がかりに思うこと、臆病は必要以上に恐れて行動をためらう性質や状態を表す。

(3) 「疎外」と「孤独」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 疎外はつながりがなく一人だと感じる状態、孤独は人を集団や関係から遠ざけることを表す。
- イ 疎外は人を集団や関係から遠ざけること、孤独はつながりがなく一人だと感じる状態を表す。
- ウ どちらも一人であることだけを表し、働きかけか感情かは同じである。
- エ 疎外は集団、孤独は一人暮らしだけに用いる。

(4) 「泰然」と「悠然」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 泰然はゆったりとして余裕のある様子、悠然は何が起きても落ち着いて動じない様子を表す。
- イ どちらも落ち着いた様子なので、動じなさかゆったりした動きかは区別しない。
- ウ 泰然は老人、悠然は若者にだけ用いる。
- エ 泰然は何が起きても落ち着いて動じない様子、悠然はゆったりとして余裕のある様子を表す。

(5) A・Bに入る語の組合せとして、最も適切なものを選びなさい。A「遠い土地へ（A）を抱く」 B「友人の成功を（B）する」

- ア A=憧憬／B=羨望 イ A=羨望／B=憧憬
- ウ A=憧憬／B=憧憬 エ A=羨望／B=羨望

(6) A・Bに入る語の組合せとして、最も適切なものを選びなさい。A「少数意見を（A）しない」 B「町で（B）を覚える」

- ア A=孤独／B=疎外 イ A=疎外／B=孤独
- ウ A=疎外／B=疎外 エ A=孤独／B=孤独

六 短文で使ってみよう

A カタカナを漢字に直しなさい。

- | | |
|--------------------------------|---------------------------------|
| (1) 式典では、昔からのカンレイに従って席を決めた。 | (9) 安全性の高い方法として、この製品をスイショウする。 |
| (2) 選手はゴールまでケンメイに走った。 | (10) 他人を尊重することは、基本的なドウトクの一つだ。 |
| (3) 災害からのフッコウには、長い時間と協力が要る。 | (11) 物語では、節操を守るテイシュクな人物として描かれた。 |
| (4) 目的を忘れ、ダセイで続ける作業を見直した。 | (12) この装置はトクシュな環境で使用される。 |
| (5) 予期しない質問にも、彼はタイゼンと答えた。 | (13) 引っ越してから、古い友人とソエンになった。 |
| (6) 医療行為には、同時に行ってはいけないキンキがある。 | (14) 子どもが安全に遊べるオモチャを選んだ。 |
| (7) 根拠のないオクソクを、事実のように広めてはいけない。 | (15) 鶴は川辺をユウゼンと歩いていた。 |
| (8) 同じ失敗を繰り返すアクムを見て目が覚めた。 | |

B 次の熟語の読みを書きなさい。

- | | | | | |
|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| (16) 悠然 () | (17) 犠牲 () | (18) 丁寧 () | (19) 華麗 () | (20) 憂鬱 () |
|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|

七 文章の中で考えよう

次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

あこがれとためらいが同居する日記

展示準備中、真央は百年前の若者の日記を読んだ。華麗な都市生活への憧憬と、故郷を離れる懸念が同じ頁にあり、夢を語る筆致の直後には憂鬱と臆病への自己批判が続く。

若者は読書を習慣とし、新しい学問へ興味を抱いた。

一方、家業を怠惰に扱ったと責められ、安泰な暮らしを捨てるのは美德に反するとも諭された。感情と周囲の評価が重なっている。

日記の筆は、進みたい気持ちを書いた直後に、失敗への恐れを記していた。感情は一方向へ並ばず、同じ日に揺れ戻る。

日記には禁忌を破ることへの忌避、仲間からの疎外、珍しい玩具への愛玩、留学の奨励も記される。殊更に勇気を示す文は、恐れがなかった証拠ではなく、恐れを越えようとした表現かもしれない。

【感情を分ける手がかり】何に向くか／強さ／続く時間／行動／他者の評価

家族は貞節や犠牲を徳として求めたが、その価値は時代と立場で異なる。本人が犠牲を望んだのか、周囲がそう名づけたのかを分けなければ、従うことを美化してしまう。

ある朝は悠然と庭を歩き、丁寧な手紙を書いた。別の日は鬱屈し、麗しい将来像を夢想した。泰然・悠然という外からの評価と、内面の安寧も同じとは限らない。

悠人は「臆病な人」と見出しを付けず、「出発をためらった」と行動で示した。真央も憧憬を単なる羨望に置き換えず、何へ心を引かれ、誰と自分を比べたかを本文から拾った。

真央は肯定と否定の文を別々に数えるのではなく、前後のつながりを一本の線で結んだ。ためらいも意思の一部だからである。

感情語は心を細かく扱うための道具である。矛盾して見える感情を消さず、向き・強さ・時間を確かめれば、一人の人が迷いながら選んだ過程を尊重して読める。

七 文章の中で考えよう（問い）

本文を根拠にして答えなさい。

(1) 本文中から、「仲間や集団とのつながりから遠ざけること」という意味で使われている熟語を抜き出ささい。

(2) 「ショウケイ」を漢字 2 字で書きなさい。

(3) 本文中の「懸念」の意味として最も近いものを選びなさい。

- ア 必要以上に恐れて行動をためらう性質。
- イ 現実を離れて心の中で思い描くこと。
- ウ 悪い結果になるのではないかと気がかりに思うこと。
- エ なまけて努力しようとししないこと。

(4) 悠人が見出しを「臆病な人」とせず「出発をためらった」とした理由を選びなさい。

- ア 臆病という語が常用漢字ではないから。
- イ 一時の感情や行動から、その人の変わらない性格全体を決めないため。
- ウ 日記には出発について何も書かれていないから。
- エ ためらいは必ず美德として評価されるから。

(5) 憧憬を羨望へ置き換えなかったのはなぜか。45～55 字で説明しなさい。

(6) 「向き」「行動」の二語を用い、日記の感情語を読む方法を 70～90 字でまとめなさい。

三 漢字の働きを考えよう

- | | |
|-----------------------------|---------------------------|
| (1) ア 繰り返すうちに身についた行動や考え方。 | (4) イ 嫌ったり恐れたりして避けること。 |
| (2) エ ある物事をおもしろいと思い心を向けること。 | (5) ア 気がかりに思い悪い結果を心配すること。 |
| (3) ウ 危険や乱れがなく安らかであること。 | (6) エ なまけて努力しようとししないこと。 |

四 熟語を広げよう

- | | |
|--------|---------|
| (1) 習慣 | (8) 臆病 |
| (2) 興味 | (9) 夢想 |
| (3) 安泰 | (10) 美德 |
| (4) 忌避 | (11) 貞節 |
| (5) 懸念 | (12) 殊更 |
| (6) 怠惰 | (13) 疎外 |
| (7) 憧憬 | (14) 愛玩 |

使い分けを確かめよう：憧憬は理想として強く心を引かれあこがれること、羨望は他者の境遇や能力をうらやましく思うことを表す。

五 似た語を使い分けよう

(1) イ 憧憬は理想として強く心を引かれあこがれること、羨望は他者の境遇や能力をうらやましく思うことを表す。

用例：遠い土地へ憧憬を抱く／友人の成功を羨望する

(2) エ 懸念は悪い結果を気がかりに思うこと、臆病は必要以上に恐れて行動をためらう性質や状態を表す。

用例：計画の遅れを懸念する／失敗を恐れて臆病になる

(3) イ 疎外は人を集団や関係から遠ざけること、孤独はつながりがなく一人だと感じる状態を表す。

用例：少数意見を疎外しない／町で孤独を覚える

(4) エ 泰然は何が起きても落ち着いて動じない様子、悠然はゆったりとして余裕のある様子を表す。

用例：批判にも泰然としている／庭を悠然と歩く

(5) ア A = 憧憬、B = 羨望。(1) の使い分けを参照。

(6) イ A = 疎外、B = 孤独。(3) の使い分けを参照。

六 短文で使ってみよう

(1) 慣例	(11) 貞淑
(2) 懸命	(12) 特殊
(3) 復興	(13) 疎遠
(4) 惰性	(14) 玩具
(5) 泰然	(15) 悠然
(6) 禁忌	(16) ゆうぜん
(7) 臆測	(17) ぎせい
(8) 悪夢	(18) ていねい
(9) 推奨	(19) かれい
(10) 道徳	(20) ゆううつ

七 文章の中で考えよう

- (1) 疎外 本文中では「疎外」と表されている。
- (2) 憧憬
- (3) ウ 悪い結果になるのではないかと気がかりに思うこと。
- (4) イ 一時の感情や行動から、その人の変わらない性格全体を決めないため。
- (5) 解答例 (47 字)

憧憬は理想へのあこがれ、羨望は他者との比較を含み、感情が何に向いたかという違いが失われるため。

見る点：本文中の判断と、その理由を結びつけていること

- (6) 解答例 (78 字)

感情の向きと強さ、続いた時間を確かめ、実際の行動やその前後の出来事と結ぶ。周囲の評価と本人の言葉も分け、一語から性格を固定せず、矛盾する気持ちを残して読む。

見る点：指定語を用いたこと／本文の具体と結論を結んだこと

第六回

言外の意味と応酬

発言内容だけでなく、誰が誰へ、何の目的で述べたかを読む。

今日の中心漢字

辞 称 掲 吐 詳 簿 誰 諧

いっしょに覚える漢字

兆	筆	弁	描	叱	但
叙	嘱	喩	罵	韻	諭※

吐露・弁明・比喩・説諭などを確かめたあと、往復書簡の語調と但し書きから言外の意味を読み取る文章を扱います。 ※再会漢字：諭（第一冊第十回）

意味の芯 → 熟語 → 使い分け → 短文 → 文章

一今日の中心漢字の芯

字	主な読み	意味の芯／熟語	字	主な読み	意味の芯／熟語
辞	ジ・やめる	言葉／ことわる／職を退く 辞意・辞書・謝辞	詳	ショウ・くわしい	細かく明らか 詳述・詳細・詳報
称	ショウ	名づける／ほめる 自称・名称・称赞	簿	ボ	事項を書き留める帳面 名簿・帳簿・簿冊
掲	ケイ・かかげる	高く示す／広く示す 掲示・掲載・掲揚	誰	だれ	人をたずねる語 誰何・誰・誰彼
吐	ト・はく	口から出す／心を述べる 吐露・吐息・吐出	諧	カイ	調和する／おどけ 諧謔・俳諧・和諧

二いっしょに覚える漢字

字	主な読み	意味の方向／熟語	字	主な読み	意味の方向／熟語
兆	チョウ・きざす・ きざし	前触れ／非常に大きな数 兆候・吉兆・一兆	叙	ジョ	順に述べる／位を受ける 叙述・叙景・叙勲
筆	ヒツ・ふで	書く道具／書きぶり 筆致・筆者・加筆	嘱	ショク	仕事を頼み任せる 委嘱・嘱託・遺嘱
弁	ベン	話す／区別する／花びら 弁明・答弁・弁別	喩	ユ・たとえる	別のものにたとえる 比喩・暗喩・直喩
描	ビョウ・えがく・ かく	形や様子をかく 描写・素描・描線	罵	バ・ののしる	激しい言葉で責める 罵倒・罵声・痛罵
叱	シツ・しかる	強く注意する 叱責・叱る・叱咤	韻	イン	音の響き／詩の音の規則 韻律・押韻・余韻
但	ただし	前の内容へ条件を添える 但し書き・但し・但書	諭 ※	ユ・さとす	再会：道理を言い聞かせる 説諭・諭す・教諭

三 漢字の働きを考えよう

次の問いに答えなさい。

(1) 「辞意」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 人に見せるため文章や図を掲げて示すこと。
- イ 職や役目を辞めようとする意思。
- ウ 内容を細かな点まで詳しく述べること。
- エ 相手が何者かを呼び止めて問いたすこと。

(2) 「自称」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 自分で自分がある名や立場だと言うこと。
- イ 心の中に秘めていた考えや気持ちを打ち明けること。
- ウ 人の氏名などを一覧にした帳面や記録。
- エ 機知を含んだ気の利いたおどけや冗談。

(3) 「掲示」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 内容を細かな点まで詳しく述べること。
- イ 相手が何者かを呼び止めて問いたすこと。
- ウ 職や役目を辞めようとする意思。
- エ 人に見せるため文章や図を掲げて示すこと。

(4) 「吐露」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 人の氏名などを一覧にした帳面や記録。
- イ 機知を含んだ気の利いたおどけや冗談。
- ウ 心の中に秘めていた考えや気持ちを打ち明けること。
- エ 自分で自分がある名や立場だと言うこと。

(5) 「詳述」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 相手が何者かを呼び止めて問いたすこと。
- イ 内容を細かな点まで詳しく述べること。
- ウ 職や役目を辞めようとする意思。
- エ 人に見せるため文章や図を掲げて示すこと。

(6) 「名簿」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 人の氏名などを一覧にした帳面や記録。
- イ 機知を含んだ気の利いたおどけや冗談。
- ウ 自分で自分がある名や立場だと言うこと。
- エ 心の中に秘めていた考えや気持ちを打ち明けること。

四 熟語を広げよう

次の文に合う熟語を、語群から選んで書きなさい。

【語群】 辞意 名簿 弁明 自称 誰何 描写 揭示 諸謔 叱責 吐露 兆候 但し書き 詳述 筆致

- | | |
|-----------------------------------|---------------------------------|
| (1) 社長は体調を理由に（ ）を表明した。 | (8) 深刻な場面にも（ ）を交え、聴衆の緊張を和らげた。 |
| (2) 彼は旅先で研究者を（ ）したが、確認できる経歴はなかった。 | (9) 木の葉の変色は病気の（ ）かもしれない。 |
| (3) 避難経路を入口の壁に（ ）した。 | (10) 力強く簡潔な（ ）が、この作家の文章を特徴づける。 |
| (4) 胸の内に秘めていた不安を初めて（ ）した。 | (11) 疑いを受けた担当者は、会見で自らの判断を（ ）した。 |
| (5) 報告書では、調査の方法と結果を（ ）した。 | (12) 小説は港町の朝を鮮やかに（ ）している。 |
| (6) 参加者の（ ）を受付で照合した。 | (13) 規則を破った部員は監督から厳しく（ ）された。 |
| (7) 門番は夜中に近づく者を（ ）した。 | (14) 契約書末尾の（ ）まで読み、例外条件を確かめた。 |

五 似た語を使い分けよう

それぞれの語の違いとして、最も適切なものを選びなさい。

(1) 「吐露」と「弁明」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 吐露は秘めた考えや感情を打ち明けること、弁明は自分の行為や立場の理由を説明することを表す。
- イ 吐露は自分の行為や立場の理由を説明すること、弁明は秘めた考えや感情を打ち明けることを表す。
- ウ どちらも自分のことを話すので、感情の開示か責任への説明かは同じである。
- エ 吐露は口頭、弁明は文書にだけ用いる。

(2) 「叱責」と「罵倒」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 叱責は相手を激しい悪口でののしること、罵倒は過ちを厳しくとがめ注意することを表す。
- イ どちらも強い言葉なので、行為への注意か相手への攻撃かを区別しない。
- ウ 叱責は過ちを厳しくとがめ注意すること、罵倒は相手を激しい悪口でののしることを表す。
- エ 叱責は目上、罵倒は目下へだけ行う。

(3) 「叙述」と「描写」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 叙述は出来事や考えを順序立てて述べること、描写は様子を具体的に言葉や絵で表すことを表す。
- イ 叙述は様子を具体的に言葉や絵で表すこと、描写は出来事や考えを順序立てて述べることを表す。
- ウ どちらも文章に書くため、時間の展開か具体的な様子かは同じである。
- エ 叙述は事実、描写は虚構にだけ用いる。

(4) 「説諭」と「委嘱」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 説諭は特定の仕事を頼み任せること、委嘱は事情や道理を説明して言い聞かせることを表す。
- イ どちらも相手へ求める行為なので、理解を促すか仕事を任せるかは同じである。
- ウ 説諭は事情や道理を説明して言い聞かせること、委嘱は特定の仕事を頼み任せることを表す。
- エ 説諭は無償、委嘱は有償の場合だけを表す。

(5) A・Bに入る語の組合せとして、最も適切なものを選びなさい。A「規則違反を（A）する」 B「人格まで（B）する」

- ア A＝罵倒／B＝叱責 イ A＝叱責／B＝叱責
- ウ A＝叱責／B＝罵倒 エ A＝罵倒／B＝罵倒

(6) A・Bに入る語の組合せとして、最も適切なものを選びなさい。A「若者を（A）する」 B「調査を専門家へ（B）する」

- ア A＝委嘱／B＝説諭 イ A＝説諭／B＝説諭
- ウ A＝委嘱／B＝委嘱 エ A＝説諭／B＝委嘱

六 短文で使ってみよう

A カタカナを漢字に直しなさい。

- | | |
|---------------------------|-------------------------------|
| (1) 知らない語をジショで調べ、用例も確かめた。 | (9) 雨上がりの山を細やかにジョケイした文章だ。 |
| (2) 事故のショウサイは、調査後に公表される。 | (10) この随筆のヒッシャが、どこに注目したか考えた。 |
| (3) 観客は見事な演技をショウサンした。 | (11) 大臣は議会で質問にトウベンした。 |
| (4) 店の売上と支出をチョウボに記入した。 | (12) 鉛筆だけで人物をソビョウした。 |
| (5) 地域の記事が、新聞の一面にケイサイされた。 | (13) 申込みは先着順、タダシガキに例外が示されている。 |
| (6) ダレカレ構わず話す内容ではない。 | (14) 大学は専門家へ調査をイショクした。 |
| (7) 長い坂を上り終え、深いトイキをついた。 | (15) 時間を川の流れにたとえるヒユが使われている。 |
| (8) 江戸期のハイカイから、当時の暮らしを読む。 | |

B 次の熟語の読みを書きなさい。

- | | | | | |
|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| (16) 委嘱 () | (17) 比喻 () | (18) 罵倒 () | (19) 韻律 () | (20) 説諭 () |
|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|

七 文章の中で考えよう

次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

往復書簡の声を読み分ける

町の会合をめぐる往復書簡には、辞意の吐露、遅れへの弁明、仕事の委嘱が混在していた。掲示用の抄録だけでは、誰が誰へ返した言葉か分からず、真央は名簿と帳簿を照合した。

【応酬を読む手がかり】書き手／相手／目的／引用／但し書き／返答

最初の手紙は状況を詳述し、港の混乱を比喻で描写する。筆致は穏やかだが、但し書きには「期限を過ぎれば辞任」とある。柔らかな語調が、要求の弱さを意味するとは限らない。

同じ出来事でも、書き手によって主語と敬称が違っていた。誰の声を外すと、賛成と皮肉を取り違える。返書には叱責と説諭があり、別紙では罵倒に近い語も使われた。行為の誤りを論す文と、相手の人格を攻撃する罵声を同じ「厳しい注意」でまとめてはならない。

会合の兆候を「嵐の前」とした暗喩、短い韻律をもつ標語、諧謔を交えた追伸もある。冗談は緊張を和らげ得るが、受け手を傷つけた可能性まで消すものではない。

記録係は誰何の声を叙述し、発言者の自称と他称を分けた。称賛の語も自称の肩書も、その人の正式な地位と直ちに同じとはしない。引用符の内外を確認した。

悠人は、吐露・弁明・叱責・罵倒を別の色で示した。真央は但し書きを本文の末へ隠さず、条件がどの発言へ掛かるか線で結んだ。言外の意味を想像だけで補わないためである。

二人は書簡を日付順だけでなく、問いと返答の組として並べた。返事のない沈黙も、一つの空白として残した。

応酬を精密に読むには、強い語や美しい比喻だけを抜き出さないことが重要だ。誰の発言か、何への返答か、条件は何かをたどると、言葉が関係の中で果たした働きが見えてくる。

七 文章の中で考えよう（問い）

本文を根拠にして答えなさい。

（1）本文中から、「秘めていた考えや気持ちを打ち明けること」という意味で使われている熟語を抜き出ささい。

（2）「タダシガキ」を漢字で書きなさい。

（3）本文中の「説諭」の意味として最も近いものを選びなさい。

ア 特定の仕事を外部の人へ頼み任せること。

イ 相手を激しい悪口でののしること。

ウ 物事の様子を具体的に言葉や絵で表すこと。

エ 事情や道理を説明してよく言い聞かせること。

（4）柔らかな筆致の手紙でも要求が弱いとは限らない理由を選びなさい。

ア 但し書きに期限と辞任条件があり、語調とは別に明確な要求が示されていたから。

イ 比喻を使う文章には条件を書けないから。

ウ 筆致は必ず書き手の本心と反対になるから。

エ 帳簿には手紙の送り主が記されていないから。

（5）叱責と罵倒を同じ色で示さなかったのはなぜか。45～55 字で説明しなさい。

（6）「書き手」「条件」の二語を用い、往復書簡の言外の意味を読む方法を 70～90 字でまとめなさい。

三 漢字の働きを考えよう

- | | |
|----------------------------|--------------------------------|
| (1) イ 職や役目を辞めようとする意思。 | (4) ウ 心の中に秘めていた考えや気持ちを打ち明けること。 |
| (2) ア 自分で自分がある名や立場だということ。 | (5) イ 内容を細かな点まで詳しく述べること。 |
| (3) エ 人に見せるため文章や図を掲げて示すこと。 | (6) ア 人の氏名などを一覧にした帳面や記録。 |

四 熟語を広げよう

- | | |
|--------|-----------|
| (1) 辞意 | (8) 諧謔 |
| (2) 自称 | (9) 兆候 |
| (3) 揭示 | (10) 筆致 |
| (4) 吐露 | (11) 弁明 |
| (5) 詳述 | (12) 描写 |
| (6) 名簿 | (13) 叱責 |
| (7) 誰何 | (14) 但し書き |

使い分けを確かめよう：吐露は秘めた考えや感情を打ち明けること、弁明は自分の行為や立場の理由を説明することを表す。

五 似た語を使い分けよう

(1) ア 吐露は秘めた考えや感情を打ち明けること、弁明は自分の行為や立場の理由を説明することを表す。

用例：不安を吐露する／遅刻の事情を弁明する

(2) ウ 叱責は過ちを厳しくとがめ注意すること、罵倒は相手を激しい悪口でののしることを表す。

用例：規則違反を叱責する／人格まで罵倒する

(3) ア 叙述は出来事や考えを順序立てて述べること、描写は様子を具体的に言葉や絵で表すことを表す。

用例：経過を叙述する／港の光景を描写する

(4) ウ 説諭は事情や道理を説明して言い聞かせること、委嘱は特定の仕事を頼み任せることを表す。

用例：若者を説諭する／調査を専門家へ委嘱する

(5) ウ A=叱責、B=罵倒。(2)の使い分けを参照。

(6) エ A=説諭、B=委嘱。(4)の使い分けを参照。

六 短文で使ってみよう

(1) 辞書	(11) 答弁
(2) 詳細	(12) 素描
(3) 称賛	(13) 但書
(4) 帳簿	(14) 委嘱
(5) 掲載	(15) 比喻
(6) 誰彼	(16) いしょく
(7) 吐息	(17) ひゆ
(8) 俳諧	(18) ばとう
(9) 叙景	(19) いんりつ
(10) 筆者	(20) せつゆ

七 文章の中で考えよう

- (1) 吐露 本文中では「吐露」と表されている。
- (2) 但し書き
- (3) エ 事情や道理を説明してよく言い聞かせること。
- (4) ア 但し書きに期限と辞任条件があり、語調とは別に明確な要求が示されていたから。
- (5) 解答例 (49 字)

叱責は行為の過ちを厳しく注意する語だが、罵倒は人格まで攻撃する悪口で、言葉の向かう先が異なるため。

見る点：本文中の判断と、その理由を結びつけていること

- (6) 解答例 (77 字)

引用ごとに書き手と相手、何への返答かを確かめ、但し書きの条件がどの発言へ掛かるかを結ぶ。語調だけで強弱を決めず、吐露・弁明・説諭・罵倒の目的を分けて読む。

見る点：指定語を用いたこと／本文の具体と結論を結んだこと

第七回

概念と論証

事実・解釈・評価の範囲を示し、根拠から結論までの道筋を組む。

今日の中心漢字

単 覚 超 凡 釈 偽 範 稽

いっしょに覚える漢字

拾	割	又	幻	弥	妄
采	彰	薦	瞭	艷	曖

解釈・範囲・明瞭・曖昧などを確かめたあと、伝説を紹介する展示文の論証を点検する文章を読みます。

意味の芯 → 熟語 → 使い分け → 短文 → 文章

一 今日の中心漢字の芯

字	主な読み	意味の芯／熟語	字	主な読み	意味の芯／熟語
単 覚 超 凡	タン	一つ／簡素 単純・単位・単独	釈	シャク	意味を解き明かす／放す 解釈・釈明・注釈
	カク・おぼえる・ さます・さめる	感じ取る／意識する 知覚・自覚・感覚	偽	ギ・いつわる・に せ	本物でない／事実と反する 偽証・虚偽・偽物
	チョウ・こえる・ こす	限界を越える 超越・超過・超然	範	ハン	手本／限られた広がり 範囲・規範・模範
	ボン・ハン・およ そ	普通／すべて 凡例・平凡・非凡	稽	ケイ	考え合わせる／とどめる 無稽・稽古・滑稽

二 いっしょに覚える漢字

字	主な読み	意味の方向／熟語	字	主な読み	意味の方向／熟語
拾 割 又 幻 弥 妄	シュウ・ジュウ・ ひろう	落ちたものを取る／補う 拾遺・拾得・拾う	采	サイ	選び取る／姿や色どり 喝采・風采・采配
	カツ・わる・わ り・われる・さく	分ける／割合 割合・分割・割当	彰	ショウ	明らかにする／表す 顕彰・表彰・彰徳
	また	さらに／二者から選ぶ 又は・又聞き・又とない	薦	セン・すすめる	よいとして人に勧める 推薦・自薦・薦める
	ゲン・まぼろし	実在しないように見えるもの 幻想・幻影・幻覚	瞭	リョウ	はっきり見える 明瞭・一目瞭然・瞭然
	ミ・ピ・いや	いよいよ／ますます 弥増す・弥生・弥栄	艶	エン・つや	つや／なまめかしい美しさ 艶麗・光艶・艶やか
	モウ・ボウ	根拠なくみだり 妄想・妄言・妄信	曖	アイ	はっきりしない 曖昧・曖昧さ・曖昧模糊

三 漢字の働きを考えよう

次の問いに答えなさい。

(1) 「単純」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア ある範囲や限界を越えてその外へ出ること。
- イ 言葉や出来事の意味を考えて理解すること。
- ウ 要素や仕組みが少なく複雑でないこと。
- エ 物事が及んだり当てはまったりする広がり。

(2) 「知覚」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 本や表の使い方と記号の意味を初めに示す説明。
- イ 感覚器官を通して外界の状態を感じ取る働き。
- ウ 事実でないことを証言すること。
- エ 根拠がなくでたらめであること。

(3) 「超越」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア ある範囲や限界を越えてその外へ出ること。
- イ 言葉や出来事の意味を考えて理解すること。
- ウ 物事が及んだり当てはまったりする広がり。
- エ 要素や仕組みが少なく複雑でないこと。

(4) 「凡例」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 事実でないことを証言すること。
- イ 根拠がなくでたらめであること。
- ウ 感覚器官を通して外界の状態を感じ取る働き。
- エ 本や表の使い方と記号の意味を初めに示す説明。

(5) 「解釈」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 物事が及んだり当てはまったりする広がり。
- イ 要素や仕組みが少なく複雑でないこと。
- ウ 言葉や出来事の意味を考えて理解すること。
- エ ある範囲や限界を越えてその外へ出ること。

(6) 「偽証」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 根拠がなくでたらめであること。
- イ 事実でないことを証言すること。
- ウ 感覚器官を通して外界の状態を感じ取る働き。
- エ 本や表の使い方と記号の意味を初めに示す説明。

四 熟語を広げよう

次の文に合う熟語を、語群から選んで書きなさい。

【語群】 単純 偽証 又は 知覚 範囲 幻想 超越 無稽 弥増す 凡例 拾遺 妄想 解釈 割合

- | | |
|----------------------------|--------------------------------|
| (1) 原因を一つだけと見るのは（ ）すぎる。 | (8) 根拠のない（ ）な説に振り回されない。 |
| (2) 皮膚は温度や痛みを（ ）する。 | (9) 本編から漏れた資料を（ ）として後にまとめた。 |
| (3) 作品は時代や地域を（ ）して人の心に届く。 | (10) 参加者に占める学生の（ ）を計算した。 |
| (4) 地図の色や記号は（ ）を見て確かめる。 | (11) 申請書は郵送（ ）窓口へ提出する。 |
| (5) 同じ文章でも読み手によって（ ）が分かれる。 | (12) 霧の中に城が浮かぶような（ ）的な景色だった。 |
| (6) 法廷で意図的に（ ）すれば処罰される。 | (13) 再会の日が近づくにつれ、期待は（ ）ばかりだった。 |
| (7) 調査の（ ）を市内全域へ広げた。 | (14) 事実と異なる（ ）を膨らませ、自分を追い込んだ。 |

五 似た語を使い分けよう

それぞれの語の違いとして、最も適切なものを選びなさい。

(1) 「単純」と「明瞭」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 単純は意味や形がはっきり分かること、明瞭は要素や仕組みが少ないことを表す。
- イ 分かりやすいものは必ず要素が少ないため、複雑でも明瞭な説明はない。
- ウ 単純は正しく、明瞭は美しい場合だけを表す。
- エ 単純は要素や仕組みが少ないこと、明瞭は意味や形がはっきり分かることを表す。

(2) 「事実」と「解釈」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 事実は事実の意味を考えて理解した内容、解釈は資料などで確かめられる出来事や状態を表す。
- イ 事実は資料などで確かめられる出来事や状態、解釈は事実の意味を考えて理解した内容を表す。
- ウ 資料に基づく解釈は事実そのものになり、両者を分ける必要はない。
- エ 事実は数字、解釈は文章にだけ現れる。

(3) 「幻想」と「妄想」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 幻想は根拠が乏しいまま現実から離れたことを思い込むこと、妄想は現実にはない世界や像を思い描くことを表す。
- イ どちらも実在しない内容なので、表現としての想像か思い込みかは同じである。
- ウ 幻想は美しい内容、妄想は醜い内容だけを表す。
- エ 幻想は現実にはない世界や像を思い描くこと、妄想は根拠が乏しいまま現実から離れたことを思い込むことを表す。

(4) 「顕彰」と「推薦」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 顕彰はふさわしい人や物として他者へ勧めること、推薦は功績を広く知らせてたたえることを表す。
- イ 顕彰は功績を広く知らせてたたえること、推薦はふさわしい人や物として他者へ勧めることを表す。
- ウ どちらも人を高く評価するため、過去の功績か将来の選出かは区別しない。
- エ 顕彰は死者、推薦は生者にだけ用いる。

(5) A・Bに入る語の組合せとして、最も適切なものを選びなさい。A「物語の（A）を味わう」 B「根拠なく陰謀を（B）する」

- ア A＝幻想／B＝妄想 イ A＝妄想／B＝幻想
- ウ A＝幻想／B＝幻想 エ A＝妄想／B＝妄想

(6) A・Bに入る語の組合せとして、最も適切なものを選びなさい。A「（A）な模型を作る」 B「論点を（B）に示す」

- ア A＝明瞭／B＝単純 イ A＝単純／B＝明瞭
- ウ A＝単純／B＝単純 エ A＝明瞭／B＝明瞭

六 短文で使ってみよう

A カタカナを漢字に直しなさい。

- | | |
|------------------------------|------------------------------|
| (1) 長さのタンイをセンチメートルへそろえた。 | (9) 落とし物をシュウトクし、交番へ届けた。 |
| (2) 誤解を招いた発言について、本人がシャクメイした。 | (10) 立派なフウサイの人物が、壇上へ現れた。 |
| (3) 自分の弱点をジカクし、練習方法を変えた。 | (11) 長い文を三つの段落へブンカツした。 |
| (4) 申請書へキョギの内容を書いてはならない。 | (12) 霧の中に城のゲンエイが浮かんた。 |
| (5) 制限時間を十分チョウカしたため、失格となった。 | (13) 公の場で根拠のないボウゲンを吐いた。 |
| (6) 人を傷つけないというキハンを共有した。 | (14) 郷土文化を守った人を、記念碑でケンショウした。 |
| (7) ヘイボンな一日にも、小さな発見はある。 | (15) 学級の代表として、友人をスイセンした。 |
| (8) 毎週道場で剣術のケイコをしている。 | |

B 次の熟語の読みを書きなさい。

- | | | | | |
|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| (16) 顕彰 () | (17) 推薦 () | (18) 明瞭 () | (19) 艷麗 () | (20) 曖昧 () |
|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|

七 文章の中で考えよう

次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

伝説を「事実」と書けるか

最終展示の解説案には「英雄は一夜で谷を越えた」とあった。書き手は非凡な力が常識を超越した事実だとするが、根拠は後世の伝説一件だけで、真央は事実と解釈の範囲を分けた。

凡例には実線を記録、点線を推定とするとある。

しかし本文では幻想的な場面も同じ実線で示され、明瞭に見える図がかえって証拠の違いを隠していた。単純な図と明瞭な論証は同じではない。

伝説の場所から古い石が出たとしても、物語の全てが事実になるわけではない。確かめられた部分だけを狭く書いた。

【論証の段階】資料／知覚できる事実／解釈／反対例／結論の範囲

拾遺集にある別伝では、英雄は橋を渡ったとされる。又は舟を使ったという記録もあり、一夜で山を越えたとの説は無稽と断定できない一方、確定した史実とも言えない。

物語への喝采が弥増し、町では英雄を顕彰する案が出た。

推薦文は艶麗だが、賞賛の強さは証拠の強さではない。偽証が確認されたわけでもなく、疑わしいだけで虚偽と決めるのも早い。

悠人は「伝説は妄想だ」と切り捨てず、幻想が共同体の願いを表す可能性を記した。ただし、その文化的意味と実際に起きた出来事の判断は別の段落にした。

曖昧な箇所は無理に一つへ決めず、複数の解釈と根拠の割合を表へ置いた。観客が何を事実と見なし、どこから推論したかをたどれるよう、引用と結論を線で結んだ。

悠人は「伝説を消さず、証拠とも混ぜない展示にしよう」と提案した。物語と調査記録を二本の帯で並走させた。

論証を精密にするとは、曖昧さをすべて消すことではない。確かな範囲を明示し、別の解釈や反対例を示すことで、資料が支えられる所までの結論を組み立てることである。

七 文章の中で考えよう（問い）

本文を根拠にして答えなさい。

（1）本文中から、「本や表の使い方と記号の意味を初めに示す説明」という意味で使われている熟語を抜き出さない。

（2）「メイリョウ」を漢字 2 字で書きなさい。

（3）本文中の「無稽」の意味として最も近いものを選びなさい。

- ア 根拠がなくでたらめであること。
- イ 意味や形がはっきりしていること。
- ウ 漏れ落ちた事柄を拾って補うこと。
- エ 功績を広く知らせてたたえること。

（4）喝采や艶麗な推薦文を証拠の強さとしなかった理由として最も適切なものを選びなさい。

- ア 美しい文章はすべて内容が偽りだから。
- イ 伝説には文化的な意味が全くないから。
- ウ 凡例には文章を書いてはならないから。
- エ 人々の評価や文章の美しさは、出来事が実際に起きたことを直接示す資料ではないから。

（5）曖昧な箇所に複数の解釈を示したのはなぜか。45～55 字で説明しなさい。

（6）「根拠」「範囲」の二語を用い、伝説について論証する方法を 70～90 字でまとめなさい。

三 漢字の働きを考えよう

- | | |
|-----------------------------|------------------------------|
| (1) ウ 要素や仕組みが少なく複雑でないこと。 | (4) エ 本や表の使い方と記号の意味を初めに示す説明。 |
| (2) イ 感覚器官を通して外界の状態を感じ取る働き。 | (5) ウ 言葉や出来事の意味を考えて理解すること。 |
| (3) ア ある範囲や限界を越えてその外へ出ること。 | (6) イ 事実でないことを証言すること。 |

四 熟語を広げよう

- | | |
|--------|----------|
| (1) 単純 | (8) 無稽 |
| (2) 知覚 | (9) 拾遺 |
| (3) 超越 | (10) 割合 |
| (4) 凡例 | (11) 又は |
| (5) 解釈 | (12) 幻想 |
| (6) 偽証 | (13) 弥増す |
| (7) 範囲 | (14) 妄想 |

使い分けを確かめよう：単純は要素や仕組みが少ないこと、明瞭は意味や形がはっきり分かることを表す。

五 似た語を使い分けよう

(1) エ 単純は要素や仕組みが少ないこと、明瞭は意味や形がはっきり分かることを表す。

用例：単純な模型を作る／論点を明瞭に示す

(2) イ 事実は資料などで確かめられる出来事や状態、解釈は事実の意味を考えて理解した内容を表す。

用例：記録の年を事実として示す／像の意味を解釈する

(3) エ 幻想は現実にはない世界や像を思い描くこと、妄想は根拠が乏しいまま現実から離れたことを思い込むことを表す。

用例：物語の幻想を味わう／根拠なく陰謀を妄想する

(4) イ 顕彰は功績を広く知らせてたたえること、推薦はふさわしい人や物として他者へ勧めることを表す。

用例：郷土の研究者を顕彰する／展示委員へ研究者を推薦する

(5) ア A＝幻想、B＝妄想。(3)の使い分けを参照。

(6) イ A＝単純、B＝明瞭。(1)の使い分けを参照。

六 短文で使ってみよう

(1) 単位	(11) 分割
(2) 釈明	(12) 幻影
(3) 自覚	(13) 妄言
(4) 虚偽	(14) 顕彰
(5) 超過	(15) 推薦
(6) 規範	(16) けんしょう
(7) 平凡	(17) すいせん
(8) 稽古	(18) めいりょう
(9) 拾得	(19) えんれい
(10) 風采	(20) あいまい

七 文章の中で考えよう

- (1) 凡例 本文中では「凡例」と表されている。
- (2) 明瞭
- (3) ア 根拠がなくでたらめであること。
- (4) エ 人々の評価や文章の美しさは、出来事が実際に起きたことを直接示す資料ではないから。
- (5) 解答例（49 字）

資料だけでは一つに確定できない部分を隠さず、各解釈がどの根拠から導かれたかを読者が比べられるため。

見る点：本文中の判断と、その理由を結びつけていること

- (6) 解答例（74 字）

記録と後世の物語を分け、各解釈の根拠と反対例を示す。資料から確かめられる範囲を越えて事実と断定せず、評価の強さと証拠の強さも分けて結論を組み立てる。

見る点：指定語を用いたこと／本文の具体と結論を結んだこと

第八回

作用・制御・逸脱

動きの向き、制御する主体、途中で起きた逸脱を工程として捉える。

今日の中心漢字

落 飛 過 抜 押 涉 還 遁

いっしょに覚える漢字

登	抱	迅	斥	握	棄
挿	旋	罷	塞	遡	蹴

遁送・旋回・閉塞・遡及などを確かめたあと、山道の搬送装置が停止した過程を読む文章を扱います。

意味の芯 → 熟語 → 使い分け → 短文 → 文章

一 今日の中心漢字の芯

字	主な読み	意味の芯／熟語	字	主な読み	意味の芯／熟語
落	ラク・おちる・おとす	下へ移る／抜ける 落下・脱落・落差	押	オウ・おす・おさえる	力を加えて進める／とどめる 押圧・押収・後押し
飛	ヒ・とぶ・とばす	空中を進む／遠くへ移る 飛躍・飛行・飛散	渉	ショウ	水を渡る／関わる 交渉・渉外・干涉
過	カ・すぎる・すごす・あやまつ・あやまち	通り越す／度を越す 通過・過程・超過	還	カン	元へ返る／返す 還元・返還・生還
抜	バツ・ぬく・ぬける・ぬかす・ぬかる	中から取り出す／省く 抜去・抜粋・選抜	通	テイ	順々に送る／次第に 通送・通減・通信

二 いっしょに覚える漢字

字	主な読み	意味の方向／熟語	字	主な読み	意味の方向／熟語
登	トウ・ト・のぼる	高い所へ上がる／記す 登攀・登載・登頂	挿	ソウ・さす	間へ差し入れる 挿入・挿絵・挿話
抱	ハウ・だく・いだく・かかえる	腕で囲む／心に持つ 抱持・抱負・抱擁	旋	セン	めぐる／向きを変える 旋回・旋律・旋風
迅	ジン	非常に速い 迅速・迅雷・迅速化	罷	ヒ	やめさせる／退く 罷免・罷業・罷る
斥	セキ	退ける／遠ざける 排斥・斥候・排斥運動	塞	ソク・サイ・ふさぐ・ふさがる	通り道を閉じる 閉塞・要塞・梗塞
握	アク・にぎる	手に力を入れて持つ／支配する 握持・把握・握力	遡	ソ・さかのぼる	流れや時間を逆にたどる 遡及・遡行・遡上
棄	キ・すてる	捨てて用いない 放棄・棄却・遺棄	蹴	シュウ・ける	足で勢いよく押しやる 蹴球・一蹴・蹴る

三 漢字の働きを考えよう

次の問いに答えなさい。

(1) 「落下」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア ある場所や段階を通り過ぎること。
- イ 物の表面を押して圧力を加えること。
- ウ 複雑なものを元の状態や基本的な形へ戻すこと。
- エ 物が高い所から低い所へ落ちること。

(2) 「飛躍」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 差し込まれた物などを抜いて取り去ること。
- イ 利害の異なる相手と話し合い条件を調整すること。
- ウ 大きく跳ぶこと、または急速に進歩すること。
- エ 荷物や文書の中継して順々に送ること。

(3) 「通過」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 物の表面を押して圧力を加えること。
- イ ある場所や段階を通り過ぎること。
- ウ 複雑なものを元の状態や基本的な形へ戻すこと。
- エ 物が高い所から低い所へ落ちること。

(4) 「抜去」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 差し込まれた物などを抜いて取り去ること。
- イ 利害の異なる相手と話し合い条件を調整すること。
- ウ 荷物や文書の中継して順々に送ること。
- エ 大きく跳ぶこと、または急速に進歩すること。

(5) 「押圧」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 複雑なものを元の状態や基本的な形へ戻すこと。
- イ 物が高い所から低い所へ落ちること。
- ウ ある場所や段階を通り過ぎること。
- エ 物の表面を押して圧力を加えること。

(6) 「交渉」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 荷物や文書の中継して順々に送ること。
- イ 大きく跳ぶこと、または急速に進歩すること。
- ウ 利害の異なる相手と話し合い条件を調整すること。
- エ 差し込まれた物などを抜いて取り去ること。

四 熟語を広げよう

次の文に合う熟語を、語群から選んで書きなさい。

【語群】 落下 交渉 迅速 飛躍 還元 排斥 通過 遞送 握持 拔去 登攀 放棄 押圧 抱持

- | | |
|------------------------------|-----------------------------|
| (1) 棚から道具が（ ）し、床で壊れた。 | (8) 宿場ごとに人馬を替えて荷物を（ ）した。 |
| (2) 技術の（ ）によって、観測できる範囲が広がった。 | (9) 岩壁をロープで（ ）する。 |
| (3) 列車は長いトンネルを（ ）した。 | (10) 異なる意見を（ ）したまま、互いに話を聴く。 |
| (4) 治療後、不要になった管を（ ）した。 | (11) 救援物資を（ ）に被災地へ届けた。 |
| (5) 出血部位を布で（ ）して止血した。 | (12) 出身を理由に人を（ ）してはならない。 |
| (6) 条件をめぐる（ ）が続き、合意には至らなかった。 | (13) 工具を確実に（ ）し、手から滑らせない。 |
| (7) 事業で得た利益を地域へ（ ）する。 | (14) 採算が取れず、計画を（ ）した。 |

五 似た語を使い分けよう

それぞれの語の違いとして、最も適切なものを選びなさい。

(1) 「通過」と「逸脱」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 通過は定めた道筋や基準から外れること、逸脱は定めた場所や段階を通り過ぎることを表す。
- イ どちらも場所を移るため、予定した経路内か外かは区別しない。
- ウ 通過は定めた場所や段階を通り過ぎること、逸脱は定めた道筋や基準から外れることを表す。
- エ 通過は成功、逸脱は失敗した場合だけに用いる。

(2) 「還元」と「返還」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 還元は複雑なものを元の状態や基本へ戻すこと、返還は借りた物や権利を持ち主へ返すことを表す。
- イ 還元は借りた物や権利を持ち主へ返すこと、返還は複雑なものを元の状態や基本へ戻すことを表す。
- ウ どちらも元へ戻すため、状態を戻すか相手へ返すかは同じである。
- エ 還元は物、返還は数値にだけ用いる。

(3) 「閉塞」と「排斥」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 閉塞は人や考えを受け入れず外へ退けること、排斥は通路や状況がふさがり進めないことを表す。
- イ どちらも外へ出す働きであり、詰まりか退ける行為かは区別しない。
- ウ 閉塞は通路や状況がふさがり進めないこと、排斥は人や考えを受け入れず外へ退けることを表す。
- エ 閉塞は自然、排斥は法律にだけ用いる。

(4) 「罷免」と「放棄」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 罷免は権限をもつ側が人を職からやめさせること、放棄は本人が権利や計画を自ら捨てることを表す。
- イ 罷免は本人が権利や計画を自ら捨てること、放棄は権限をもつ側が人を職からやめさせることを表す。
- ウ どちらも役割をやめるため、誰が決めたかは関係しない。
- エ 罷免は有給職、放棄は無給の役割だけを表す。

(5) A・Bに入る語の組合せとして、最も適切なものを選びなさい。A「責任者を（A）する」 B「所有権を（B）する」

- ア A=放棄/B=罷免 イ A=罷免/B=罷免
- ウ A=罷免/B=放棄 エ A=放棄/B=放棄

(6) A・Bに入る語の組合せとして、最も適切なものを選びなさい。A「観測値を基本単位へ（A）する」 B「器具を所有者へ（B）する」

- ア A=返還/B=還元 イ A=還元/B=還元
- ウ A=返還/B=返還 エ A=還元/B=返還

六 短文で使ってみよう

A カタカナを漢字に直しなさい。

- | | |
|-----------------------------|----------------------------|
| (1) 名簿から名前がダツラクしていないか確かめた。 | (9) 名簿へ氏名をトウサイする許可を得た。 |
| (2) 警察は捜査に必要な証拠品をオウシュウした。 | (10) 物語の内容に合うサシエを描いた。 |
| (3) 夜空をヒコウする機体の灯りが見えた。 | (11) 新しい仕事へ向けたハウフを語った。 |
| (4) 海外との連絡を担うショウガイ担当者が応対した。 | (12) 遠くで鳴ったジンライに、窓が震えた。 |
| (5) 完成品だけでなく、制作のカテイも記録した。 | (13) 軍は先にセッコウを出し、敵の位置を探った。 |
| (6) 博物館は、借りていた像を所有者へヘンカンした。 | (14) 集めた情報から、状況の全体をハアクした。 |
| (7) 報告書から重要な一節をバcssイした。 | (15) 証拠が足りず、裁判所は訴えをキキャクした。 |
| (8) 使用量が増えるほど、割引率はテイゲンする。 | |

B 次の熟語の読みを書きなさい。

- | | | | | |
|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| (16) 旋回 () | (17) 罷免 () | (18) 閉塞 () | (19) 遡及 () | (20) 蹴球 () |
|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|

七 文章の中で考えよう

次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

搬送装置はどこで止まったか

山麓の展示場へ石材を運んだ旧式装置は、荷を抱持する台車、押圧する輪、通送する中継所から成る。試運転では迅速に登攀したが、途中で荷が落下し、計画は停止した。

記録には「抜去した栓を再挿入」「台車が旋回点を通過」とある。飛躍して原因を一つに決めず、作業の過程を時刻順に並べると、閉塞は落下より前に始まっていた。

【作用を追う欄】動かした主体／力の向き／通過点／制御／逸脱

装置が止まった地点だけでなく、その直前の音、荷の重さ、操作の順を聞き取った。原因は停止後の姿だけでは分からない。作業員は綱を握持し、危険区域から人を排斥した。蹴球のように足で荷を蹴ったという証言もあるが、別の記録は否定する。強い言葉だけで故意と判断できない。

交渉の結果、責任者は罷免されたが、計画そのものは放棄されなかった。器具は所有者へ返還し、測定値は共通単位へ還元した。似た「戻す」でも対象と相手が違う。

後の規則を事故当時へ遡及して違反とすることは避けた。一方、古い安全基準でどの操作が許されていたかは調べ、台車が経路を逸脱した時点を図へ示した。

悠人は「落ちたから壊れた」だけでなく、閉塞、押圧の増加、栓の抜去、旋回の順を矢印で結んだ。真央は証言の一致と不一致を分け、制御できた箇所を探した。再現実験では一つの条件だけを変え、結果を比べた。動いた場合も失敗した場合も、同じ欄へ記録した。

作用を精密に読むには、動詞を勢いだけでまとめないことが大切だ。誰が何ほどの向きの力を加え、どこで制御を失ったかを追うと、結果だけでなく過程と責任を考えられる。

七 文章の中で考えよう（問い）

本文を根拠にして答えなさい。

(1) 本文中から、「荷物や文書の中継して順々に送ること」という意味で使われている熟語を抜き出さなさい。

(2) 「ソキュウ」を漢字2字で書きなさい。

(3) 本文中の「罷免」の意味として最も近いものを選びなさい。

ア 権利や計画を自ら捨てること。

イ 職務や地位を強制的にやめさせること。

ウ 物を持ち主へ返すこと。

エ 通路がふさがり進めなくなること。

(4) 事故原因を落下だけに決めず、工程を時刻順に並べた理由として最も適切なものを選びなさい。

ア 落下は装置に何の影響も与えないから。

イ 証言はすべて同じ内容だったから。

ウ 落下より前に閉塞や押圧の変化があり、停止へ至る過程を確かめる必要があったから。

エ 後の規則を必ず事故当時へ適用するため。

(5) 後の規則を事故当時へそのまま遡及しなかったのはなぜか。45～55字で説明しなさい。

(6) 「主体」「過程」の二語を用い、装置停止の原因を調べる方法を70～90字でまとめなさい。

三 漢字の働きを考えよう

- | | |
|-----------------------------|-------------------------------|
| (1) エ 物が高い所から低い所へ落ちること。 | (4) ア 差し込まれた物などを抜いて取り去ること。 |
| (2) ウ 大きく跳ぶこと、または急速に進歩すること。 | (5) エ 物の表面を押して圧力を加えること。 |
| (3) イ ある場所や段階を通り過ぎること。 | (6) ウ 利害の異なる相手と話し合い条件を調整すること。 |

四 熟語を広げよう

- | | |
|--------|---------|
| (1) 落下 | (8) 遞送 |
| (2) 飛躍 | (9) 登攀 |
| (3) 通過 | (10) 抱持 |
| (4) 抜去 | (11) 迅速 |
| (5) 押圧 | (12) 排斥 |
| (6) 交渉 | (13) 握持 |
| (7) 還元 | (14) 放棄 |

使い分けを確かめよう：通過は定めた場所や段階を通り過ぎること、逸脱は定めた道筋や基準から外れることを表す。

五 似た語を使い分けよう

(1) ウ 通過は定めた場所や段階を通り過ぎること、逸脱は定めた道筋や基準から外れることを表す。

用例：検査点を通過する／運行経路から逸脱する

(2) ア 還元は複雑なものを元の状態や基本へ戻すこと、返還は借りた物や権利を持ち主へ返すことを表す。

用例：観測値を基本単位へ還元する／器具を所有者へ返還する

(3) ウ 閉塞は通路や状況がふさがり進めないこと、排斥は人や考えを受け入れず外へ退けることを表す。

用例：管路が閉塞する／異論を排斥する

(4) ア 罷免は権限をもつ側が人を職からやめさせること、放棄は本人が権利や計画を自ら捨てることを表す。

用例：責任者を罷免する／所有権を放棄する

(5) ウ A＝罷免、B＝放棄。(4)の使い分けを参照。

(6) エ A＝還元、B＝返還。(2)の使い分けを参照。

六 短文で使ってみよう

(1) 脱落

(11) 抱負

(2) 押収

(12) 迅雷

(3) 飛行

(13) 斥候

(4) 涉外

(14) 把握

(5) 過程

(15) 棄却

(6) 返還

(16) せんかい

(7) 抜粋

(17) ひめん

(8) 遞減

(18) へいそく

(9) 登載

(19) そきゅう

(10) 挿絵

(20) しゅうきゅう

七 文章の中で考えよう

- (1) 通送 本文中では「通送」と表されている。
- (2) 遡及
- (3) イ 職務や地位を強制的にやめさせること。
- (4) ウ 落下より前に閉塞や押圧の変化があり、停止へ至る過程を確かめる必要があったから。
- (5) 解答例（50 字）

事故時に存在しなかった基準で違反を決めると、当時の行為と責任を後の価値だけで評価することになるため。

見る点：本文中の判断と、その理由を結びつけていること

- (6) 解答例（76 字）

各操作の主体、力の向き、通過点を時刻順に並べ、閉塞から落下までの過程を矢印で結ぶ。証言の不一致と当時の安全基準も示し、結果だけから故意や責任を決めない。

見る点：指定語を用いたこと／本文の具体と結論を結んだこと

第九回

微細な変容を捉える

急変と漸変、量の増減と性質の変化を、途中の記録から分ける。

今日の中心漢字

拒 募 緒 猛 淡 殖 燥 窮

いっしょに覚える漢字

軽

卒

余

圧

充

徐

騷

弊

矯

壟

潰

化※

端緒・繁殖・乾燥・潰滅などを確かめたあと、湿地の変化を複数年代の資料から読む文章を扱います。

※再会漢字：化（第二冊第六回）

意味の芯 → 熟語 → 使い分け → 短文 → 文章

一今日の中心漢字の芯

字	主な読み	意味の芯／熟語	字	主な読み	意味の芯／熟語
拒	キョ・こばむ	受け入れず退ける 拒絶・拒否・拒む	淡	タン・あわい	色や味が薄い／執着が少ない 淡色・濃淡・淡水
募	ボ・つのる	広く集める／強まる 公募・募集・募る	殖	ショク・ふえる・ ふやす	生物や財が増える 繁殖・増殖・生殖
緒	ショ・チョ・お	糸口／始まり 端緒・情緒・由緒	燥	ソウ	水分がなく乾く 乾燥・焦燥・乾燥地
猛	モウ	勢いが非常に強い 猛暑・猛烈・猛威	窮	キュウ・きわめ る・きわまる	行き詰まる／極まる 窮乏・困窮・窮地

二いっしょに覚える漢字

字	主な読み	意味の方向／熟語	字	主な読み	意味の方向／熟語
軽	ケイ・かるい・か ろやか	重さや程度が小さい 軽微・軽量・軽快	騒	ソウ・さわぐ	騒がしく落ち着かない 騒然・騒音・騒動
卒	ソツ	終える／急に／下級の兵 卒然・卒業・兵卒	弊	ヘイ	害／疲れる／古びる 弊害・疲弊・旧弊
余	ヨ・あまる・あま す	残り／必要以上 余剰・余地・余波	矯	キョウ・ためる	曲がりや誤りを直す 矯正・矯める・矯風
圧	アツ	押さえつける力 圧縮・気圧・圧迫	墾	コン	荒れ地を切り開く 開墾・墾田・未墾地
充	ジュウ・あてる	中を満たす 充足・充実・補充	潰	カイ・つぶす・つ ぶれる	形や組織を壊す 潰滅・倒潰・潰瘍
徐	ジョ	ゆっくり／おもむろ 徐々・徐行・緩徐	化※	カ・ケ・ばける・ ばかす	再会：別の状態になる 変化・化学・文化

三 漢字の働きを考えよう

次の問いに答えなさい。

(1) 「拒絶」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 要求や接近などをはっきり受け入れないこと。
- イ 物事が始まったり解決へ向かったりする糸口。
- ウ 濃さが少なく薄い色。
- エ 物から水分が失われ乾いた状態になること。

(2) 「公募」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 平年を大きく上回るほど厳しい暑さ。
- イ 生物が子孫をつくり個体数を増やすこと。
- ウ 必要な物や資金が不足し生活に困ること。
- エ 条件を示して一般から広く募集すること。

(3) 「端緒」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 濃さが少なく薄い色。
- イ 物から水分が失われ乾いた状態になること。
- ウ 物事が始まったり解決へ向かったりする糸口。
- エ 要求や接近などをはっきり受け入れないこと。

(4) 「猛暑」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 生物が子孫をつくり個体数を増やすこと。
- イ 平年を大きく上回るほど厳しい暑さ。
- ウ 必要な物や資金が不足し生活に困ること。
- エ 条件を示して一般から広く募集すること。

(5) 「淡色」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 濃さが少なく薄い色。
- イ 物から水分が失われ乾いた状態になること。
- ウ 要求や接近などをはっきり受け入れないこと。
- エ 物事が始まったり解決へ向かったりする糸口。

(6) 「繁殖」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 必要な物や資金が不足し生活に困ること。
- イ 条件を示して一般から広く募集すること。
- ウ 平年を大きく上回るほど厳しい暑さ。
- エ 生物が子孫をつくり個体数を増やすこと。

四 熟語を広げよう

次の文に合う熟語を、語群から選んで書きなさい。

【語群】 拒絶 繁殖 余剰 公募 乾燥 圧縮 端緒 窮乏 充足 猛暑 軽微 徐々 淡色 卒然

(1) 突然の申し出を（ ）せず、まず事情を聞いた。 (8) 食料が（ ）し、住民は配給を待った。

(2) 新しい図案を全国から（ ）した。 (9) 傷は（ ）で、日常生活に支障はなかった。

(3) 一通の手紙が、長い調査の（ ）となった。 (10) 静かだった男が（ ）立ち上がり、出口へ向かった。

(4) 連日の（ ）で冷房の使用が増えた。 (11) （ ）の材料を別の料理に活用した。

(5) 壁を（ ）に塗り、部屋を明るく見せた。 (12) 画像を（ ）して、送信できる容量にした。

(6) 外来種が急速に（ ）し、生態系へ影響した。 (13) 必要な人員がそろい、条件が（ ）された。

(7) 洗った器具は十分に（ ）させる。 (14) 薬が効き、痛みは（ ）に和らいだ。

五 似た語を使い分けよう

それぞれの語の違いとして、最も適切なものを選びなさい。

(1) 「徐々」と「卒然」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 徐々は前触れなく急に起こる様子、卒然は変化が少しずつ進む様子を表す。
- イ 徐々は変化が少しずつ進む様子、卒然は前触れなく急に起こる様子を表す。
- ウ どちらも変化の開始を表すので、速さや前触れの有無は区別しない。
- エ 徐々は良い変化、卒然は悪い変化だけに用いる。

(2) 「繁殖」と「増殖」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 繁殖は細胞や生物、物事などが数を増すこと、増殖は生物が子孫を作り個体数を増やすことを表す。
- イ どちらも数が増えるため、子孫を作る過程か単に増えるかは同じである。
- ウ 繁殖は動物、増殖は植物にだけ用いる。
- エ 繁殖は生物が子孫を作り個体数を増やすこと、増殖は細胞や生物、物事などが数を増すことを表す。

(3) 「圧縮」と「潰滅」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 圧縮は組織や機能がほぼ完全に失われること、潰滅は力や処理で体積・情報量を小さくすることを表す。
- イ 圧縮は力や処理で体積・情報量を小さくすること、潰滅は組織や機能がほぼ完全に失われることを表す。
- ウ どちらも小さくなる変化なので、形を保つか機能を失うかは区別しない。
- エ 圧縮は回復不能、潰滅はすぐ元に戻る変化である。

(4) 「拒絶」と「拒否」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 拒絶は申し出や許可などを受け入れない判断、拒否は接近や要求を強く受け入れないことを表す。
- イ どちらも受け入れないため、反応か制度上の判断かを確かめる必要はない。
- ウ 拒絶は感情、拒否は法律にだけ用いる。
- エ 拒絶は接近や要求を強く受け入れないこと、拒否は申し出や許可などを受け入れない判断を表す。

(5) A・Bに入る語の組合せとして、最も適切なものを選びなさい。A「水位が(A)に下がる」 B「鳥が(B)と飛び立つ」

- ア A=徐々／B=卒然 イ A=卒然／B=徐々
- ウ A=徐々／B=徐々 エ A=卒然／B=卒然

(6) A・Bに入る語の組合せとして、最も適切なものを選びなさい。A「土層が(A)される」 B「生息地が(B)する」

- ア A=潰滅／B=圧縮 イ A=圧縮／B=潰滅
- ウ A=圧縮／B=圧縮 エ A=潰滅／B=潰滅

六 短文で使ってみよう

A カタカナを漢字に直しなさい。

- | | |
|--------------------------------|----------------------------|
| (1) 危険な依頼は、はっきりキョヒした。 | (9) 登山には、ケイリョウの雨具を持っていく。 |
| (2) 墨のノウタンを使い分け、山の遠近を表した。 | (10) 工場のソウオンを減らす防音壁を設けた。 |
| (3) 文化祭の出演者を広くボシュウした。 | (11) 春に学校をソツギョウし、故郷を離れた。 |
| (4) 温度が上がると、細菌が急にゾウショクすることがある。 | (12) まだ改善のヨチがあると、委員会は判断した。 |
| (5) 古い町並みには、独特のジョウチョがある。 | (13) 低キアツが近づき、天気が崩れた。 |
| (6) 結果を急ぐあまり、ショウソウに駆られた。 | (14) 資料の内容をジュウジツさせ、例を加えた。 |
| (7) 夜半からモウレツな風が吹き始めた。 | (15) 通学路では速度を落としてジョコウする。 |
| (8) 仕事を失い、生活にコンキュウする人を支援した。 | |

B 次の熟語の読みを書きなさい。

- | | | | | |
|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| (16) 弊害 () | (17) 矯正 () | (18) 開墾 () | (19) 潰滅 () | (20) 変化 () |
|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|

七 文章の中で考えよう

次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

湿地はいつ変わり始めたか

町外れの湿地を復元するため、調査員を公募した。最初の報告は猛暑と乾燥を端緒とするが、古写真ではそれ以前から水面の淡色化と土の圧縮が徐々に進んでいた。

鳥の繁殖は減り、藻の増殖は増えた。どちらも個体数の変化だが、子を残す過程と細胞が増える現象は同じではない。水の充足度と余剰栄養も別々に測った。

湿地の面積が減る前に、水の濁りと鳥の数が変わっていた。目に見える境界より早く、内部の条件が動いていた可能性がある。

開墾後、排水路の弊害が募り、住民説明会は騒然となった。計画を拒絶する声と、申請を制度上拒否した決定を分けると、誰が何を受け入れなかったかが見える。

軽微な亀裂は後に堤の潰滅へつながったが、初期のひびだけで崩壊を予言できたわけではない。圧力、乾燥、降雨を時系列に置き、変化の分岐点を探した。

【変容を読む軸】 始まり／速度／量／性質／回復可能性

窮乏した農家を怠慢とみなす軽卒な記述もあった。土壌を矯正する費用、猛暑による収穫減、制度の遅れを加えると、個人の性質だけでは説明できない。

「突然すべてが変化した」とする記事に対し、真央は卒然と見える出来事の前にも小さな兆候があったと注記した。悠人は回復できた箇所と不可逆な変容を色分けした。

二人は地図、採水記録、聞き取りを別の時間軸に置き、最初の変化を一つに決めず比較した。

微細な変容を捉えるには、最初と最後だけを比べないことが重要だ。速度、量、性質を途中の資料で確かめれば、何が徐々に進み、どこで回復が難しくなったかを説明できる。

七 文章の中で考えよう（問い）

本文を根拠にして答えなさい。

(1) 本文中から、「物事が始まったり解決へ向かったりする糸口」という意味で使われている熟語を抜き出さない。

(2) 「カイメツ」を漢字2字で書きなさい。

(3) 本文中の「軽微」の意味として最も近いものを選びなさい。

- ア 前触れなく急に起こる様子。
- イ 必要な物や資金が不足すること。
- ウ 程度がわずかで大きな影響を及ぼさないこと。
- エ 制度などに伴って生じる悪い影響。

(4) 最初と最後だけでなく途中の資料を比べた理由として最も適切なものを選びなさい。

- ア 古写真には湿地が一度も写っていないから。
- イ 変化の速度と分岐点を確認、徐々に進んだ過程と急に見える結果を分けるため。
- ウ 繁殖と増殖は全く同じ現象だから。
- エ 最後の状態は調査に使えないから。

(5) 窮乏した農家を怠慢と決めなかったのはなぜか。45～55字で説明しなさい。

(6) 「速度」「回復」の二語を用い、湿地の変容を読む方法を70～90字でまとめなさい。

三 漢字の働きを考えよう

- | | |
|-----------------------------|---------------------------|
| (1) ア 要求や接近などをはっきり受け入れないこと。 | (4) イ 平年を大きく上回るほど厳しい暑さ。 |
| (2) エ 条件を示して一般から広く募集すること。 | (5) ア 濃さが少なく薄い色。 |
| (3) ウ 物事が始まったり解決へ向かったりする糸口。 | (6) エ 生物が子孫をつくり個体数を増やすこと。 |

四 熟語を広げよう

- | | |
|--------|---------|
| (1) 拒絶 | (8) 窮乏 |
| (2) 公募 | (9) 軽微 |
| (3) 端緒 | (10) 卒然 |
| (4) 猛暑 | (11) 余剰 |
| (5) 淡色 | (12) 圧縮 |
| (6) 繁殖 | (13) 充足 |
| (7) 乾燥 | (14) 徐々 |

使い分けを確かめよう：徐々は変化が少しずつ進む様子、卒然は前触れなく急に起こる様子を表す。

五 似た語を使い分けよう

(1) イ 徐々は変化が少しずつ進む様子、卒然は前触れなく急に起こる様子を表す。

用例：水位が徐々に下がる／鳥が卒然と飛び立つ

(2) エ 繁殖は生物が子孫を作り個体数を増やすこと、増殖は細胞や生物、物事などが数を増すことを表す。

用例：鳥が湿地で繁殖する／藻類が増殖する

(3) イ 圧縮は力や処理で体積・情報量を小さくすること、潰滅は組織や機能がほぼ完全に失われることを表す。

用例：土層が圧縮される／生息地が潰滅する

(4) エ 拒絶は接近や要求を強く受け入れないこと、拒否は申し出や許可などを受け入れない判断を表す。

用例：外来種を拒絶する反応／申請を拒否する

(5) ア A＝徐々、B＝卒然。(1)の使い分けを参照。

(6) イ A＝圧縮、B＝潰滅。(3)の使い分けを参照。

六 短文で使ってみよう

(1) 拒否	(11) 卒業
(2) 濃淡	(12) 余地
(3) 募集	(13) 気圧
(4) 増殖	(14) 充実
(5) 情緒	(15) 徐行
(6) 焦燥	(16) へいがい
(7) 猛烈	(17) きょうせい
(8) 困窮	(18) かいこん
(9) 軽量	(19) かいめつ
(10) 騒音	(20) へんか

七 文章の中で考えよう

- (1) 端緒 本文中では「端緒」と表されている。
- (2) 潰滅
- (3) ウ 程度がわずかで大きな影響を及ぼさないこと。
- (4) イ 変化の速度と分岐点を確認、徐々に進んだ過程と急に見える結果を分けるため。
- (5) 解答例（50 字）

猛暑や収穫減、土壌を矯正する費用、制度の遅れなど、個人の性質以外にも生活を圧迫する要因があったため。

見る点：本文中の判断と、その理由を結びつけていること

- (6) 解答例（80 字）

年代ごとの水位・土壌・生物の記録を並べ、変化の速度と量、性質を分ける。小さな兆候から潰滅までの過程を追い、どの段階なら回復できたかも示して原因を一つに絞らない。

見る点：指定語を用いたこと／本文の具体と結論を結んだこと

第十回

社会の陰影と秩序

制度が支える人と取り残す人を、表向きの秩序と生活の実態から読む。

今日の中心漢字

井 福 座 系 与 扶 堪 遭

いっしょに覚える漢字

第	列	幼	俗	迭	圈
款	擁	蔑	騰	辣	闇

扶助・定款・擁護・蔑視などを確かめたあと、共同井戸をめぐる会議録から地域の秩序を考えます。

意味の芯 → 熟語 → 使い分け → 短文 → 文章

一 今日の中心漢字の芯

字	主な読み	意味の芯／熟語	字	主な読み	意味の芯／熟語
井 福 座 系	セイ・ショウ・い	水をくむ穴 井戸・油井・市井	与	ヨ・あたえる	相手へ渡す／関わる 付与・関与・授与
	フク	幸い／豊かさ 福祉・幸福・福利	扶	フ	助け支える 扶助・扶養・扶持
	ザ・すわる	座る場所／集まり 座次・座席・講座	堪	カン・たえる	苦しさに持ちこたえる 堪忍・忍耐・堪能
	ケイ	つながったまとまり 系譜・体系・母系	遭	ソウ・あう	思いがけず悪い出来事にあう 遭難・遭遇

二 いっしょに覚える漢字

字	主な読み	意味の方向／熟語	字	主な読み	意味の方向／熟語
第 列 幼 俗 迭 圏	ダイ	順序を示す 第一・次第・第三	款	カン	条項／まごころ／金額 定款・条款・借款
	レツ	一筋に並ぶ 列席・行列・序列	擁	ヨウ	抱く／かばい守る 擁護・抱擁・擁立
	ヨウ・おさない	年が若い 幼少・幼児・幼年	蔑	ベツ・さげすむ	価値が低いと見下す 蔑視・輕蔑・侮蔑
	ゾク	世間一般／洗練されない 俗習・風俗・世俗	騰	トウ	高く上がる 騰貴・高騰・沸騰
	テツ	代わる代わる 更迭・迭立・交迭	辣	ラツ	辛い／厳しい 辛辣・辣腕・酸辣
	ケン	囲まれた範囲 圏内・生活圈・圏外	闇	アン・やみ	光がない／隠された部分 暗闇・闇市・闇取引

三 漢字の働きを考えよう

次の問いに答えなさい。

(1) 「井戸」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 身分や役割に応じて定められた座席の順序。
- イ 地下水をくみ上げるため地面を深く掘った設備。
- ウ 権利や性質などを加えて与えること。
- エ 怒りや苦しさをこらえて相手を許すこと。

(2) 「福祉」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 人が安心して暮らせるよう生活を支える仕組み。
- イ 血筋・学問・技術などのつながりを順に示したもの。
- ウ 生活や活動が成り立つよう助け支えること。
- エ 旅や登山などで危険にあい動けなくなること。

(3) 「座次」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 権利や性質などを加えて与えること。
- イ 怒りや苦しさをこらえて相手を許すこと。
- ウ 地下水をくみ上げるため地面を深く掘った設備。
- エ 身分や役割に応じて定められた座席の順序。

(4) 「系譜」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 生活や活動が成り立つよう助け支えること。
- イ 旅や登山などで危険にあい動けなくなること。
- ウ 血筋・学問・技術などのつながりを順に示したもの。
- エ 人が安心して暮らせるよう生活を支える仕組み。

(5) 「付与」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 怒りや苦しさをこらえて相手を許すこと。
- イ 権利や性質などを加えて与えること。
- ウ 地下水をくみ上げるため地面を深く掘った設備。
- エ 身分や役割に応じて定められた座席の順序。

(6) 「扶助」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 生活や活動が成り立つよう助け支えること。
- イ 旅や登山などで危険にあい動けなくなること。
- ウ 人が安心して暮らせるよう生活を支える仕組み。
- エ 血筋・学問・技術などのつながりを順に示したもの。

四 熟語を広げよう

次の文に合う熟語を、語群から選んで書きなさい。

【語群】 井戸 扶助 幼少 福祉 堪忍 俗習 座次 遭難 更迭 系譜 第一 圏内 付与 列席

- | | |
|-------------------------------|-----------------------------|
| (1) 村の共同（ ）から毎朝水をくんだ。 | (8) 冬山で（ ）した登山者を救助した。 |
| (2) 子どもや高齢者の暮らしを（ ）の面から支える。 | (9) 速さより安全を（ ）に考える。 |
| (3) 式典では身分に応じて（ ）が定められた。 | (10) 記念式典には歴代の代表も（ ）した。 |
| (4) 古い家の（ ）をたどり、先祖の暮らしを調べた。 | (11) （ ）のころに暮らした町を久しぶりに訪ねた。 |
| (5) 参加者には受付で識別番号が（ ）された。 | (12) 根拠のない（ ）が差別を生むこともある。 |
| (6) 生活に困る家庭へ公的な（ ）が行われた。 | (13) 成績不振を理由に監督が（ ）された。 |
| (7) 何度も失敗した相手に「もう（ ）ならぬ」と伝えた。 | (14) 駅から徒歩 10 分の（ ）に病院がある。 |

五 似た語を使い分けよう

それぞれの語の違いとして、最も適切なものを選びなさい。

(1) 「扶助」と「扶養」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 扶助は生活や活動が成り立つよう助け支えること、扶養は家族などの生活を継続的に支えることを表す。
- イ 扶助は家族などの生活を継続的に支えること、扶養は生活や活動が成り立つよう助け支えることを表す。
- ウ どちらも生活を支えるため、制度的な援助か継続的な家族責任かは同じである。
- エ 扶助は金銭、扶養は食事だけを与えることを表す。

(2) 「擁護」と「称賛」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 擁護は行為や人物を優れているとほめること、称賛は立場や権利を支持して守ることを表す。
- イ どちらも味方になることなので、権利を守るか高く評価するかは区別しない。
- ウ 擁護は立場や権利を支持して守ること、称賛は行為や人物を優れているとほめることを表す。
- エ 擁護は正しい人、称賛は成功者にだけ向ける。

(3) 「座次」と「行列」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 座次は身分や役割に応じた座席の順序、行列は人や物が一筋に並んだ列を表す。
- イ 座次は人や物が一筋に並んだ列、行列は身分や役割に応じた座席の順序を表す。
- ウ どちらも人の並び方なので、地位の順か到着順かは同じである。
- エ 座次は室内、行列は屋外だけに用いる。

(4) 「騰貴」と「不足」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 騰貴は必要な量に達しないこと、不足は物価や価格が大きく上がることを表す。
- イ 価格が上がると必ず物がなくなるため、値段と量を分ける必要はない。
- ウ 騰貴は物価や価格が大きく上がること、不足は必要な量に達しないことを表す。
- エ 騰貴はぜいたく品、不足は生活必需品だけに用いる。

(5) A・Bに入る語の組合せとして、最も適切なものを選びなさい。A「少数者の権利を（A）する」 B「献身的な働きを（B）する」

- ア A＝称賛／B＝擁護 イ A＝擁護／B＝擁護
- ウ A＝擁護／B＝称賛 エ A＝称賛／B＝称賛

(6) A・Bに入る語の組合せとして、最も適切なものを選びなさい。A「穀物価格が（A）する」 B「飲み水が（B）する」

- ア A＝不足／B＝騰貴 イ A＝騰貴／B＝騰貴
- ウ A＝不足／B＝不足 エ A＝騰貴／B＝不足

六 短文で使ってみよう

A カタカナを漢字に直しなさい。

- | | |
|-----------------------------|-----------------------------|
| (1) 海上のユセイから原油を採り出す。 | (9) 二国間の資金援助をシャッカンとして取り決めた。 |
| (2) 計画の決定に誰がカンヨしたかを調べた。 | (10) 人気店の前に長いギョウレツができた。 |
| (3) 物の多さだけがコウフクを決めるわけではない。 | (11) 幼いころを指すヨウネン期の記憶を語った。 |
| (4) 収入のある家族には、子をフヨウする義務がある。 | (12) 地域のフウゾクを、祭りと衣服から調べた。 |
| (5) 予約したザセキの番号を確かめた。 | (13) 山間では携帯電話がケンガイになる。 |
| (6) 旅先で郷土料理を心ゆくまでタンノウした。 | (14) 弱い立場の人を守るヨウゴ活動が続けた。 |
| (7) 学んだ概念を一つのタイケイへ整理した。 | (15) 他の文化をベッシする考えを改めたい。 |
| (8) 森で野生の熊にソウグウした。 | |

B 次の熟語の読みを書きなさい。

- | | | | | |
|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| (16) 擁護 () | (17) 蔑視 () | (18) 騰貴 () | (19) 辛辣 () | (20) 暗闇 () |
|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|

七 文章の中で考えよう

次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

共同井戸の会議録に残らない声

旧市街の共同井戸をめぐる会議録には、福祉組合の定款、利用者の座次、第一列の署名が残る。水を付与する順は整然として見えるが、誰が列へ入れたかは書かれていない。

【制度の陰影を見る欄】 資格／支援／負担／除外／異議申立て

幼少の子を抱えた世帯や遭難者の家族には扶助があった一方、生活圏の外から来た人は俗習を知らないと蔑視された。表向きの秩序が、すべての人を同じように支えたわけではない。

会議録には発言者の名があっても、水くみを担った人の声は少なかった。記録されない働きを、当番表と道具の減り方から探った。井戸の管理者は更迭され、後任は少数者の権利を擁護した。辛辣な批評へ堪忍を求める声もあったが、批判を我慢させることと、議論の安全を守ることは別である。

水桶の価格が騰貴し、暗闇で闇取引も生じた。物が不足したのか、流通が偏ったのか、価格だけでは分からない。家系や縁故による優先も系譜図から確かめた。会議の条款には扶養家族への配慮があるが、扶助を受ける条件は狭い。与える側の善意だけを強調すると、申請できなかった人や制度から外れた人の経験が消える。

真央は列席者の発言と欠席者の手紙を並べた。悠人は定款の目的、実際の運用、異議への応答を三段に分け、制度の表と裏を「善」と「悪」の二色だけで塗らなかつた。真央は推定した内容へ点線を使った。声を補おうとするほど、事実と想像の境を明らかにする必要がある。

社会の秩序を読むとは、規則の整い方だけを見ることではない。誰に資格が与えられ、誰が負担し、誰の声が記録から抜けたかを確かめると、支えと排除の両方が見えてくる。

七 文章の中で考えよう（問い）

本文を根拠にして答えなさい。

(1) 本文中から、「立場や権利を支持して守ること」という意味で使われている熟語を抜き出しなさい。

(2) 「コウテツ」を漢字 2 字で書きなさい。

(3) 本文中の「定款」の意味として最も近いものを選びなさい。

- ア 身分や役割に応じて定められた座席の順序。
- イ 人が安心して暮らせるよう生活を支える仕組み。
- ウ 物価や価格が大きく上がること。
- エ 法人の目的や組織など基本規則を定めた文書。

(4) 価格の騰貴だけで水不足と決めなかった理由として最も適切なものを選びなさい。

- ア 価格上昇は物の量だけでなく流通の偏りや闇取引でも起こり得るから。
- イ 水桶には価格を付けられないから。
- ウ 不足すると価格は必ず下がるから。
- エ 会議録には数字を記してはならないから。

(5) 欠席者の手紙を会議録と並べたのはなぜか。45～55 字で説明しなさい。

(6) 「資格」「負担」の二語を用い、共同井戸の制度を検討する方法を 70～90 字でまとめなさい。

三 漢字の働きを考えよう

- | | |
|------------------------------|--------------------------------|
| (1) イ 地下水をくみ上げるため地面を深く掘った設備。 | (4) ウ 血筋・学問・技術などのつながりを順に示したもの。 |
| (2) ア 人が安心して暮らせるよう生活を支える仕組み。 | (5) イ 権利や性質などを加えて与えること。 |
| (3) エ 身分や役割に応じて定められた座席の順序。 | (6) ア 生活や活動が成り立つよう助け支えること。 |

四 熟語を広げよう

- | | |
|--------|---------|
| (1) 井戸 | (8) 遭難 |
| (2) 福祉 | (9) 第一 |
| (3) 座次 | (10) 列席 |
| (4) 系譜 | (11) 幼少 |
| (5) 付与 | (12) 俗習 |
| (6) 扶助 | (13) 更迭 |
| (7) 堪忍 | (14) 圈内 |

使い分けを確かめよう：扶助は生活や活動が成り立つよう助け支えること、扶養は家族などの生活を継続的に支えることを表す。

五 似た語を使い分けよう

(1) ア 扶助は生活や活動が成り立つよう助け支えること、扶養は家族などの生活を継続的に支えることを表す。

用例：被災世帯を扶助する／親族を扶養する

(2) ウ 擁護は立場や権利を支持して守ること、称賛は行為や人物を優れているとほめることを表す。

用例：少数者の権利を擁護する／献身的な働きを称賛する

(3) ア 座次は身分や役割に応じた座席の順序、行列は人や物が一筋に並んだ列を表す。

用例：会議の座次を記す／井戸の前に行列ができる

(4) ウ 騰貴は物価や価格が大きく上がること、不足は必要な量に達しないことを表す。

用例：穀物価格が騰貴する／飲み水が不足する

(5) ウ A＝擁護、B＝称賛。(2)の使い分けを参照。

(6) エ A＝騰貴、B＝不足。(4)の使い分けを参照。

六 短文で使ってみよう

(1) 油井	(11) 幼年
(2) 関与	(12) 風俗
(3) 幸福	(13) 圏外
(4) 扶養	(14) 擁護
(5) 座席	(15) 蔑視
(6) 堪能	(16) ようご
(7) 体系	(17) ベッシ
(8) 遭遇	(18) とうき
(9) 借款	(19) しんらつ
(10) 行列	(20) くらやみ

七 文章の中で考えよう

- (1) 擁護 本文中では「擁護」と表されている。
- (2) 更迭
- (3) エ 法人の目的や組織など基本規則を定めた文書。
- (4) ア 価格上昇は物の量だけでなく流通の偏りや闇取引でも起こり得るから。
- (5) 解答例（48字）

列席できた人の発言だけでは、資格や俗習によって制度から外れた人の経験と異議が記録に現れないため。

見る点：本文中の判断と、その理由を結びつけていること

- (6) 解答例（73字）

定款と実際の運用を比べ、利用の資格、受けた支援、担った負担を人ごとに確かめる。会議へ出られなかった人の手紙も加え、秩序が生む扶助と排除を両方示す。

見る点：指定語を用いたこと／本文の具体と結論を結んだこと

第十一回

刑・権威・統制

権威のしるしと実際の強制力を分け、制度を時代ごとの語で読む。

今日の中心漢字

皇 閤 儀 宰 尉 爵 戴 璽

いっしょに覚える漢字

欧	違	妨	拘	掘	弾
盾	虐	偵	赦	拉	錮

戴冠・玉璽・拘束・恩赦などを確かめたあと、統治の展示で権威と暴力を同じものにしない読み方を考えます。

意味の芯 → 熟語 → 使い分け → 短文 → 文章

一

今日の中心漢字の芯

字	主な読み	意味の芯／熟語	字	主な読み	意味の芯／熟語
皇	コウ・オウ	天皇・皇帝に関わる 皇帝・皇室・皇后	尉	イ	軍や官の階級／火をのす 尉官・少尉・中尉
閣	カク	高い建物／政府の組織 内閣・楼閣・閣議	爵	シャク	身分の等級／酒器 爵位・侯爵・爵禄
儀	ギ	決められた作法／手本 儀礼・礼儀・威儀	戴	タイ・いただく	頭上にのせる／敬って受ける 戴冠・奉戴・頂戴
宰	サイ	取り仕切る／長官 宰相・主宰・宰領	璽	ジ	天子の印 玉璽・御璽・国璽

二

いっしょに覚える漢字

字	主な読み	意味の方向／熟語	字	主な読み	意味の方向／熟語
欧	オウ	ヨーロッパ 欧州・西欧・欧米	盾	ジュン・たて	攻撃を防ぐ道具 盾・矛盾・後ろ盾
違	イ・ちがう・ちがえる	一致しない／背く 違反・相違・違法	虐	ギャク・しいたげる	むごく扱う 虐待・残虐・虐政
妨	ボウ・さまたげる	進行を邪魔する 妨害・妨げ・公務執行妨害	偵	テイ	ひそかに様子を探る 偵察・探偵・内偵
拘	コウ	自由を制限する／こだわる 拘束・拘留・拘泥	赦	シャ	罪や過ちを許す 恩赦・赦免・容赦
掘	クツ・ほる	土を取り除いて穴を作る 発掘・掘削・採掘	拉	ラ	力ずくで連れていく 拉致・拉する
弾	ダン・ひく・はずむ・たま	はじく／武器のたま 弾圧・銃弾・弾力	錮	コ	閉じ込める／固くする 禁錮・党錮・錮疾

三 漢字の働きを考えよう

次の問いに答えなさい。

(1) 「皇帝」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 社会や宗教で一定の形に従って行う作法や行為。
- イ 軍隊で少尉・中尉・大尉に当たる階級。
- ウ 帝国を統治する君主。
- エ 王などが冠を受け正式に位へ就くこと。

(2) 「内閣」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 君主を補佐して政治を取り仕切る最高位の官。
- イ 行政権を担う首相と国務大臣からなる組織。
- ウ 君主から授けられる貴族の身分や等級。
- エ 皇帝や天皇が用いる公的な印。

(3) 「儀礼」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 社会や宗教で一定の形に従って行う作法や行為。
- イ 軍隊で少尉・中尉・大尉に当たる階級。
- ウ 王などが冠を受け正式に位へ就くこと。
- エ 帝国を統治する君主。

(4) 「宰相」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 君主から授けられる貴族の身分や等級。
- イ 皇帝や天皇が用いる公的な印。
- ウ 行政権を担う首相と国務大臣からなる組織。
- エ 君主を補佐して政治を取り仕切る最高位の官。

(5) 「尉官」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 王などが冠を受け正式に位へ就くこと。
- イ 帝国を統治する君主。
- ウ 軍隊で少尉・中尉・大尉に当たる階級。
- エ 社会や宗教で一定の形に従って行う作法や行為。

(6) 「爵位」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 皇帝や天皇が用いる公的な印。
- イ 君主から授けられる貴族の身分や等級。
- ウ 行政権を担う首相と国務大臣からなる組織。
- エ 君主を補佐して政治を取り仕切る最高位の官。

四 熟語を広げよう

次の文に合う熟語を、語群から選んで書きなさい。

【語群】 皇帝 爵位 妨害 内閣 戴冠 拘束 儀礼 玉璽 発掘 宰相 欧州 弾圧 尉官 違反

- | | |
|-----------------------------|---------------------------|
| (1) 広大な帝国を（ ）が統治した。 | (8) 重要な文書には皇帝の（ ）が押された。 |
| (2) 選挙の後、新しい（ ）が発足した。 | (9) 産業革命は（ ）各国へ広がった。 |
| (3) 使節を迎える（ ）が細かく定められていた。 | (10) 規則への（ ）が確認され、処分を受けた。 |
| (4) 王を補佐する（ ）が国政を担った。 | (11) 工事車両が通行を（ ）している。 |
| (5) 軍では（ ）が下士官と上級将校の間に位置する。 | (12) 縄で体を（ ）され、動けなくなった。 |
| (6) 功績を認められ、国王から（ ）を授けられた。 | (13) 遺跡を（ ）し、建物の跡を記録した。 |
| (7) 王子は大聖堂で（ ）式を行った。 | (14) 政府は反対運動を厳しく（ ）した。 |

五 似た語を使い分けよう

それぞれの語の違いとして、最も適切なものを選びなさい。

(1) 「権威」と「権力」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 権威は人や制度を実際に動かし従わせる力、権力は人々が正当・優越と認め従う働きを表す。
- イ どちらも人を従わせるため、承認による影響が強制できる力かは同じである。
- ウ 権威は昔、権力は現代にだけ存在する。
- エ 権威は人々が正当・優越と認め従う働き、権力は人や制度を実際に動かし従わせる力を表す。

(2) 「拘束」と「拉致」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 拘束は本人の意思に反して無理に連れ去ること、拉致は身体や行動の自由を制限することを表す。
- イ 拘束は身体や行動の自由を制限すること、拉致は本人の意思に反して無理に連れ去ることを表す。
- ウ どちらも自由を奪うため、その場に留めるか連れ去るかは区別しない。
- エ 拘束は合法、拉致は違法と語だけで必ず決まる。

(3) 「弾圧」と「妨害」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 弾圧は他者の行動や進行を邪魔すること、妨害は権力が言論や運動を強い力で押さえることを表す。
- イ どちらも進行を止めるため、公的権力の強制が個別の邪魔かは同じである。
- ウ 弾圧は武器、妨害は言葉を使う場合だけを表す。
- エ 弾圧は権力が言論や運動を強い力で押さえること、妨害は他者の行動や進行を邪魔することを表す。

(4) 「恩赦」と「赦免」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 恩赦は罪や義務を許し免じることの一般的な表現、赦免は国家が刑罰や裁判の効力などを変更する制度を表す。
- イ 恩赦は国家が刑罰や裁判の効力などを変更する制度、赦免は罪や義務を許し免じることの一般的な表現を表す。
- ウ どちらも許す意味なので、国家制度か一般的な免除かを確かめる必要はない。
- エ 恩赦は集団、赦免は一人だけを対象とする。

(5) A・Bに入る語の組合せとして、最も適切なものを選びなさい。A「反対運動を（A）する」 B「発掘作業を（B）する」

- ア A=弾圧／B=妨害 イ A=妨害／B=弾圧
- ウ A=弾圧／B=弾圧 エ A=妨害／B=妨害

(6) A・Bに入る語の組合せとして、最も適切なものを選びなさい。A「学識が（A）をもつ」 B「国家が（B）を行使する」

- ア A=権力／B=権威 イ A=権威／B=権力
- ウ A=権威／B=権威 エ A=権力／B=権力

六 短文で使ってみよう

A カタカナを漢字に直しなさい。

- | | |
|-----------------------------|-------------------------------|
| (1) コウシツに伝わる儀式の記録を読んだ。 | (9) 説明と実際の行動にムジュンがある。 |
| (2) 若いショウイが、小隊の指揮を任された。 | (10) 二つの調査結果には、大きなソウイが見られない。 |
| (3) 庭園の奥に、二層のロウカクが立っている。 | (11) 裁判までの間、容疑者がコウリュウされた。 |
| (4) 中世のコウシャクが王の側近を務めた。 | (12) 地下鉄工事で、深いトンネルをクッサクした。 |
| (5) 正装してイギを整え、式典へ臨んだ。 | (13) 壁からジュウダンが見つかり、戦闘の跡と分かった。 |
| (6) 国民が新しい君主をハウタイする儀礼が行われた。 | (14) 子どもへのギャクタイを防ぐ相談窓口がある。 |
| (7) 研究会をシュサイする教授が挨拶した。 | (15) 部隊は夜明け前に周囲をテイサツした。 |
| (8) 文書へ押されたコクジが、国家の意思を示す。 | |

B 次の熟語の読みを書きなさい。

- | | | | | |
|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| (16) 虐待 () | (17) 偵察 () | (18) 恩赦 () | (19) 拉致 () | (20) 禁錮 () |
|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|

七 文章の中で考えよう

次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

冠と印はどのように力をもったか

統治の展示には、皇帝の戴冠を描く儀礼図、宰相の命令書、爵位を示す証書、玉璽の複製が並ぶ。冠や印は権威のしるしだが、それ自体が人を拘束したわけではない。

欧州の宮廷記録では尉官が偵察を命じ、盾と弾薬を配った。別の内閣文書では反対派への弾圧と集会妨害が記される。権威の象徴と強制力の働きを分けて読む必要がある。

冠、印、命令書を別々に飾るだけでは、力が働く仕組みは見えない。誰が認め、誰が従ったかを矢印で結んだ。

発掘資料には違反者の拘束、虐待、拉致に近い移送もある。公文書が「保護」と称していても、本人の意思、移動先、法的根拠を確かめなければ実態は分からない。

【統制を読む欄】 命令した主体／根拠／手段／対象／異議／救済

恩赦の布告も、君主の慈悲だけで説明しなかった。

誰の刑や資格にどの効力が及んだかを示す。許す姿を強調すると、先に科された刑罰や統制の仕組みが見えにくくなる。

禁錮は日本でかつて用いられた刑名で、2025年6月に懲役とともに廃止され拘禁刑へ統合された。古い資料の語を残しつつ、現在の制度と同じ語のように扱わない。

真央は玉璽の美しさを大きく見せる一方、命令が誰へ何をしたかを同じ面積で示した。悠人は権威をすべて虐政とせず、承認・制度・強制の三層に分けた。

印そのものに力が宿るのではなく、それを本物と受け入れる儀礼と制度が力を支えていた。

刑と権威を精密に読むには、しるしの荘厳さにも公文書の名称にも流されないことが大切だ。命令の根拠、用いた手段、受けた人の異議と救済までたどる必要がある。

七 文章の中で考えよう（問い）

本文を根拠にして答えなさい。

(1) 本文中から、「皇帝や天皇が用いる公的な印」という意味で使われている熟語を抜き出ささい。

(2) 「ダイカン」を漢字 2 字で書きなさい。

(3) 本文中の「弾圧」の意味として最も近いものを選びなさい。

ア 権力が強い力で言論や運動を押さえつけること。

イ 他者の作業や進行を邪魔すること。

ウ 相手の様子をひそかに調べること。

エ 罪や刑を許し免じること。

(4) 公文書の「保護」という名称だけで移送を正当としなかった理由を選びなさい。

ア 公文書はすべて内容が偽りだから。

イ 保護には人を移動させる意味が全くないから。

ウ 玉璽のない文書は一切効力をもたないから。

エ 名称ではなく本人の意思、移送先、法的根拠を確かめなければ強制の実態は分からないから。

(5) 恩赦を君主の慈悲だけで説明しなかったのはなぜか。45～55 字で説明しなさい。

(6) 「主体」「手段」の二語を用い、統制の資料を読む方法を 70～90 字でまとめなさい。

三 漢字の働きを考えよう

- | | |
|------------------------------|-----------------------------|
| (1) ウ 帝国を統治する君主。 | (4) エ 君主を補佐して政治を取り仕切る最高位の官。 |
| (2) イ 行政権を担う首相と国務大臣からなる組織。 | (5) ウ 軍隊で少尉・中尉・大尉に当たる階級。 |
| (3) ア 社会や宗教で一定の形に従って行う作法や行為。 | (6) イ 君主から授けられる貴族の身分や等級。 |

四 熟語を広げよう

- | | |
|--------|---------|
| (1) 皇帝 | (8) 玉璽 |
| (2) 内閣 | (9) 欧州 |
| (3) 儀礼 | (10) 違反 |
| (4) 宰相 | (11) 妨害 |
| (5) 尉官 | (12) 拘束 |
| (6) 爵位 | (13) 発掘 |
| (7) 戴冠 | (14) 弾圧 |

使い分けを確かめよう：権威は人々が正当・優越と認め従う働き、権力は人や制度を実際に動かし従わせる力を表す。

五 似た語を使い分けよう

(1) エ 権威は人々が正当・優越と認め従う働き、権力は人や制度を実際に動かし従わせる力を表す。

用例：学識が権威をもつ／国家が権力を行使する

(2) イ 拘束は身体や行動の自由を制限すること、拉致は本人の意思に反して無理に連れ去ることを表す。

用例：命令により拘束する／人を国外へ拉致する

(3) エ 弾圧は権力が言論や運動を強い力で押さえること、妨害は他者の行動や進行を邪魔することを表す。

用例：反対運動を弾圧する／発掘作業を妨害する

(4) イ 恩赦は国家が刑罰や裁判の効力などを変更する制度、赦免は罪や義務を許し免じることの一般的な表現を表す。

用例：制度に基づき恩赦を行う／責任を赦免する

(5) ア A＝弾圧、B＝妨害。(3)の使い分けを参照。

(6) イ A＝権威、B＝権力。(1)の使い分けを参照。

六 短文で使ってみよう

(1) 皇室

(11) 拘留

(2) 少尉

(12) 掘削

(3) 楼閣

(13) 銃弾

(4) 侯爵

(14) 虐待

(5) 威儀

(15) 偵察

(6) 奉戴

(16) ぎゃくたい

(7) 主宰

(17) ていさつ

(8) 国璽

(18) おんしゃ

(9) 矛盾

(19) らち

(10) 相違

(20) きんこ

七 文章の中で考えよう

- (1) 玉璽 本文中では「玉璽」と表されている。
- (2) 戴冠
- (3) ア 権力が強い力で言論や運動を押さえつけること。
- (4) エ 名称ではなく本人の意思、移送先、法的根拠を確かめなければ強制の実態は分からないから。
- (5) 解答例（49 字）

恩赦は刑や裁判の効力を変える制度であり、対象と効果、先に働いた刑罰の仕組みまで示す必要があるため。

見る点：本文中の判断と、その理由を結びつけていること

- (6) 解答例（77 字）

命令した主体と法的根拠を確かめ、拘束・弾圧・拉致など用いられた手段と対象を分ける。冠や印の権威、公文書の名称だけで正当化せず、異議と救済の有無までたどる。

見る点：指定語を用いたこと／本文の具体と結論を結んだこと

第十二回

財・利害・分配

金額の合計だけでなく、誰が生み、負担し、受け取ったかを追う。

今日の中心漢字

農 資 働 貯 購 稼 賭 賦

いっしょに覚える漢字

庫	庁	賛	耕	紹	紛
兼	秩	曹	俟	緻	財※

資本・貯蓄・賦課・兼業などを確かめたあと、共同倉庫の収支簿から財と利害の分配を考える文章を読みます。 ※再会漢字：財（第二冊第十六回）

意味の芯 → 熟語 → 使い分け → 短文 → 文章

一 今日の中心漢字の芯

字	主な読み	意味の芯／熟語	字	主な読み	意味の芯／熟語
農 資 働 貯	ノウ	田畑を耕し作物を作る 農業・農家・農地	購	コウ	代金を払って買う 購買・購入・購読
	シ	もとで／役立つ材料 資本・資源・資料	稼	カ・かせぐ	働いて収入を得る／動かす 稼働・稼ぐ・共稼ぎ
	ドウ・はたらく	仕事をする／作用する 労働・稼働・働き	賭	ト・かける	結果に金品などをかける 賭博・賭け・賭場
	チョ	ためておく 貯蓄・貯金・貯蔵	賦	フ	割り当てる／詩文 賦課・月賦・賦役

二 いっしょに覚える漢字

字	主な読み	意味の方向／熟語	字	主な読み	意味の方向／熟語
庫 庁 賛 耕 紹 紛	コ・ク	物を収める建物 倉庫・車庫・金庫	兼	ケン・かねる	二つ以上を合わせ持つ 兼業・兼任・兼用
	チョウ	行政機関／役所 官庁・県庁・庁舎	秩	チツ	物事の順序 秩序・秩序立つ
	サン	同意する／ほめる 賛同・賛成・称賛	曹	ソウ	仲間／役人の組織 法曹・軍曹・曹長
	コウ・たがやす	田畑の土を起こす 耕作・農耕・耕地	儉	ケン	むだを省く 儉約・勤儉・儉素
	ショウ	間をつないで知らせる 紹介・紹介状・自己紹介	緻	チ	きめが細かい 緻密・精緻・細緻
	フン・まぎれる・まぎらす・まぎらわしい	入り乱れる／区別しにくい 紛争・紛失・紛糾	財※	ザイ・サイ	再会：価値のある物や資産 財産・財源・文化財

三 漢字の働きを考えよう

次の問いに答えなさい。

(1) 「農業」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 生活や生産のため体や知恵を使って働くこと。
- イ 商品やサービスを代金と引き換えに買うこと。
- ウ 偶然の勝敗などに金品をかける行為。
- エ 土地を耕して作物を育てる産業。

(2) 「資本」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 収入の一部などを将来のためにためておくこと。
- イ 機械や設備を動かして働かせること。
- ウ 生産や事業のために用いる資金や設備。
- エ 税や負担などを割り当てて課すること。

(3) 「労働」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 商品やサービスを代金と引き換えに買うこと。
- イ 生活や生産のため体や知恵を使って働くこと。
- ウ 偶然の勝敗などに金品をかける行為。
- エ 土地を耕して作物を育てる産業。

(4) 「貯蓄」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 収入の一部などを将来のためにためておくこと。
- イ 機械や設備を動かして働かせること。
- ウ 税や負担などを割り当てて課すること。
- エ 生産や事業のために用いる資金や設備。

(5) 「購買」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 偶然の勝敗などに金品をかける行為。
- イ 土地を耕して作物を育てる産業。
- ウ 生活や生産のため体や知恵を使って働くこと。
- エ 商品やサービスを代金と引き換えに買うこと。

(6) 「稼働」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 税や負担などを割り当てて課すること。
- イ 生産や事業のために用いる資金や設備。
- ウ 機械や設備を動かして働かせること。
- エ 収入の一部などを将来のためにためておくこと。

四 熟語を広げよう

次の文に合う熟語を、語群から選んで書きなさい。

【語群】 農業 稼働 賛同 資本 賭博 耕作 労働 賦課 紹介 貯蓄 倉庫 紛争 購買 官庁

(1) 気候に合った作物を育てる（ ）が地域を支える。

(8) 自治体は条例に基づいて使用料を（ ）する。

(2) 工場を建てるための（ ）を集めた。

(9) 港の（ ）に救援物資を保管した。

(3) 安全な環境で（ ）できる権利を守る。

(10) 申請書を担当の（ ）へ提出した。

(4) 毎月少しずつ（ ）し、急な出費に備える。

(11) 多くの住民が公園の保存に（ ）した。

(5) 家計調査から消費者の（ ）傾向を読む。

(12) 休ませた畑を再び（ ）する。

(6) 新しい生産設備が来月から（ ）する。

(13) 友人を通じて信頼できる職人を（ ）してもらった。

(7) 生活費を（ ）で得ようとしてはいけない。

(14) 水源をめぐる地域間の（ ）が続いている。

五 似た語を使い分けよう

それぞれの語の違いとして、最も適切なものを選びなさい。

(1) 「資本」と「財産」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 資本は個人や組織が所有する金銭・土地・物など、財産は生産や事業へ用いる資金・設備を表す。
- イ どちらも価値のある所有物なので、生産へ使う働きか所有全体かは同じである。
- ウ 資本は生産や事業へ用いる資金・設備、財産は個人や組織が所有する金銭・土地・物などを表す。
- エ 資本は現金、財産は土地だけを表す。

(2) 「貯蓄」と「倹約」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 貯蓄は収入の一部などを将来のためためること、倹約は支出や資源のむだを省くことを表す。
- イ 貯蓄は支出や資源のむだを省くこと、倹約は収入の一部などを将来のためためることを表す。
- ウ どちらもお金を使わないことなので、ためる結果か支出を抑える行為かは区別しない。
- エ 貯蓄は富裕層、倹約は困窮者だけが行う。

(3) 「賦課」と「分配」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 賦課は物や利益を複数へ分けて配ること、分配は税や負担を割り当てて課すことを表す。
- イ どちらも割り当てるため、負担を負わせるか利益を配るかは同じである。
- ウ 賦課は税や負担を割り当てて課すこと、分配は物や利益を複数へ分けて配ることを表す。
- エ 賦課は均等、分配は不均等な場合だけを表す。

(4) 「稼働」と「労働」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 稼働は機械や設備を動かして働かせること、労働は人が体や知恵を使って働くことを表す。
- イ 稼働は人が体や知恵を使って働くこと、労働は機械や設備を動かして働かせることを表す。
- ウ どちらも働くことなので、機械の運転か人の仕事を分ける必要はない。
- エ 稼働は昼、労働は夜の仕事を表す。

(5) A・Bに入る語の組合せとして、最も適切なものを選びなさい。A「製粉機を（A）させる」 B「倉庫で（B）する」

- ア A＝労働／B＝稼働 イ A＝稼働／B＝稼働
- ウ A＝稼働／B＝労働 エ A＝労働／B＝労働

(6) A・Bに入る語の組合せとして、最も適切なものを選びなさい。A「収入から（A）する」 B「燃料を（B）する」

- ア A＝倹約／B＝貯蓄 イ A＝貯蓄／B＝貯蓄
- ウ A＝倹約／B＝倹約 エ A＝貯蓄／B＝倹約

六 短文で使ってみよう

A カタカナを漢字に直しなさい。

- | | |
|--------------------------|-----------------------------|
| (1) 代々続くノウカが、米と野菜を育てている。 | (9) 書類を提出するため、ケンチョウを訪れた。 |
| (2) 必要な備品をまとめてコウニュウした。 | (10) 提案にサンセイする理由を述べた。 |
| (3) 水や森林を大切なシゲンとして守る。 | (11) 定住とノウコウの始まりが社会を変えた。 |
| (4) 江戸のトバでは、賭け事が取り締まられた。 | (12) 大切な鍵をフンシツし、管理室へ届けた。 |
| (5) 少額でも毎月チョキンを続けている。 | (13) 交通のチツジョを守り、事故を防いだ。 |
| (6) 家具を十二回のゲップで購入した。 | (14) 裁判官・検察官・弁護士をホウソウ三者という。 |
| (7) 雨の日は車をシャコへ入れる。 | (15) 電気をこまめに消し、生活費をケンヤクした。 |
| (8) 教員が図書館長をケンニンしている。 | |

B 次の熟語の読みを書きなさい。

- | | | | | |
|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| (16) 秩序 () | (17) 法曹 () | (18) 儉約 () | (19) 緻密 () | (20) 財産 () |
|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|

七 文章の中で考えよう

次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

共同倉庫の利益は誰のものか

農業組合の共同倉庫には、耕作面積、労働日数、購買額、貯蓄高を記した緻密な帳簿が残る。合計は合っているが、利益と負担が誰へ分配されたかは一つの欄では分らない。

組合は製粉機を資本として導入し、農家が働いて稼働させた。資本の所有者、実際に労働した人、収穫物を運んだ兼業者では、事業への関わり方が異なる。

【収支を追う欄】 出資／労働／賦課／購買／利益／損失

利益の数字は一つでも、資材を出した人、運んだ人、保管した人の取り分は同じでなかった。規約の条文を作業記録と照らした。

官庁は倉庫料を世帯へ賦課し、賛同した人を名簿で紹介した。しかし反対者との紛争や、負担できず脱退した世帯は別紙にある。賛同者の数だけで公平とは決められない。

一部の役員は賭博で組合財産を失い、儉約を全員へ求めた。個人の浪費と、設備投資に必要な支出を同じ「無駄」でまとめると、誰の判断が損失を生んだかが隠れる。

法曹と農家が定款を読み直し、出資額だけでなく労働時間も利益配分へ反映させた。秩序を保つには一律に分けることなく、何を基準にしたかを公開する必要がある。

悠人は財産、資本、収入、貯蓄を別の色で示した。真央は購入した機械が何日稼働し、どの耕地の収穫へ役立ったかを線で結び、金額を具体的な働きへ戻した。二人は余剰が生まれた時点と、分配が決まった時点に分けた。所有と労働を同じ欄へ入れないためである。

財と利害を精密に読むには、収支の合計だけで終わらないことが重要だ。誰が価値を生み、どの負担を引き受け、誰が利益を受けたかを追えば、分配の基準を検討できる。

七 文章の中で考えよう（問い）

本文を根拠にして答えなさい。

（1）本文中から、「細かな部分まで注意が行き届き正確であること」という意味で使われている熟語を抜き出さない。

（2）「フカ」を漢字 2 字で書きなさい。

（3）本文中の「兼業」の意味として最も近いものを選びなさい。

- ア 機械や設備を動かして働かせること。
- イ 本業のほかに別の仕事も行うこと。
- ウ 収入の一部を将来のためためること。
- エ 土地を耕して作物を育てること。

（4）賛同者の数だけで倉庫料を公平と決めなかった理由として最も適切なものを選びなさい。

- ア 帳簿の合計が計算違いだったから。
- イ 賛同には一切の価値がないから。
- ウ 反対者や負担できず脱退した世帯の事情が、賛同者名簿には現れないから。
- エ 農業組合は定款を作れないから。

（5）出資額だけでなく労働時間も分配へ反映したのはなぜか。45～55 字で説明しなさい。

（6）「負担」「利益」の二語を用い、共同倉庫の分配を検討する方法を 70～90 字でまとめなさい。

三 漢字の働きを考えよう

- | | |
|-----------------------------|------------------------------|
| (1) エ 土地を耕して作物を育てる産業。 | (4) ア 収入の一部などを将来のためにためておくこと。 |
| (2) ウ 生産や事業のために用いる資金や設備。 | (5) エ 商品やサービスを代金と引き換えに買うこと。 |
| (3) イ 生活や生産のため体や知恵を使って働くこと。 | (6) ウ 機械や設備を動かして働かせること。 |

四 熟語を広げよう

- | | |
|--------|---------|
| (1) 農業 | (8) 賦課 |
| (2) 資本 | (9) 倉庫 |
| (3) 労働 | (10) 官庁 |
| (4) 貯蓄 | (11) 賛同 |
| (5) 購買 | (12) 耕作 |
| (6) 稼働 | (13) 紹介 |
| (7) 賭博 | (14) 紛争 |

使い分けを確かめよう：資本は生産や事業へ用いる資金・設備、財産は個人や組織が所有する金銭・土地・物などを表す。

五 似た語を使い分けよう

(1) ウ 資本は生産や事業へ用いる資金・設備、財産は個人や組織が所有する金銭・土地・物などを表す。

用例：機械を資本として投入する／土地を財産として相続する

(2) ア 貯蓄は収入の一部などを将来のためためること、儉約は支出や資源のむだを省くことを表す。

用例：収入から貯蓄する／燃料を儉約する

(3) ウ 賦課は税や負担を割り当てて課すること、分配は物や利益を複数へ分けて配ることを表す。

用例：世帯へ負担金を賦課する／利益を組合員へ分配する

(4) ア 稼働は機械や設備を動かして働かせること、労働は人が体や知恵を使って働くことを表す。

用例：製粉機を稼働させる／倉庫で労働する

(5) ウ A＝稼働、B＝労働。(4)の使い分けを参照。

(6) エ A＝貯蓄、B＝儉約。(2)の使い分けを参照。

六 短文で使ってみよう

(1) 農家	(11) 農耕
(2) 購入	(12) 紛失
(3) 資源	(13) 秩序
(4) 賭場	(14) 法曹
(5) 貯金	(15) 儉約
(6) 月賦	(16) ちつじょ
(7) 車庫	(17) ほうそう
(8) 兼任	(18) けんやく
(9) 県庁	(19) ちみつ
(10) 賛成	(20) ざいさん

七 文章の中で考えよう

- (1) 緻密 本文中では「緻密」と表されている。
- (2) 賦課
- (3) イ 本業のほかに別の仕事も行うこと。
- (4) ウ 反対者や負担できず脱退した世帯の事情が、賛同者名簿には現れないから。
- (5) 解答例 (45 字)

資本を出した人だけでなく、実際に機械を動かし収穫を支えた人も価値の形成へ関わっていたため。

見る点：本文中の判断と、その理由を結びつけていること

- (6) 解答例 (77 字)

出資、労働、購買を人ごとに確かめ、誰にどの負担が賦課され、損失と利益がどう配られたかを追う。
賛同者だけでなく脱退者の事情も加え、分配基準を公開して比べる。

見る点：指定語を用いたこと／本文の具体と結論を結んだこと

第十三回

複雑な自然現象

一つの災害を水・地質・気象・人の営みが重なる現象として読む。

今日の中心漢字

雨 岩 星 雪 燃 揺 礁 霜

いっしょに覚える漢字

漁	暴	潟	烈	洞	泡
輝	噴	漠	溝	薪	濫

岩盤・岩礁・雨量・氾濫などを確かめたあと、海辺の災害記録を複数の時間尺度で分析する文章を読みます。

[意味の芯](#) → [熟語](#) → [使い分け](#) → [短文](#) → [文章](#)

一 今日の中心漢字の芯

字	主な読み	意味の芯／熟語	字	主な読み	意味の芯／熟語
雨	ウ・あめ・あま	空から降る水滴 雨量・豪雨・降雨	燃	ネン・もえる・もやす・もす	火がつく／力を出す 燃烧・燃料・可燃
岩	ガン・いわ	大きく固い石 岩盤・岩石・溶岩	揺	ヨウ・ゆれる・ゆらぐ	前後左右に動く 揺動・動揺・揺らぎ
星	セイ・ショウ・ほし	夜空に光る天体 星雲・恒星・星空	礁	ショウ	水面近くの岩場 岩礁・暗礁・環礁
雪	セツ・ゆき	空から降る氷の結晶 雪崩・積雪・降雪	霜	ソウ・しも	地表などに付く氷の結晶 霜害・降霜・霜柱

二 いっしょに覚える漢字

字	主な読み	意味の方向／熟語	字	主な読み	意味の方向／熟語
漁	ギョ・リョウ	水産物をとる 漁業・漁船・漁場	輝	キ・かがやく	強い光を放つ 輝度・光輝・輝く
暴	ボウ・バク・あばく・あばれる	激しく乱れる／明らかにする 暴風・暴雨・暴露	噴	フン・ふく	勢いよく吹き出す 噴火・噴出・噴煙
潟	かた	遠浅の海岸の浅い水域 干潟・潟湖・新潟	漠	バク	広々として果てしない／ぼんやり 砂漠・広漠・漠然
烈	レツ	勢いが激しい 烈風・猛烈・激烈	溝	コウ・みぞ	細長く掘ったくぼみ 海溝・側溝・溝渠
洞	ドウ・ほら	奥深い穴 洞穴・洞窟・空洞	薪	シン・たきぎ	燃料にする木 薪炭・薪・薪材
泡	ハウ・あわ	液体中や表面の気体の粒 気泡・水泡・発泡	濫	ラン	水があふれる／みだり 氾濫・濫用・濫伐

三 漢字の働きを考えよう

次の問いに答えなさい。

(1) 「雨量」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 一定の時間や場所に降った雨の量。
- イ 宇宙空間に広がるガスや微粒子の集まり。
- ウ 物質が酸素などと反応して熱や光を出す現象。
- エ 海面近くにある岩、または岩の集まる浅い場所。

(2) 「岩盤」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 山の斜面に積もった雪が急に大量に崩れ落ちる現象。
- イ 物体や水面などが繰り返し揺れ動くこと。
- ウ 霜によって農作物などが受ける被害。
- エ 地表の下などに広がる固い岩石の層。

(3) 「星雲」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 物質が酸素などと反応して熱や光を出す現象。
- イ 海面近くにある岩、または岩の集まる浅い場所。
- ウ 宇宙空間に広がるガスや微粒子の集まり。
- エ 一定の時間や場所に降った雨の量。

(4) 「雪崩」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 物体や水面などが繰り返し揺れ動くこと。
- イ 山の斜面に積もった雪が急に大量に崩れ落ちる現象。
- ウ 霜によって農作物などが受ける被害。
- エ 地表の下などに広がる固い岩石の層。

(5) 「燃焼」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 物質が酸素などと反応して熱や光を出す現象。
- イ 海面近くにある岩、または岩の集まる浅い場所。
- ウ 一定の時間や場所に降った雨の量。
- エ 宇宙空間に広がるガスや微粒子の集まり。

(6) 「揺動」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 霜によって農作物などが受ける被害。
- イ 地表の下などに広がる固い岩石の層。
- ウ 山の斜面に積もった雪が急に大量に崩れ落ちる現象。
- エ 物体や水面などが繰り返し揺れ動くこと。

四 熟語を広げよう

次の文に合う熟語を、語群から選んで書きなさい。

【語群】 雨量 揺動 干潟 岩盤 岩礁 烈風 星雲 霜害 洞穴 雪崩 漁業 気泡 燃焼 暴風

- | | |
|--------------------------|------------------------------|
| (1) 観測所で1年間の（ ）を記録した。 | (8) 遅い時期の冷え込みで作物に（ ）が出た。 |
| (2) 硬い（ ）に届くまで深く杭を打つ。 | (9) 海辺の町では（ ）が主要な産業になっている。 |
| (3) 望遠鏡で淡く広がる（ ）を観測した。 | (10) 気象台は台風の接近に伴い（ ）警報を発表した。 |
| (4) 大雪の後は（ ）の危険が高まる。 | (11) 潮が引くと広い（ ）が現れる。 |
| (5) 酸素が少ないと十分な（ ）が起こらない。 | (12) 山頂では、雪を巻き上げる（ ）が吹き荒れた。 |
| (6) 地震による建物の（ ）を装置で再現した。 | (13) 石灰岩の（ ）を慎重に探検した。 |
| (7) 船は海面近くの（ ）を避けて進んだ。 | (14) 炭酸水の中を小さな（ ）が上っていく。 |

五 似た語を使い分けよう

それぞれの語の違いとして、最も適切なものを選びなさい。

(1) 「雨量」と「水位」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 雨量は川や海などの水面の高さ、水位は一定の時間や場所に降った雨の量を表す。
- イ 雨量は一定の時間や場所に降った雨の量、水位は川や海などの水面の高さを表す。
- ウ 雨が増えると水位も必ず同じ割合で増えるため、別に測る必要はない。
- エ 雨量は陸、水位は海だけで測る。

(2) 「岩礁」と「干潟」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 岩礁は潮が引くと現れる平らで浅い海底、干潟は海面近くにある岩の浅瀬を表す。
- イ どちらも浅い海なので、岩質か泥質か、潮で現れるかは区別しない。
- ウ 岩礁は危険、干潟は安全な場所だけを表す。
- エ 岩礁は海面近くにある岩の浅瀬、干潟は潮が引くと現れる平らで浅い海底を表す。

(3) 「噴火」と「燃焼」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 噴火は物質が酸素などと反応し熱や光を出す現象、燃焼は火山から物質やガスが吹き出す現象を表す。
- イ 噴火は火山から物質やガスが吹き出す現象、燃焼は物質が酸素などと反応し熱や光を出す現象を表す。
- ウ どちらも熱と光を伴うため、地質現象か化学反応かは同じである。
- エ 噴火は自然、燃焼は人工の場合だけに起こる。

(4) 「暴風」と「烈風」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 暴風は非常に激しく吹く風、烈風は災害を起こし得るほど非常に強い風を表す。
- イ どちらも強風なので、観測上の扱いや文章中の強調の違いはない。
- ウ 暴風は雨を伴い、烈風は晴天時だけに吹く。
- エ 暴風は災害を起こし得るほど非常に強い風、烈風は非常に激しく吹く風を表す。

(5) A・Bに入る語の組合せとして、最も適切なものを選びなさい。A「(A)を測定する」 B「川の(B)が上がる」

- ア A=雨量/B=水位 イ A=水位/B=雨量
- ウ A=雨量/B=雨量 エ A=水位/B=水位

(6) A・Bに入る語の組合せとして、最も適切なものを選びなさい。A「火山が(A)する」 B「薪炭が(B)する」

- ア A=燃焼/B=噴火 イ A=噴火/B=燃焼
- ウ A=噴火/B=噴火 エ A=燃焼/B=燃焼

六 短文で使ってみよう

A カタカナを漢字に直しなさい。

- | | |
|-------------------------------|-----------------------------|
| (1) 記録的なゴウウで、川の水位が急上昇した。 | (9) 港へ戻ったギョセンから、魚が運び出された。 |
| (2) 船のネンリョウを補給してから出港した。 | (10) 磨かれた金属が美しいコウキを放った。 |
| (3) 火山を作るガンセキを採取した。 | (11) 古い気象記録には、激しいボウウの記述がある。 |
| (4) 突然の知らせにドウヨウしたが、落ち着いて確認した。 | (12) 両者の意見がゲキレッツに対立した。 |
| (5) 太陽は自ら光を出すコウセイである。 | (13) 石灰岩のドウクツを、案内人と進んだ。 |
| (6) 交渉は意見の違いというアンショウに乗り上げた。 | (14) 努力がスイホウに帰す結果となった。 |
| (7) 山間部では、一晩で多くのセキセツがあった。 | (15) 山頂から煙が上がり、やがてフンカした。 |
| (8) 春先のコウソウで、農作物が傷んだ。 | |

B 次の熟語の読みを書きなさい。

- | | | | | |
|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| (16) 噴火 () | (17) 砂漠 () | (18) 海溝 () | (19) 薪炭 () | (20) 氾濫 () |
|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|

七 文章の中で考えよう

次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

海辺の災害を一つの矢印にしない

海辺の災害図には雨量、川の氾濫、暴風、岩盤の揺動が一本の矢印で結ばれていた。真央は原因が一つに見えるとして、気象・地質・水理を別の時間軸へ分けた。

山では雪崩と霜害、海では岩礁と干潟の変化が記録される。

烈風が波を高めても、湾奥の水位は海溝の地形や潮の向きで異なる。雨が多だけで被害の大きさは決まらない。

一枚の矢印で噴火から被害へ結ぶと、高潮、避難の遅れ、建物の位置が消えてしまう。原因の重なりを枝分かれで示した。

古い洞穴の壁には噴火の灰が重なり、岩の隙間には気泡が残る。

【現象を分ける軸】場所／時間／物質／力／人の利用

燃焼で生じた灰と火山灰も外見が似るため、成分と地層の位置を調べた。星雲の写真は別の「雲」で、同じ現象ではない。

砂漠から運ばれた微粒子が空の輝度を変えた年もある。遠い場所の現象が影響しても、同時に起きたことを直ちに直接原因とはせず、風向と到達時刻を確かめた。

漁業日誌には干潟の減少、薪炭の搬出、海岸の溝工事が記される。自然現象だけでなく、人が水路や植生を変えた積み重ねも氾濫の広がりに関わっていた。

悠人は「豪雨が町を壊した」という一文を、雨量、地形、堤の状態、土地利用へ分解した。真央は観測された事実と推定された経路を線種で分け、確かさの程度を示した。

災害後に作られた堤防も年表へ加えた。被害の記録は、起きたことだけでなく、その後の選択へ続いている。

複雑な自然現象を読むには、すべてを一つの原因へ還元しないことが大切だ。異なる尺度の記録を重ねれば、現象どうしがどこで結び付き、人の営みが何を強めたかを考えられる。

七 文章の中で考えよう（問い）

本文を根拠にして答えなさい。

（1）本文中から、「潮が引くと現れ、満ちると水に覆われる浅い海底」という意味で使われている熟語を抜き出さなさい。

（2）「ガンショウ」を漢字 2 字で書きなさい。

（3）本文中の「輝度」の意味として最も近いものを選びなさい。

- ア 一定の時間や場所に降った雨の量。
- イ 海底に細長く延びる深いくぼ地。
- ウ 光源や面がある方向へ放つ光の明るさ。
- エ 地表などに付く氷の結晶による被害。

（4）遠い砂漠の微粒子を直接原因とすぐ決めなかった理由として最も適切なものを選びなさい。

- ア 砂漠から微粒子が移動することはないから。
- イ 同時期に観測されても、風向と到達時刻を確かめなければ影響の経路を示せないから。
- ウ 空の輝度は測定できないから。
- エ 星雲と砂漠は同じ場所にあるから。

（5）「豪雨が町を壊した」という一文を分解したのはなぜか。45～55 字で説明しなさい。

（6）「尺度」「経路」の二語を用い、海辺の災害記録を読む方法を 70～90 字でまとめなさい。

三 漢字の働きを考えよう

- | | |
|---------------------------|--------------------------------|
| (1) ア 一定の時間や場所に降った雨の量。 | (4) イ 山の斜面に積もった雪が急に大量に崩れ落ちる現象。 |
| (2) エ 地表の下などに広がる固い岩石の層。 | (5) ア 物質が酸素などと反応して熱や光を出す現象。 |
| (3) ウ 宇宙空間に広がるガスや微粒子の集まり。 | (6) エ 物体や水面などが繰り返し揺れ動くこと。 |

四 熟語を広げよう

- | | |
|--------|---------|
| (1) 雨量 | (8) 霜害 |
| (2) 岩盤 | (9) 漁業 |
| (3) 星雲 | (10) 暴風 |
| (4) 雪崩 | (11) 干潟 |
| (5) 燃焼 | (12) 烈風 |
| (6) 揺動 | (13) 洞穴 |
| (7) 岩礁 | (14) 気泡 |

使い分けを確かめよう：雨量は一定の時間や場所に降った雨の量、水位は川や海などの水面の高さを表す。

五 似た語を使い分けよう

(1) イ 雨量は一定の時間や場所に降った雨の量、水位は川や海などの水面の高さを表す。

用例：雨量を測定する／川の水位が上がる

(2) エ 岩礁は海面近くにある岩の浅瀬、干潟は潮が引くと現れる平らで浅い海底を表す。

用例：岩礁に波が砕ける／干潟で鳥が餌をとる

(3) イ 噴火は火山から物質やガスが吹き出す現象、燃焼は物質が酸素などと反応し熱や光を出す現象を表す。

用例：火山が噴火する／薪炭が燃焼する

(4) エ 暴風は災害を起こし得るほど非常に強い風、烈風は非常に激しく吹く風を表す。

用例：警報で暴風に備える／海上を烈風が吹く

(5) ア A＝雨量、B＝水位。(1)の使い分けを参照。

(6) イ A＝噴火、B＝燃焼。(3)の使い分けを参照。

六 短文で使ってみよう

(1) 豪雨	(11) 暴雨
(2) 燃料	(12) 激烈
(3) 岩石	(13) 洞窟
(4) 動揺	(14) 水泡
(5) 恒星	(15) 噴火
(6) 暗礁	(16) ふんか
(7) 積雪	(17) さばく
(8) 降霜	(18) かいこう
(9) 漁船	(19) しんたん
(10) 光輝	(20) はんらん

七 文章の中で考えよう

- (1) 干潟 本文中では「干潟」と表されている。
- (2) 岩礁
- (3) ウ 光源や面がある方向へ放つ光の明るさ。
- (4) イ 同時期に観測されても、風向と到達時刻を確かめなければ影響の経路を示せないから。
- (5) 解答例（50 字）

被害は雨量だけでなく地形、堤の状態、土地利用も重なって生じ、一つの原因では広がりの説明できないため。

見る点：本文中の判断と、その理由を結びつけていること

- (6) 解答例（74 字）

気象・地質・水理を異なる時間と空間の尺度へ分け、観測時刻と場所をそろえる。風や水、土砂が移動した経路を確かめ、人の土地利用が現象を強めた部分も示す。

見る点：指定語を用いたこと／本文の具体と結論を結んだこと

第十四回

生殖・生育・生態

種ごとの生活史と環境のつながりを、季節を通して細かく見る。

今日の中心漢字

鳥 葉 魚 麦 栽 蛭 鶴 鶏

いっしょに覚える漢字

熊	桜	卵	樹	菓	芋
亀	殻	葛	苛	藍	藻

卵生・葉脈・藍藻・海藻などを確かめたあと、里山の生態暦から生き物どうしの関係を読みます。

意味の芯 → 熟語 → 使い分け → 短文 → 文章

一 今日の中心漢字の芯

字	主な読み	意味の芯／熟語	字	主な読み	意味の芯／熟語		
鳥	チョウ・とり	羽をもち卵で増える動物 鳥類・野鳥・渡り鳥	栽	サイ	植物を植えて育てる 栽培・盆栽・栽植		
	ヨウ・は	植物の光を受ける器官 葉脈・落葉・葉緑体		螢	ケイ・ほたる	光を発する昆虫 螢光・螢・螢火	
	ギョ・うお・さかな	水中で暮らす脊椎動物 魚類・魚群・稚魚			鶴	カク・つる	首と脚の長い鳥 鶴・白鶴・鶴亀
	バク・むぎ	穀物の一種 麦畑・小麦・麦芽				鶏	ケイ・にわとり

二 いっしょに覚える漢字

字	主な読み	意味の方向／熟語	字	主な読み	意味の方向／熟語				
熊	ユウ・くま	大型の哺乳類 熊・白熊・熊笹	亀	キ・かめ	甲羅をもつ爬虫類 亀・海亀・鶴亀				
	オウ・さくら	春に花を咲かせる木 桜前線・桜花・山桜		殻	カク・から	外側を覆う硬いもの 卵殻・貝殻・甲殻			
	ラン・たまご	生物が子を育てる殻などに包まれたもの 卵生・鶏卵・受精卵			葛	カツ・くず	つる性の植物 葛・葛粉・葛布		
	ジュ	木／立てる 樹冠・樹木・植樹				苛	カ	厳しい／苦しめる 苛酷・苛烈・苛立つ	
	カ	果実／甘い食べ物 菓子・製菓・茶菓					藍	ラン・あい	青い染料をとる植物／濃い青 藍藻・藍色・藍染
	いも	地下の部分に養分を蓄える作物 芋類・里芋・芋茎						藻	ソウ・も

三 漢字の働きを考えよう

次の問いに答えなさい。

(1) 「鳥類」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 主に水中でえら呼吸をする脊椎動物の仲間。
- イ 羽毛と翼をもち卵を産む脊椎動物の仲間。
- ウ 作物や植物を植え管理して育てること。
- エ 湿地などに暮らす首と脚の長い大型の鳥。

(2) 「葉脈」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 葉の中を走り水分や養分を運ぶ筋。
- イ 小麦や大麦などを栽培する畑。
- ウ 物質が光を受けて別の光を発する現象。
- エ 卵や肉などを得るため鶏を飼育すること。

(3) 「魚類」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 作物や植物を植え管理して育てること。
- イ 湿地などに暮らす首と脚の長い大型の鳥。
- ウ 羽毛と翼をもち卵を産む脊椎動物の仲間。
- エ 主に水中でえら呼吸をする脊椎動物の仲間。

(4) 「麦畑」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 物質が光を受けて別の光を発する現象。
- イ 卵や肉などを得るため鶏を飼育すること。
- ウ 小麦や大麦などを栽培する畑。
- エ 葉の中を走り水分や養分を運ぶ筋。

(5) 「栽培」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 湿地などに暮らす首と脚の長い大型の鳥。
- イ 作物や植物を植え管理して育てること。
- ウ 羽毛と翼をもち卵を産む脊椎動物の仲間。
- エ 主に水中でえら呼吸をする脊椎動物の仲間。

(6) 「蛍光」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 物質が光を受けて別の光を発する現象。
- イ 卵や肉などを得るため鶏を飼育すること。
- ウ 葉の中を走り水分や養分を運ぶ筋。
- エ 小麦や大麦などを栽培する畑。

四 熟語を広げよう

次の文に合う熟語を、語群から選んで書きなさい。

【語群】 鳥類 蛍光 卵生 葉脈 鶴 樹冠 魚類 養鶏 菓子 麦畑 熊 芋類 栽培 桜前線

- | | |
|---------------------------|-------------------------------|
| (1) 翼や羽毛の特徴から（ ）を分類する。 | (8) 卵の温度を管理しながら（ ）を行う。 |
| (2) 葉を光に透かすと（ ）がよく見える。 | (9) 森で（ ）に出会ったときの行動を学ぶ。 |
| (3) 川と海にすむ（ ）の違いを調べた。 | (10) 開花の広がりを示す（ ）が北上している。 |
| (4) 風が吹くと（ ）が金色の波のように揺れる。 | (11) 鳥の多くは卵から生まれる（ ）の動物だ。 |
| (5) 温室で南国の果物を（ ）する。 | (12) 森では木々の（ ）が重なり、地上へ届く光を遮る。 |
| (6) 特殊な塗料が暗闇で（ ）を発した。 | (13) 祝いの席に季節の（ ）を用意した。 |
| (7) 湿地に一羽の（ ）が降り立った。 | (14) ジャガイモやサツマイモなどの（ ）を収穫した。 |

五 似た語を使い分けよう

それぞれの語の違いとして、最も適切なものを選びなさい。

(1) 「卵生」と「胎生」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 卵生は母体外へ産んだ卵から子がかえる増え方、胎生は母体内で子を育ててから産む増え方を表す。
- イ 卵生は母体内で子を育ててから産む増え方、胎生は母体外へ産んだ卵から子がかえる増え方を表す。
- ウ どちらも子を増やすため、母体内外のどこで育つかは区別しない。
- エ 卵生は鳥、胎生は魚にだけ見られる。

(2) 「藍藻」と「海藻」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 藍藻は海に生育する藻類の総称、海藻は光合成する細菌を指した旧来の呼び名を表す。
- イ どちらも水中で光合成するため、細菌か藻類か、生育場所は同じである。
- ウ 藍藻は光合成する細菌を指した旧来の呼び名、海藻は海に生育する藻類の総称を表す。
- エ 藍藻は青、海藻は緑色のものだけを指す。

(3) 「栽培」と「自生」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 栽培は人が植え管理して植物を育てること、自生は人が植えず自然に生え育つことを表す。
- イ 栽培は人が植えず自然に生え育つこと、自生は人が植え管理して植物を育てることを表す。
- ウ どちらも植物が育つため、人の管理の有無を確かめる必要はない。
- エ 栽培は畑、自生は山頂だけで起こる。

(4) 「樹冠」と「葉脈」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 樹冠は一枚の葉の中を走る筋、葉脈は枝葉が集まって広がる樹木の上部を表す。
- イ どちらも葉の集まりを指すので、木全体の上部か一枚の葉の構造かは同じである。
- ウ 樹冠は枝葉が集まって広がる樹木の上部、葉脈は一枚の葉の中を走る筋を表す。
- エ 樹冠は常緑樹、葉脈は落葉樹にだけある。

(5) A・Bに入る語の組合せとして、最も適切なものを選びなさい。A「(A)が水面に増える」 B「(B)を採取する」

- ア A=海藻/B=藍藻 イ A=藍藻/B=藍藻
- ウ A=藍藻/B=海藻 エ A=海藻/B=海藻

(6) A・Bに入る語の組合せとして、最も適切なものを選びなさい。A「(A)の広がり測る」 B「(B)を観察する」

- ア A=葉脈/B=樹冠 イ A=樹冠/B=樹冠
- ウ A=葉脈/B=葉脈 エ A=樹冠/B=葉脈

六 短文で使ってみよう

A カタカナを漢字に直しなさい。

- | | |
|--------------------------|----------------------------|
| (1) 庭に来るヤチヨウの種類を記録した。 | (9) 一つのジュセイランから、細胞分裂が始まる。 |
| (2) 秋になると、道にラクヨウが積もる。 | (10) 町の緑を増やすため、公園でショクジュした。 |
| (3) 川辺で小さなホタルビが揺れていた。 | (11) 菓子職人を目指し、セイカ学校で学んだ。 |
| (4) 川へ放したチギョが、群れを作って泳いだ。 | (12) 煮物にサトイモを加え、とろりと仕上げた。 |
| (5) パンの原料となるコムギを畑で育てる。 | (13) 鳥のランカクは、内部のひなを守る。 |
| (6) 食卓に新鮮なケイランを並べた。 | (14) クズコを湯で練り、透明な菓子を作った。 |
| (7) 北極圏に暮らすシロクマの生態を学んだ。 | (15) 長時間働かせるカコクな環境を改めた。 |
| (8) 春風にオウカが舞い、川面へ落ちた。 | |

B 次の熟語の読みを書きなさい。

- | | | | | |
|-------------|------------|-------------|-------------|-------------|
| (16) 卵殻 () | (17) 葛 () | (18) 苛酷 () | (19) 藍藻 () | (20) 海藻 () |
|-------------|------------|-------------|-------------|-------------|

七 文章の中で考えよう

次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

一年の生態暦を重ねる

里山の生態暦には、桜前線、麦畑の出穂、蛍の発光、鶴の渡来が別々の色で記される。悠人は同じ月の出来事を横へ並べたが、真央は生物ごとの生活史も縦に追った。

【生態暦の軸】種／成長段階／場所／季節／他の生物との関係

鳥類と魚類では移動する水域が異なり、鶏は養鶏場で卵生を観察できる。熊や亀の活動期も、同じ気温だけでなく餌、繁殖、冬眠の違いから読む必要がある。

鳥、虫、植物の一年を重ねると、同じ春でも動き出す時期が違った。暦の月名だけでは小さなずれを捉えられない。樹冠が広がる季節には葉脈を通る水分も増え、葛や芋類が斜面を覆った。麦の栽培地と自生植物の場所を分けると、人の管理が植生へ与えた影響が見える。

池では藍藻が増え、海岸では海藻の減少が記録された。「藻」という字が共通しても、同じ生物群ではない。水温、栄養、塩分を種ごとに確かめた。

卵殻の厚さ、鳥の巣材、魚の産卵場も調べた。苛酷な暑さの年に数が減っていても、暑さだけが原因とは限らない。農薬、餌場、捕食者の変化も重ねた。

祭りの菓子や藍染、桜見物は生き物と文化の接点である。美しい風景として愛でるだけでなく、材料がどこで育ち、採取が生態へ何を与えたかを展示へ加えた。真央は気温と日照の帯を下へ加え、生き物の変化を気象条件と結んだ。

生態を精密に読むには、一枚の季節写真で豊かさを決めないことが重要だ。生殖・生育・移動を一年の流れで追い、種どうしと人の営みの関係を重ねて考える。

七 文章の中で考えよう（問い）

本文を根拠にして答えなさい。

（1）本文中から、「母体外へ産んだ卵から子がかえる増え方」という意味で使われている熟語を抜き出さなさい。

（2）「ジュカン」を漢字 2 字で書きなさい。

（3）本文中の「藍藻」の意味として最も近いものを選びなさい。

ア 海に生育する藻類をまとめていう語。

イ 葉の中で水分や養分を運ぶ筋。

ウ 卵の内容物を包む硬い殻。

エ 光合成する細菌を指した旧来の呼び名。

（4）同じ月の出来事を並べるだけでなく生活史を縦に追った理由を選びなさい。

ア 同時に見える変化でも、種ごとに生殖・成長・移動の段階が異なるから。

イ すべての生物は一年中同じ場所にいるから。

ウ 季節は生物の活動に影響しないから。

エ 鳥類と魚類は同じ生活史をもつから。

（5）藍藻と海藻を同じ生物群としなかったのはなぜか。45～55 字で説明しなさい。

（6）「生活史」「関係」の二語を用い、生態暦を読む方法を 70～90 字でまとめなさい。

三 漢字の働きを考えよう

- | | |
|----------------------------|--------------------------|
| (1) イ 羽毛と翼をもち卵を産む脊椎動物の仲間。 | (4) ウ 小麦や大麦などを栽培する畑。 |
| (2) ア 葉の中を走り水分や養分を運ぶ筋。 | (5) イ 作物や植物を植え管理して育てること。 |
| (3) エ 主に水中でえら呼吸をする脊椎動物の仲間。 | (6) ア 物質が光を受けて別の光を発する現象。 |

四 熟語を広げよう

- | | |
|--------|----------|
| (1) 鳥類 | (8) 養鶏 |
| (2) 葉脈 | (9) 熊 |
| (3) 魚類 | (10) 桜前線 |
| (4) 麦畑 | (11) 卵生 |
| (5) 栽培 | (12) 樹冠 |
| (6) 蛍光 | (13) 菓子 |
| (7) 鶴 | (14) 芋類 |

使い分けを確かめよう：卵生は母体外へ産んだ卵から子がかえる増え方、胎生は母体内で子を育ててから産む増え方を表す。

五 似た語を使い分けよう

(1) ア 卵生は母体外へ産んだ卵から子がかえる増え方、胎生は母体内で子を育ててから産む増え方を表す。

用例：鶏は卵生で増える／熊は胎生で子を産む

(2) ウ 藍藻は光合成する細菌を指した旧来の呼び名、海藻は海に生育する藻類の総称を表す。

用例：藍藻が水面に増える／海藻を採取する

(3) ア 栽培は人が植え管理して植物を育てること、自生は人が植えず自然に生え育つことを表す。

用例：麦を栽培する／葛が斜面に自生する

(4) ウ 樹冠は枝葉が集まって広がる樹木の上部、葉脈は一枚の葉の中を走る筋を表す。

用例：樹冠の広がり測る／葉脈を観察する

(5) ウ A＝藍藻、B＝海藻。(2)の使い分けを参照。

(6) エ A＝樹冠、B＝葉脈。(4)の使い分けを参照。

六 短文で使ってみよう

(1) 野鳥	(11) 製菓
(2) 落葉	(12) 里芋
(3) 螢火	(13) 卵殻
(4) 稚魚	(14) 葛粉
(5) 小麦	(15) 苛酷
(6) 鶏卵	(16) らんかく
(7) 白熊	(17) くず
(8) 桜花	(18) かこく
(9) 受精卵	(19) らんそう
(10) 植樹	(20) かいそう

七 文章の中で考えよう

- (1) 卵生 本文中では「卵生」と表されている。
- (2) 樹冠
- (3) エ 光合成する細菌を指した旧来の呼び名。
- (4) ア 同時に見える変化でも、種ごとに生殖・成長・移動の段階が異なるから。
- (5) 解答例（46 字）

藍藻は光合成する細菌の旧称、海藻は海に生育する藻類の総称で、その分類と生育環境が異なるため。

見る点：本文中の判断と、その理由を結びつけていること

- (6) 解答例（77 字）

種ごとに生殖・成長・移動を一年の生活史として追い、同じ季節の出来事を場所と段階で比べる。餌や捕食、栽培・採取との関係も重ね、一つの気象だけを原因にしない。

見る点：指定語を用いたこと／本文の具体と結論を結んだこと

第十五回

材質と精密な作り

素材・部材・加工・仕上げを分け、物の形から工程を逆にたどる。

今日の中心漢字

糸 銀 刀 黄 鋼 絹 巾 硝

いっしょに覚える漢字

棒	縦	締	臼	鈍	幣
縫	鑄	繕	繭	璧	器※

鑄造・縫製・修繕・完璧などを確かめたあと、一つの祭具に使われた異なる材質と技法を分析する文章を読みます。 ※再会漢字：器（第二冊第十七回）

意味の芯 → 熟語 → 使い分け → 短文 → 文章

一今日の中心漢字の芯

字	主な読み	意味の芯／熟語	字	主な読み	意味の芯／熟語
糸	シ・いと	細長くより合わせた繊維 糸口・糸・製糸	鋼	コウ・はがね	強く調整した鉄 鋼材・鋼鉄・製鋼
銀	ギン	白く光る金属 銀器・銀貨・水銀	絹	ケン・きぬ	蚕の繭から取る繊維 絹織物・生絹・絹糸
刀	トウ・かたな	片刃の刃物 刀身・日本刀・短刀	巾	キン	布きれ／幅 巾着・頭巾・茶巾
黄	コウ・オウ・き	黄色 黄銅・黄色・黄金	硝	ショウ	硝石／ガラスに関わる 硝子・硝石・硝酸

二いっしょに覚える漢字

字	主な読み	意味の方向／熟語	字	主な読み	意味の方向／熟語
棒	ポウ	細長いまっすぐな物 棒鋼・鉄棒・棒状	縫	ホウ・ぬう	糸で布などをつなぐ 縫製・裁縫・縫合
縦	ジュウ・たて	上下の方向 縦糸・縦断・縦長	铸	チュウ・いる	金属を溶かして型へ流す 铸造・铸物・铸型
締	テイ・しまる・しめる	ゆるみなく結ぶ／終える 締結・締切・引締め	繕	ゼン・つくろう	直して整える 修繕・営繕・取り繕う
白	キュウ・うす	穀物などをつく道具 石臼・臼歯・脱臼	繭	ケン・まゆ	さなぎを包む糸の殻 繭糸・繭・蚕繭
鈍	ドン・にぶい・にぶる	切れ味や反応が悪い 鈍器・鈍角・鈍色	壁	ヘキ	平らな輪形の宝玉 完璧・白壁・双壁
幣	ヘイ	神への供え物／通貨 貨幣・紙幣・御幣	器 ※	キ・うつわ	再会：入れ物／働きを備えた道具 器具・容器・楽器

三 漢字の働きを考えよう

次の問いに答えなさい。

(1) 「糸口」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 刀のうち刃と峰からなる主要な部分。
- イ 建築や機械などの材料として用いる鋼。
- ウ 巻いた糸の端、または物事を始める手がかり。
- エ 口をひもで締める小さな布袋。

(2) 「銀器」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 銅と亜鉛を主成分とする黄色みのある合金。
- イ 銀または銀を含む材料で作った器物。
- ウ 絹糸を織って作った布。
- エ 光を通し、器や窓などに用いる硬くてもろい材料。

(3) 「刀身」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 刀のうち刃と峰からなる主要な部分。
- イ 建築や機械などの材料として用いる鋼。
- ウ 口をひもで締める小さな布袋。
- エ 巻いた糸の端、または物事を始める手がかり。

(4) 「黄銅」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 絹糸を織って作った布。
- イ 光を通し、器や窓などに用いる硬くてもろい材料。
- ウ 銀または銀を含む材料で作った器物。
- エ 銅と亜鉛を主成分とする黄色みのある合金。

(5) 「鋼材」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 口をひもで締める小さな布袋。
- イ 巻いた糸の端、または物事を始める手がかり。
- ウ 建築や機械などの材料として用いる鋼。
- エ 刀のうち刃と峰からなる主要な部分。

(6) 「絹織物」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 光を通し、器や窓などに用いる硬くてもろい材料。
- イ 絹糸を織って作った布。
- ウ 銀または銀を含む材料で作った器物。
- エ 銅と亜鉛を主成分とする黄色みのある合金。

四 熟語を広げよう

次の文に合う熟語を、語群から選んで書きなさい。

【語群】 糸口 絹織物 締結 銀器 巾着 石臼 刀身 硝子 鈍器 黄銅 棒鋼 貨幣 鋼材 縦糸

(1) わずかな証言が事件を解く（ ）になった。

(8) 古い洋館の窓には色の付いた（ ）がはめられている。

(2) 祝いの席で磨かれた（ ）が使われた。

(9) 工事現場へ規格に合った（ ）を運んだ。

(3) 職人は傷のない（ ）を光にかざした。

(10) 機織りでは（ ）に横糸を通して布を作る。

(4) 銅と亜鉛の合金である（ ）を部品に使う。

(11) ボルトを強く（ ）し、部品を固定した。

(5) 橋の骨組みに丈夫な（ ）を用いる。

(12) 昔は（ ）で穀物をひいて粉にした。

(6) 博物館で精巧な（ ）の衣装を見た。

(13) 現場では（ ）で殴られた可能性も調べられた。

(7) 小銭を布の（ ）に入れた。

(14) 品物と交換できる（ ）が交易を便利にした。

五 似た語を使い分けよう

それぞれの語の違いとして、最も適切なものを選びなさい。

(1) 「 casting」と「forging」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

- ア castingは金属をたたき圧力を加えて形づくる加工、forgingは溶かした金属を型へ流し固める加工を表す。
- イ どちらも金属を形づくるため、溶かすか打ち延ばすかは区別しない。
- ウ castingは大型品、forgingは小型品だけに用いる。
- エ castingは溶かした金属を型へ流し固める加工、forgingは金属をたたき圧力を加えて形づくる加工を表す。

(2) 「縫製」と「修繕」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 縫製は傷んだ物を直して使えるようにすること、修繕は布を裁ち縫って製品に仕上げることを表す。
- イ 縫製は布を裁ち縫って製品に仕上げることを、修繕は傷んだ物を直して使えるようにすることを表す。
- ウ どちらも糸で縫うため、新しく作るか直すかを確かめる必要はない。
- エ 縫製は機械、修繕は手作業の場合だけを表す。

(3) 「黄銅」と「鋼」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 黄銅は炭素量などを調整した強い鉄の合金、鋼は銅と亜鉛を主成分とする合金を表す。
- イ どちらも黄色く光る金属であり、成分や性質は同じである。
- ウ 黄銅は装飾、鋼は建築にしか使えない。
- エ 黄銅は銅と亜鉛を主成分とする合金、鋼は炭素量などを調整した強い鉄の合金を表す。

(4) 「完璧」と「精密」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 完璧は細部まで正確につくられていること、精密は欠点や不足がなく完全であることを表す。
- イ 完璧は欠点や不足がなく完全であること、精密は細部まで正確につくられていることを表す。
- ウ どちらも優れた出来を表すため、欠点の有無か作りの細かさは同じである。
- エ 完璧は作品、精密は機械だけに用いる。

(5) A・Bに入る語の組合せとして、最も適切なものを選びなさい。A「(A)の金具を磨く」 B「(B)の棒を締結する」

- ア A=黄銅/B=鋼 イ A=鋼/B=黄銅
- ウ A=黄銅/B=黄銅 エ A=鋼/B=鋼

(6) A・Bに入る語の組合せとして、最も適切なものを選びなさい。A「鐘を(A)する」 B「刀身を(B)する」

- ア A=鍛造/B=鑄造 イ A=鑄造/B=鍛造
- ウ A=鑄造/B=鑄造 エ A=鍛造/B=鍛造

六 短文で使ってみよう

A カタカナを漢字に直しなさい。

- | | |
|----------------------------|----------------------------|
| (1) 橋には強度の高いコウテツが使われている。 | (9) 破れた衣服をサイホウして直した。 |
| (2) 古いギンカに刻まれた王の名を読んだ。 | (10) 山脈を南北にジュウダンする道を進んだ。 |
| (3) 精練していない絹糸を織った布をキギヌという。 | (11) 応募のシメキリは、今月三十一日である。 |
| (4) 護身用の小さなタントウが展示されている。 | (12) 奥のキュウシで食べ物をかみ砕く。 |
| (5) 昔の旅人は、日よけのズキンをかぶった。 | (13) 繭からほどいたケンシを、丁寧に巻き取った。 |
| (6) レモンの皮を明るいキイロで塗った。 | (14) 百二十度の角はドンカクである。 |
| (7) 火薬の原料となるショウセキを鉱山から得た。 | (15) 財布に入っていた古いシヘイを調べた。 |
| (8) 校庭のテツボウで、逆上がりを練習した。 | |

B 次の熟語の読みを書きなさい。

- | | | | | |
|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| (16) 鑄造 () | (17) 修繕 () | (18) 繭糸 () | (19) 完璧 () | (20) 器具 () |
|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|

七 文章の中で考えよう

次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

祭具の断面から工程を読む

祭具は銀器に見えたが、分析すると黄銅の板、鋼材の棒、硝子の飾りが組み合わされていた。外観の色だけで材質を決めず、断面と成分を確かめた。

中央の刀身は鍛えられ、周囲の金具は鋳造されている。溶かして型へ流す工程と、打ち延ばす工程では金属組織が異なる。鈍器のような形でも用途まで同じとは限らない。

祭具の断面には、異なる素材が何層も重なっていた。表面の色だけを見て、一度に作られたと決めることはできない。

布部は絹織物で、縦糸と横糸の密度が違う。繭糸をより、巾着形に縫製し、口をひもで締結していた。後世の修繕箇所は糸の色と縫い目から見分けた。

【物から工程をたどる欄】 素材／部材／接合／加工痕／修繕

石臼で磨いた痕、棒鋼の摩耗、貨幣を転用した幣飾りもある。素材名と部品名を混ぜると、何を再利用し、どこを新しく作ったかが分からなくなる。

古記録は「白壁のように完璧」と称える。壁は平らな輪形の宝玉であり、比喻の美しさは寸法の正確さを保証しない。評価語と測定結果を別の欄へ置いた。

悠人は器具の写真へ加工痕を示す矢印を加え、真央は鋳造・縫製・修繕を年代順に並べた。一つの祭具を完成時だけでなく、使われ直された履歴として見せた。

工具痕の向きと接着層をたどり、工程の前後を仮に置いた。確定できない部分には複数の案を併記した。

精密な物づくりを読むには、完成品の美しさだけを眺めないことが大切だ。材質、部材、接合、加工痕をたどれば、異なる技術と修繕が物の時間を形づくったことが分かる。

七 文章の中で考えよう（問い）

本文を根拠にして答えなさい。

(1) 本文中から、「溶かした金属を型へ流し込み固めて作ること」という意味で使われている熟語を抜き出しなさい。

(2) 「カンペキ」を漢字 2 字で書きなさい。

(3) 本文中の「縦糸」の意味として最も近いものを選びなさい。

ア 織物で長さの方向に張る糸。

イ 巻いた糸の端、または物事の手がかり。

ウ 絹糸を織って作った布。

エ 蚕の繭から取った細長い糸。

(4) 古記録の「完璧」という評価だけで寸法まで正確としなかった理由を選びなさい。

ア 壁は金属で作られた道具だから。

イ 古記録は形容語を使えないから。

ウ 寸法はどの時代にも測れないから。

エ 比喩による称賛は欠点がないという評価であり、測定された寸法の資料ではないから。

(5) 後世の修繕箇所を完成時の部分と分けたのはなぜか。45～55 字で説明しなさい。

(6) 「加工痕」「工程」の二語を用い、祭具の作りを調べる方法を 70～90 字でまとめなさい。

三 漢字の働きを考えよう

- | | |
|-----------------------------|----------------------------|
| (1) ウ 巻いた糸の端、または物事を始める手がかり。 | (4) エ 銅と亜鉛を主成分とする黄色みのある合金。 |
| (2) イ 銀または銀を含む材料で作った器物。 | (5) ウ 建築や機械などの材料として用いる鋼。 |
| (3) ア 刀のうち刃と峰からなる主要な部分。 | (6) イ 絹糸を織って作った布。 |

四 熟語を広げよう

- | | |
|---------|---------|
| (1) 糸口 | (8) 硝子 |
| (2) 銀器 | (9) 棒鋼 |
| (3) 刀身 | (10) 縦糸 |
| (4) 黄銅 | (11) 締結 |
| (5) 鋼材 | (12) 石臼 |
| (6) 絹織物 | (13) 鈍器 |
| (7) 巾着 | (14) 貨幣 |

使い分けを確かめよう： castingは溶かした金属を型へ流し固める加工、forgingは金属をたたき圧力を加えて形づくる加工を表す。

五 似た語を使い分けよう

(1) エ 鋳造は溶かした金属を型へ流し固める加工、鍛造は金属をたたき圧力を加えて形づくる加工を表す。

用例：鐘を鋳造する／刀身を鍛造する

(2) イ 縫製は布を裁ち縫って製品に仕上げることを、修繕は傷んだ物を直して使えるようにすることを表す。

用例：絹布を縫製する／ほつれを修繕する

(3) エ 黄銅は銅と亜鉛を主成分とする合金、鋼は炭素量などを調整した強い鉄の合金を表す。

用例：黄銅の金具を磨く／鋼の棒を締結する

(4) イ 完璧は欠点や不足がなく完全であること、精密は細部まで正確につくられていることを表す。

用例：完璧な復元を目指す／精密な寸法を測る

(5) ア A＝黄銅、B＝鋼。(3)の使い分けを参照。

(6) イ A＝鋳造、B＝鍛造。(1)の使い分けを参照。

六 短文で使ってみよう

(1) 鋼鉄	(11) 締切
(2) 銀貨	(12) 白歯
(3) 生絹	(13) 繭糸
(4) 短刀	(14) 鈍角
(5) 頭巾	(15) 紙幣
(6) 黄色	(16) ちゅうぞう
(7) 硝石	(17) しゅうぜん
(8) 鉄棒	(18) けんし
(9) 裁縫	(19) かんぺき
(10) 縦断	(20) きぐ

七 文章の中で考えよう

- (1) 鑄造 本文中では「鑄造」と表されている。
- (2) 完璧
- (3) ア 織物で長さの方向に張る糸。
- (4) エ 比喻による称賛は欠点がないという評価であり、測定された寸法の資料ではないから。
- (5) 解答例（49 字）

糸の色や縫い目が異なり、制作時の技法と後に直して使い続けた履歴を同じ工程にすると時代が混ざるため。

見る点：本文中の判断と、その理由を結びつけていること

- (6) 解答例（71 字）

成分から材質を確かめ、部材の接合と表面の加工痕を観察する。鑄造・鍛造・縫製・修繕を年代順の工程へ置き、外観や称賛語だけで素材と精度を決めない。

見る点：指定語を用いたこと／本文の具体と結論を結んだこと

第十六回

味覚・装束・住まい

暮らしの物を、用途・作法・立場の違いから読み解く。

今日の中心漢字

宅 房 寝 鉢 餌 膳 襟 麺

いっしょに覚える漢字

居	均	焼	召	卓	飾
串	釣	粹	飽	裸	湧

配膳・焼成・釣瓶・装飾などを確かめたあと、旧家の一室から食事と住まいの文化を復元する文章を読みます。

意味の芯 → 熟語 → 使い分け → 短文 → 文章

一 今日の中心漢字の芯

字	主な読み	意味の芯／熟語	字	主な読み	意味の芯／熟語
宅	タク	住まい／家 住宅・自宅・宅地	餌	ジ・えさ	動物に与える食べ物 餌場・給餌・餌
房	ポウ・ふさ	部屋／まとり垂れるもの 工房・房室・乳房	膳	ゼン	食事を載せる台／食事 配膳・膳・食膳
寝	シン・ねる・ねかす	横になって眠る 寝具・就寝・寝室	襟	キン・えり	衣服の首回り 襟元・開襟・襟章
鉢	ハチ・ハツ	深さのある器 植木鉢・乳鉢・鉢植え	麺	メン	小麦粉などを細長くした食品 麺類・麺棒・素麺

二 いっしょに覚える漢字

字	主な読み	意味の方向／熟語	字	主な読み	意味の方向／熟語
居	キョ・いる	その場所にいる／住む 居間・住居・居住	串	くし	食べ物などを刺す細い棒 串焼き・竹串・串刺し
均	キン	同じにそろう 均等・平均・均衡	釣	チョウ・つる	糸などで引き上げる 釣瓶・魚釣り・釣合い
焼	ショウ・やく・やける	火や熱を加える 焼成・燃焼・焼物	粹	スイ・いき	洗練され気が利く／まじりけがない 粹・純粹・精粹
召	ショウ・めす	呼び寄せる／食べるなどの敬語 召し上がる・召集・召喚	飽	ホウ・あきる・あかす	満ち足りて嫌になる 飽食・飽和・食傷
卓	タク	高い台／優れる 食卓・卓上・卓越	裸	ラ・はだか	衣服や覆いがない 裸足・裸身・全裸
飾	ショク・かざる	美しく付け加える 装飾・服飾・飾り	湧	ユウ・わく	水などが地中から出る 湧水・湧出・湧泉

三 漢字の働きを考えよう

次の問いに答えなさい。

(1) 「住宅」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 布団や枕など眠るときに用いる道具。
- イ 動物が餌を得たり与えられたりする場所。
- ウ 衣服の襟の辺り。
- エ 人が生活するための家や建物。

(2) 「工房」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 植物を植えて育てるための器。
- イ 食事や食器を一人ずつの場所へ配ること。
- ウ 工芸品などを作る仕事場。
- エ 小麦粉などの生地を細長くして作る食品の仲間。

(3) 「寝具」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 動物が餌を得たり与えられたりする場所。
- イ 布団や枕など眠るときに用いる道具。
- ウ 衣服の襟の辺り。
- エ 人が生活するための家や建物。

(4) 「植木鉢」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 植物を植えて育てるための器。
- イ 食事や食器を一人ずつの場所へ配ること。
- ウ 小麦粉などの生地を細長くして作る食品の仲間。
- エ 工芸品などを作る仕事場。

(5) 「餌場」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 衣服の襟の辺り。
- イ 人が生活するための家や建物。
- ウ 布団や枕など眠るときに用いる道具。
- エ 動物が餌を得たり与えられたりする場所。

(6) 「配膳」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 小麦粉などの生地を細長くして作る食品の仲間。
- イ 工芸品などを作る仕事場。
- ウ 食事や食器を一人ずつの場所へ配ること。
- エ 植物を植えて育てるための器。

四 熟語を広げよう

次の文に合う熟語を、語群から選んで書きなさい。

【語群】 住宅 配膳 焼成 工房 襟元 召し上がる 寝具 麺類 食卓 植木鉢 居間 装飾 餌場 均等

- | | |
|---------------------------|----------------------------|
| (1) 駅の近くに新しい集合（ ）が建った。 | (8) そばやうどんなどの（ ）を製造する。 |
| (2) 職人の（ ）には木材と道具が整然と並ぶ。 | (9) 家族は夕食後、（ ）でくつろいだ。 |
| (3) 避難所へ毛布などの（ ）を運んだ。 | (10) 全員へ（ ）に分けるよう、量を測った。 |
| (4) 割れた（ ）を新しいものに取り替えた。 | (11) 形を整えた器を高温で（ ）する。 |
| (5) 森の動物が集まる（ ）を遠くから観察した。 | (12) 来賓が先に料理を（ ）ことになっている。 |
| (6) 食事の時刻に合わせて（ ）を始めた。 | (13) 家族が（ ）を囲み、今日の出来事を話した。 |
| (7) 風が入らないよう、上着の（ ）を整えた。 | (14) 入口を季節の花で（ ）した。 |

五 似た語を使い分けよう

それぞれの語の違いとして、最も適切なものを選びなさい。

(1) 「配膳」と「給餌」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 配膳は動物へ餌を与えること、給餌は人の食事や食器を席へ配ることを表す。
- イ どちらも食べ物配るため、相手と作法の違いを確かめる必要はない。
- ウ 配膳は人の食事や食器を席へ配ること、給餌は動物へ餌を与えることを表す。
- エ 配膳は室内、給餌は屋外に限られる。

(2) 「焼成」と「調理」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 焼成は材料を高温で焼き性質を変え仕上げることを、調理は食材へ手を加えて食べられるようにすることを表す。
- イ 焼成は食材へ手を加えて食べられるようにすること、調理は材料を高温で焼き性質を変え仕上げることを表す。
- ウ どちらも熱を加えるため、器を作る工程か食べ物を整える行為かは同じである。
- エ 焼成は高温、調理は低温だけで行う。

(3) 「食卓」と「食膳」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 食卓は一人分の食事、またはそれを載せる膳、食膳は食事を並べて囲む台やテーブルを表す。
- イ どちらも食事を置く台なので、共同の場合か一人分の膳かは区別しない。
- ウ 食卓は食事を並べて囲む台やテーブル、食膳は一人分の食事、またはそれを載せる膳を表す。
- エ 食卓は洋食、食膳は和食だけに用いる。

(4) 「粋」と「華美」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 粋は洗練され、さっぱりと気が利くこと、華美は飾りが派手ではなやかなことを表す。
- イ 粋は飾りが派手ではなやかなこと、華美は洗練され、さっぱりと気が利くことを表す。
- ウ どちらも美しい装いなので、抑制された洗練か派手さかは同じである。
- エ 粋は黒、華美は赤い衣服だけを表す。

(5) A・Bに入る語の組合せとして、最も適切なものを選びなさい。A「(A)な襟元を見せる」 B「(B)な装飾を施す」

- ア A=華美/B=粋 イ A=粋/B=粋
- ウ A=粋/B=華美 エ A=華美/B=華美

(6) A・Bに入る語の組合せとして、最も適切なものを選びなさい。A「鉢を(A)する」 B「麺を(B)する」

- ア A=調理/B=焼成 イ A=焼成/B=焼成
- ウ A=調理/B=調理 エ A=焼成/B=調理

六 短文で使ってみよう

A カタカナを漢字に直しなさい。

- | | |
|-----------------------------|-----------------------------|
| (1) 会議のあと、まっすぐジタクへ帰った。 | (9) 安全で落ち着けるジュウキョを確保する。 |
| (2) 動物園では決まった時刻にキュウジする。 | (10) 五回の測定値からヘイキンを求めた。 |
| (3) 哺乳類の雌は、チブサから乳を出して子を育てる。 | (11) 酸素がなければ、木はネンショウし続けない。 |
| (4) 季節の料理がショクゼンに美しく並べられた。 | (12) 緊急の会議へ委員をショウシュウした。 |
| (5) 健康のため、毎晩同じ時刻にシュウシンする。 | (13) タクジョウの時計で、残り時間を確認した。 |
| (6) 夏は首元の開いたカイキンシャツを着る。 | (14) 時代ごとのフクショクを、絵画から読み取った。 |
| (7) 薬品をニュウバチですりつぶした。 | (15) 井戸から水をくむツルベが、軒下に残っている。 |
| (8) 生地を均一に伸ばすため、メンボウを使った。 | |

B 次の熟語の読みを書きなさい。

- | | | | | |
|-------------|------------|-------------|-------------|-------------|
| (16) 釣瓶 () | (17) 粹 () | (18) 飽食 () | (19) 裸足 () | (20) 湧水 () |
|-------------|------------|-------------|-------------|-------------|

七 文章の中で考えよう

次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

一つの部屋から暮らしを復元する

旧宅の居間には、食卓、配膳用の膳、植木鉢、寝具が残されていた。隣の工房には焼成前の器と麵棒があり、同じ部屋が時期によって異なる用途をもったらしい。

記録では客に「召し上がる」と書き、家人には「食べる」と記す。敬語の違いは料理の味ではなく、話し手と相手の関係を表す。均等な量でも同じ待遇とは限らない。

【暮らしを読む欄】 場所／用途／使う人／作法／季節

部屋に残る道具を用途別に並べると、朝から夜までの動線が浮かんた。使われた順序は、物の価値とは別である。食卓には麵類と串焼き、井戸の湧水が並び、裏庭には鶏の餌場があった。配膳と給餌を同じ「食事」とまとめず、誰へどの器で与えたかを分けた。

襟元の装飾は粋と評されるが、後世に足された華美な飾りもある。裸足で過ごしたという記述も、貧困、作業、くつろぎなど複数の理由があり得る。井戸の釣瓶、串、鉢は用途が形に表れる一方、転用もされる。釣瓶を植木鉢にした痕があり、発見時の用途を制作時の用途と決めないよう注意した。

飽食の宴を描く絵と、日々の簡素な食膳を並べると、特別な日の記録だけでは普段の暮らしを代表できないと分かる。房室ごとの物の数も一覧にした。二人は戸の擦れ、炉の煤、床の補修を合わせ、そこに暮らした人数と季節を慎重に推定した。

暮らしを精密に読むには、物を一つの用途へ固定しないことが大切だ。場所、使う人、作法、季節を重ねると、食べる・着る・住むが関係の中で営まれた様子が見えてくる。

七 文章の中で考えよう（問い）

本文を根拠にして答えなさい。

(1) 本文中から、「地下水が地表へ自然に湧き出た水」という意味で使われている熟語を抜き出さない。

(2) 「ハイゼン」を漢字 2 字で書きなさい。

(3) 本文中の「釣瓶」の意味として最も近いものを選びなさい。

ア 植物を植えて育てるための器。

イ 井戸の水をくむため縄の先につけて上下させる容器。

ウ 食事を載せる台や一人分の食事。

エ 衣服の襟の辺り。

(4) 「召し上がる」と「食べる」の違いを味の差としなかった理由を選びなさい。

ア 敬語は食事の場では使えないから。

イ 客と家人は必ず同じ言葉を使うから。

ウ 二つの語は料理の内容ではなく、話し手が相手をどう待遇するかの違いを表すから。

エ 味はどの資料からも調べられないから。

(5) 釣瓶を発見時の用途だけで説明しなかったのはなぜか。45～55 字で説明しなさい。

(6) 「用途」「関係」の二語を用い、旧宅の暮らしを復元する方法を 70～90 字でまとめなさい。

三 漢字の働きを考えよう

- | | |
|-------------------------|---------------------------|
| (1) エ 人が生活するための家や建物。 | (4) ア 植物を植えて育てるための器。 |
| (2) ウ 工芸品などを作る仕事場。 | (5) エ 動物が餌を得たり与えられたりする場所。 |
| (3) イ 布団や枕など眠るときに用いる道具。 | (6) ウ 食事や食器を一人ずつの場所へ配ること。 |

四 熟語を広げよう

- | | |
|---------|------------|
| (1) 住宅 | (8) 麺類 |
| (2) 工房 | (9) 居間 |
| (3) 寝具 | (10) 均等 |
| (4) 植木鉢 | (11) 焼成 |
| (5) 餌場 | (12) 召し上がる |
| (6) 配膳 | (13) 食卓 |
| (7) 襟元 | (14) 装飾 |

使い分けを確かめよう：配膳は人の食事や食器を席へ配ること、給餌は動物へ餌を与えることを表す。

五 似た語を使い分けよう

(1) ウ 配膳は人の食事や食器を席へ配ること、給餌は動物へ餌を与えることを表す。

用例：客へ配膳する／鶏へ給餌する

(2) ア 焼成は材料を高温で焼き性質を変え仕上げること、調理は食材へ手を加えて食べられるようにすることを表す。

用例：鉢を焼成する／麺を調理する

(3) ウ 食卓は食事を並べて囲む台やテーブル、食膳は一人分の食事、またはそれを載せる膳を表す。

用例：家族で食卓を囲む／客へ食膳を出す

(4) ア 粋は洗練され、さっぱりと気が利くこと、華美は飾りが派手ではなやかなことを表す。

用例：粋な襟元を見せる／華美な装飾を施す

(5) ウ A=粋、B=華美。(4)の使い分けを参照。

(6) エ A=焼成、B=調理。(2)の使い分けを参照。

六 短文で使ってみよう

(1) 自宅	(11) 燃焼
(2) 給餌	(12) 召集
(3) 乳房	(13) 卓上
(4) 食膳	(14) 服飾
(5) 就寝	(15) 釣瓶
(6) 開襟	(16) つるべ
(7) 乳鉢	(17) いき
(8) 麵棒	(18) ほうしょく
(9) 住居	(19) はだし
(10) 平均	(20) ゆうすい

七 文章の中で考えよう

- (1) 湧水 本文中では「湧水」と表されている。
- (2) 配膳
- (3) イ 井戸の水をくむため縄の先につけて上下させる容器。
- (4) ウ 二つの語は料理の内容ではなく、話し手が相手をどう待遇するかの違いを表すから。
- (5) 解答例（48字）

井戸道具だった釣瓶を後に植木鉢へ転用した痕があり、制作時と発見時では物の働きが変わっていたため。

見る点：本文中の判断と、その理由を結びつけていること

- (6) 解答例（76字）

物が置かれた場所、使った人、季節を比べ、制作時・転用後・発見時の用途を分ける。敬語や配膳の作法も加え、人と物の関係から日常と特別な日の暮らしを復元する。

見る点：指定語を用いたこと／本文の具体と結論を結んだこと

第十七回

精密技術と構造

部品の形・比率・力の伝わり方を結び、性能を仕組みとして説明する。

今日の中心漢字

能 極 似 率 熟 磁 双 架

いっしょに覚える漢字

巨	弦	枢	堀	弧	栓
摩	硫	欄	艦	鐘	釀

極性・相似・弦長・摩耗などを確かめたあと、鐘楼の模型と醸造装置の構造を比較する文章を読みます。

意味の芯 → 熟語 → 使い分け → 短文 → 文章

一今日の中心漢字の芯

字	主な読み	意味の芯／熟語	字	主な読み	意味の芯／熟語
能 極 似 率	ノウ	働き／なし得る力 性能・機能・能力	熟	ジュク・うれる	十分に進む／こなれる 熟成・成熟・熟練
	キョク・ゴク・き わめる・きわま る・きわみ	端／限界／きわめる 極性・南極・究極	磁	ジ	鉄を引き付ける性質 磁力・磁石・地磁気
	ジ・にる・にせる	形や性質が同じに近い 相似・類似・似顔	双	ソウ・ふた	二つで一組 双方向・双方・双眼
	ソツ・リツ・ひき いる	割合／導く 比率・効率・統率	架	カ・かける・かか る	空中へ渡す／組み立てる 架橋・高架・架台

二いっしょに覚える漢字

字	主な読み	意味の方向／熟語	字	主な読み	意味の方向／熟語
巨 弦 枢 堀 弧 栓	キョ	非常に大きい 巨大・巨石・巨額	摩	マ	こする／すり減る 摩耗・摩擦・研摩
	ゲン・つる	弓に張る糸／円周上の二点を結ぶ線 弦長・弦楽・正弦	硫	リュウ	硫黄に関わる 硫黄・硫酸・硫化
	スウ	中心となる大切な所 中枢・枢軸・枢要	欄	ラン	囲い／区切った記入部分 欄干・記入欄・空欄
	クツ・ほり	地面を掘って作った水路や溝 空堀・外堀・堀端	艦	カン	軍用の大きな船 軍艦・艦隊・旗艦
	コ	弓なりの曲線 円弧・括弧・弧状	鐘	ショウ・かね	打って鳴らす金属製の器 鐘楼・釣鐘・警鐘
	セン	穴をふさぐもの 栓・給水栓・血栓	醸	ジョウ・かもす	発酵させて作る／生み出す 醸造・醸成・醸す

三 漢字の働きを考えよう

次の問いに答えなさい。

(1) 「性能」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 機械や材料などが目的に応じて発揮できる能力。
- イ 形が同じで大きさだけが異なる関係。
- ウ 時間をかけて成分や味などが望ましい状態へ変わること。
- エ 二つの側から互いに情報や作用を送れること。

(2) 「極性」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 二つ以上の数量を比べた割合。
- イ 磁石が物を引き付けたり反発させたりする力。
- ウ 橋を架けること、または分子などを橋状につなぐこと。
- エ 電気や磁気などで互いに反対となる二つの性質。

(3) 「相似」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 時間をかけて成分や味などが望ましい状態へ変わること。
- イ 二つの側から互いに情報や作用を送れること。
- ウ 形が同じで大きさだけが異なる関係。
- エ 機械や材料などが目的に応じて発揮できる能力。

(4) 「比率」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 磁石が物を引き付けたり反発させたりする力。
- イ 二つ以上の数量を比べた割合。
- ウ 橋を架けること、または分子などを橋状につなぐこと。
- エ 電気や磁気などで互いに反対となる二つの性質。

(5) 「熟成」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 時間をかけて成分や味などが望ましい状態へ変わること。
- イ 二つの側から互いに情報や作用を送れること。
- ウ 機械や材料などが目的に応じて発揮できる能力。
- エ 形が同じで大きさだけが異なる関係。

(6) 「磁性」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 橋を架けること、または分子などを橋状につなぐこと。
- イ 電気や磁気などで互いに反対となる二つの性質。
- ウ 二つ以上の数量を比べた割合。
- エ 磁石が物を引き付けたり反発させたりする力。

四 熟語を広げよう

次の文に合う熟語を、語群から選んで書きなさい。

【語群】 性能 磁力 中枢 極性 双方向 空堀 相似 架橋 円弧 比率 巨大 栓 熟成 弦長

- | | |
|------------------------------|------------------------------|
| (1) 新型機の（ ）を旧型と比較した。 | (8) 交通を改善するため、川への（ ）工事が始まった。 |
| (2) 磁石にはN極とS極という（ ）がある。 | (9) 海岸に（ ）な岩がそびえている。 |
| (3) 形が同じで大きさだけが異なる図形は（ ）である。 | (10) 円の半径と中心角から（ ）を求める。 |
| (4) 水と粉を2対1の（ ）で混ぜる。 | (11) 司令室は情報網の（ ）を担う。 |
| (5) みそを時間をかけて（ ）させる。 | (12) 城の周りには水を入れない（ ）が掘られていた。 |
| (6) 磁石の（ ）で鉄の釘が引き寄せられた。 | (13) コンパスで滑らかな（ ）を描いた。 |
| (7) 情報を（ ）にやり取りできる仕組みをつくる。 | (14) 使用後はガスの（ ）を確実に閉める。 |

五 似た語を使い分けよう

それぞれの語の違いとして、最も適切なものを選びなさい。

(1) 「性能」と「機能」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 性能は仕組みの中で果たす固有の働き、機能は機械や材料が発揮できる能力の程度を表す。
- イ 性能は機械や材料が発揮できる能力の程度、機能は仕組みの中で果たす固有の働きを表す。
- ウ どちらも物の働きなので、能力の程度か役割かを分ける必要はない。
- エ 性能は新製品、機能は古い道具にだけ用いる。

(2) 「相似」と「合同」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 相似は形も大きさも同じで重ね合わせられる関係、合同は形が同じで大きさが異なり得る関係を表す。
- イ どちらも同じ形なので、大きさが等しいかは関係しない。
- ウ 相似は円、合同は四角形だけに用いる。
- エ 相似は形が同じで大きさが異なり得る関係、合同は形も大きさも同じで重ね合わせられる関係を表す。

(3) 「摩耗」と「腐食」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 摩耗は化学反応などで材料が変質し損なわれること、腐食は表面がこすれ合ってすり減ることを表す。
- イ 摩耗は表面がこすれ合ってすり減ること、腐食は化学反応などで材料が変質し損なわれることを表す。
- ウ どちらも材料が傷むため、機械的なこすれか化学変化かは同じである。
- エ 摩耗は固体、腐食は液体だけに起こる。

(4) 「熟成」と「醸造」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 熟成は微生物の働きで酒や調味料を作る工程、醸造は時間をかけて成分や味が望ましく変わることを表す。
- イ どちらも時間をかけるため、変化の段階か製造工程全体かは区別しない。
- ウ 熟成は酒、醸造は酢にだけ用いる。
- エ 熟成は時間をかけて成分や味が望ましく変わることを、醸造は微生物の働きで酒や調味料を作る工程を表す。

(5) A・Bに入る語の組合せとして、最も適切なものを選びなさい。A「装置の(A)を測る」 B「栓が流れを止める(B)をもつ」

- ア A=性能/B=機能 イ A=機能/B=性能
- ウ A=性能/B=性能 エ A=機能/B=機能

(6) A・Bに入る語の組合せとして、最も適切なものを選びなさい。A「軸が(A)する」 B「硫黄分で金属が(B)する」

- ア A=腐食/B=摩耗 イ A=摩耗/B=腐食
- ウ A=摩耗/B=摩耗 エ A=腐食/B=腐食

六 短文で使ってみよう

A カタカナを漢字に直しなさい。

- | | |
|------------------------------|----------------------------|
| (1) 新しいキノウを端末へ追加した。 | (9) 復旧にはキョガクの費用が必要になる。 |
| (2) 果実が十分にセイジユクしてから収穫した。 | (10) 靴底と地面のマサツによって、滑らず歩ける。 |
| (3) 議論の末、これがキュウキョクを選択だと判断した。 | (11) 室内楽で美しいゲンガク四重奏を聴いた。 |
| (4) 方位磁針のジシャクが北を指した。 | (12) 三国は共同戦線のスウジクを形成した。 |
| (5) 二つの模様には、形のルイジが見られる。 | (13) 城のソトボリに沿って、遊歩道が延びる。 |
| (6) ソウホウの話を聞いてから、争いを判断した。 | (14) 引用した語をカッコで囲んだ。 |
| (7) 作業のコウリツを上げるため、手順を見直した。 | (15) 血管内にケッセンができ、流れを妨げた。 |
| (8) 駅前の道路をまたぐコウカ橋を渡った。 | |

B 次の熟語の読みを書きなさい。

- | | | | | |
|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| (16) 硫黄 () | (17) 欄干 () | (18) 軍艦 () | (19) 鐘楼 () | (20) 醸造 () |
|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|

七 文章の中で考えよう

次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

鐘楼の模型は本物と同じか

展示の鐘楼模型は実物の十分の一で、柱と円弧は相似に作られていた。しかし材料、接合、比率まで同じではなく、模型の性能を実物と合同だとは言えない。

鐘を支える架橋部では弦長と荷重を測り、欄干の高さ、空堀までの距離も記した。巨大な軍艦の模型と同様、縮尺が同じでも力の伝わり方は大きさによって変わる。

模型の寸法を実物の比率へ戻すと、細い部材に予想以上の力がかかった。見た目の相似だけでは働きまで再現できない。

回転軸の中枢には栓があり、摩耗で隙間が増えていた。硫黄分による腐食も見られる。すり減りと化学変化を分けなければ、修理方法を選べない。

磁石の極性を利用した双方向の検知器は、鐘の揺れを記録する。

【構造を読む欄】 部品／形／比率／接合／力／劣化

機能は揺れを検出すること、性能はどの小さな揺れまで測れるかである。似た語でも問いが違う。

隣の醸造装置では、温度と時間が熟成率へ影響した。発酵を起こす構造と、味を整える期間を分け、装置の図へ液体と熱の流れを示した。

悠人は部品を巨大に描くだけでなく、力の矢印を太さで表した。真央は模型で再現できる形と、再現できない材質・時間を凡例へ書き、限界を隠さなかった。

試験では音の高さ、揺れ、支柱の変形を別々に測った。『同じ』と言える範囲を項目ごとに示した。

精密技術を読むとは、部品名を多く覚えるだけではない。形、比率、接合、力、劣化をつなぎ、どの機能がどの構造から生まれ、性能を何で測ったかを説明することである。

七 文章の中で考えよう（問い）

本文を根拠にして答えなさい。

(1) 本文中から、「表面がこすれ合って少しずつすり減ること」という意味で使われている熟語を抜き出ささい。

(2) 「ソウホウコウ」を漢字 3 字で書きなさい。

(3) 本文中の「極性」の意味として最も近いものを選びなさい。

- ア 機械や材料が目的に応じて発揮する能力。
- イ 形が同じで大きさだけが異なる関係。
- ウ 電気や磁気などで互いに反対となる二つの性質。
- エ 組織や仕組みを支配する中心部分。

(4) 模型の性能を実物と同じとしなかった理由として最も適切なものを選びなさい。

- ア 模型には形が一つも再現されていないから。
- イ 形が相似でも材料・接合・大きさが異なれば、力の伝わり方や測れる範囲が変わるから。
- ウ 相似な物は必ず用途が反対になるから。
- エ 実物の鐘楼には柱がないから。

(5) 摩耗と腐食を分けて記録したのはなぜか。45～55 字で説明しなさい。

(6) 「機能」「性能」の二語を用い、装置の構造を説明する方法を 70～90 字でまとめなさい。

三 漢字の働きを考えよう

(1) ア 機械や材料などが目的に応じて発揮できる能力。

(4) イ 二つ以上の数量を比べた割合。

(2) エ 電気や磁気などで互いに反対となる二つの性質。

(5) ア 時間をかけて成分や味などが望ましい状態へ変わること。

(3) ウ 形が同じで大きさだけが異なる関係。

(6) エ 磁石が物を引き付けたり反発させたりする力。

四 熟語を広げよう

(1) 性能

(8) 架橋

(2) 極性

(9) 巨大

(3) 相似

(10) 弦長

(4) 比率

(11) 中枢

(5) 熟成

(12) 空堀

(6) 磁力

(13) 円弧

(7) 双方向

(14) 栓

使い分けを確かめよう：性能は機械や材料が発揮できる能力の程度、機能は仕組みの中で果たす固有の働きを表す。

五 似た語を使い分けよう

(1) イ 性能は機械や材料が発揮できる能力の程度、機能は仕組みの中で果たす固有の働きを表す。

用例：装置の性能を測る／栓が流れを止める機能をもつ

(2) エ 相似は形が同じで大きさが異なり得る関係、合同は形も大きさも同じで重ね合わせられる関係を表す。

用例：大小の弧が相似になる／二つの部材が合同である

(3) イ 摩耗は表面がこすれ合ってすり減ること、腐食は化学反応などで材料が変質し損なわれることを表す。

用例：軸が摩耗する／硫黄分で金属が腐食する

(4) エ 熟成は時間をかけて成分や味が望ましく変わること、醸造は微生物の働きで酒や調味料を作る工程を表す。

用例：液を熟成させる／味噌を醸造する

(5) ア A＝性能、B＝機能。(1)の使い分けを参照。

(6) イ A＝摩耗、B＝腐食。(3)の使い分けを参照。

六 短文で使ってみよう

(1) 機能	(11) 弦楽
(2) 成熟	(12) 枢軸
(3) 究極	(13) 外堀
(4) 磁石	(14) 括弧
(5) 類似	(15) 血栓
(6) 双方	(16) いおう
(7) 効率	(17) らんかん
(8) 高架	(18) ぐんかん
(9) 巨額	(19) しょうろう
(10) 摩擦	(20) じょうぞう

七 文章の中で考えよう

- (1) 摩耗 本文中では「摩耗」と表されている。
- (2) 双方向
- (3) ウ 電気や磁気などで互いに反対となる二つの性質。
- (4) イ 形が相似でも材料・接合・大きさが異なれば、力の伝わり方や測れる範囲が変わるから。
- (5) 解答例（48 字）

摩耗はこすれによる減り、腐食は化学反応による変質で、原因に応じて点検箇所と修理方法が異なるため。

見る点：本文中の判断と、その理由を結びつけていること

- (6) 解答例（76 字）

部品の形・比率・接合と力の流れを図へ示し、装置の機能がどの構造から生じるかを説明する。性能は測定条件と限界を添え、模型と実物で再現できない点も明記する。

見る点：指定語を用いたこと／本文の具体と結論を結んだこと

第十八回

典礼・思想・象徴

形に表れた意味を一つへ閉じず、典礼・思想・受け手の関係から読む。

今日の中心漢字

芸 史 演 秀 亭 魅 刹 譜

いっしょに覚える漢字

昭	俳	聖	仙	冠	彩
坊	崇	碁	魔	籠	象※

古刹・楽譜・崇拜・象徴などを確かめたあと、最終展示の中心作品が担う複数の意味を読み解きます。

※再会漢字：象（第二冊第十八回）

意味の芯 → 熟語 → 使い分け → 短文 → 文章

一 今日の中心漢字の芯

字	主な読み	意味の芯／熟語	字	主な読み	意味の芯／熟語
芸	ゲイ	身につけた技／表現の技 芸術・芸能・工芸	亭	テイ	小さな建物／店 茶亭・料亭・亭主
史	シ	過去の記録 歴史・史料・史実	魅	ミ	人の心を引き付ける 魅力・魅了・魅惑
演	エン	広げて示す／演じる 演目・演技・講演	刹	サツ・セツ	寺／きわめて短い時間 古刹・名刹・刹那
秀	シュウ・ひいでる	抜きん出て優れる 秀作・優秀・秀麗	譜	フ	順序立てた記録／音符の記録 楽譜・系譜・年譜

二 いっしょに覚える漢字

字	主な読み	意味の方向／熟語	字	主な読み	意味の方向／熟語
昭	ショウ	明るい／明らか 昭和・昭然・昭代	坊	ボウ・ボツ	僧の住まい／人への呼び名 僧坊・坊主・宿坊
俳	ハイ	おどけた芸／俳句 俳句・俳人・俳優	崇	スウ・あがめる	尊いものとして敬う 崇拜・崇高・尊崇
聖	セイ	知徳が優れる／神聖 聖地・聖人・神聖	碁	ゴ	白黒の石を使う盤上遊戯 囲碁・碁盤・棋譜
仙	セン	世俗を離れた不老の人 仙人・仙境・歌仙	魔	マ	人を惑わすもの／不思議な力 魔除け・悪魔・魔力
冠	カン・かんむり	頭にかぶるもの／最高 冠位・王冠・冠する	籠	ロウ・かご・こも る	編んだ入れ物／中にこもる 灯籠・籠・籠城
彩	サイ・いろどる	色を付け美しくする 彩色・色彩・光彩	象 ※	ショウ・ゾウ	再会：形として現れるもの／大きな 動物 象徴・現象・印象

三 漢字の働きを考えよう

次の問いに答えなさい。

(1) 「芸術」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 演劇・舞踊・音楽などで上演する作品や内容。
- イ 技法や想像力によって価値ある表現を生み出す活動。
- ウ 茶を出したり休憩したりする小さな建物。
- エ 古くから続き由緒のある寺。

(2) 「歴史」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 過去の出来事とその変化を記録し考えること。
- イ 多くの作品の中でも特に優れた作品。
- ウ 人の心を強く引き付ける性質やよさ。
- エ 音の高さや長さなどを記号で書き表したもの。

(3) 「演目」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 茶を出したり休憩したりする小さな建物。
- イ 古くから続き由緒のある寺。
- ウ 技法や想像力によって価値ある表現を生み出す活動。
- エ 演劇・舞踊・音楽などで上演する作品や内容。

(4) 「秀作」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 人の心を強く引き付ける性質やよさ。
- イ 音の高さや長さなどを記号で書き表したもの。
- ウ 多くの作品の中でも特に優れた作品。
- エ 過去の出来事とその変化を記録し考えること。

(5) 「茶亭」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 古くから続き由緒のある寺。
- イ 茶を出したり休憩したりする小さな建物。
- ウ 技法や想像力によって価値ある表現を生み出す活動。
- エ 演劇・舞踊・音楽などで上演する作品や内容。

(6) 「魅力」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 人の心を強く引き付ける性質やよさ。
- イ 音の高さや長さなどを記号で書き表したもの。
- ウ 過去の出来事とその変化を記録し考えること。
- エ 多くの作品の中でも特に優れた作品。

四 熟語を広げよう

次の文に合う熟語を、語群から選んで書きなさい。

【語群】 芸術 魅力 聖地 歴史 古刹 仙人 演目 楽譜 冠位 秀作 昭和 彩色 茶亭 俳句

- | | |
|----------------------------|------------------------------|
| (1) 暮らしを映す作品も（ ）の大切な一分野だ。 | (8) 初めて見る曲なので、（ ）を追いながら演奏した。 |
| (2) 町の（ ）を古文書と写真からたどった。 | (9) この建物は（ ）の初めに建てられた。 |
| (3) 上演される（ ）を入口の掲示で確認した。 | (10) 季語を一つ選び、五・七・五の（ ）を作った。 |
| (4) 若い画家の（ ）が美術館に収蔵された。 | (11) 巡礼者が各地からその（ ）を訪れる。 |
| (5) 庭園の（ ）で抹茶をいただいた。 | (12) 物語では、山奥の（ ）が不思議な術を使う。 |
| (6) 古い町並みには、年月を重ねた（ ）がある。 | (13) 聖徳太子は才能や功績に応じて（ ）を定めた。 |
| (7) 旅の途中、山あい建つ由緒ある（ ）を訪ねた。 | (14) 仏像に残る鮮やかな（ ）を調査した。 |

五 似た語を使い分けよう

それぞれの語の違いとして、最も適切なものを選びなさい。

(1) 「象徴」と「装飾」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 象徴は目に見えない考えや価値を形で表すこと、装飾は物や空間を美しく見せるため飾りを加えることを表す。
- イ 象徴は物や空間を美しく見せるため飾りを加えること、装飾は目に見えない考えや価値を形で表すことを表す。
- ウ どちらも形を用いるため、意味を担うか美しく見せるかは区別しない。
- エ 象徴は古い物、装飾は新しい物だけに見られる。

(2) 「崇拜」と「尊敬」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 崇拜は人の人格や行為を優れたものとして敬うこと、尊敬は神聖・偉大と考えるものを深く敬うことを表す。
- イ どちらも敬う感情なので、信仰上の対象か人の価値への評価かは同じである。
- ウ 崇拜は神聖・偉大と考えるものを深く敬うこと、尊敬は人の人格や行為を優れたものとして敬うことを表す。
- エ 崇拜は集団、尊敬は個人だけが抱く。

(3) 「楽譜」と「棋譜」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 楽譜は音の高さや長さなどを記号で表したものの、棋譜は囲碁などの対局の手順を記録したものを表す。
- イ 楽譜は囲碁などの対局の手順を記録したものの、棋譜は音の高さや長さなどを記号で表したものを表す。
- ウ どちらも順序を記すため、音の構成か盤上の手順かは区別しない。
- エ 楽譜は芸術、棋譜は歴史資料にならない。

(4) 「史実」と「伝承」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 史実は人から人へ語り継がれてきた内容、伝承は資料によって実際に起きたと確かめられる事柄を表す。
- イ どちらも過去を語るため、資料による確認の程度は同じである。
- ウ 史実は資料によって実際に起きたと確かめられる事柄、伝承は人から人へ語り継がれてきた内容を表す。
- エ 史実は文字、伝承は音声だけで残る。

(5) A・Bに入る語の組合せとして、最も適切なものを選びなさい。A「聖像を（A）する」 B「師の研究を（B）する」

- ア A＝尊敬／B＝崇拜 イ A＝崇拜／B＝崇拜
- ウ A＝崇拜／B＝尊敬 エ A＝尊敬／B＝尊敬

(6) A・Bに入る語の組合せとして、最も適切なものを選びなさい。A「（A）を年表へ置く」 B「仙人の（B）を紹介する」

- ア A＝伝承／B＝史実 イ A＝史実／B＝史実
- ウ A＝伝承／B＝伝承 エ A＝史実／B＝伝承

六 短文で使ってみよう

A カタカナを漢字に直しなさい。

- | | |
|-----------------------------|------------------------------|
| (1) 地域に伝わるゲイノウを、若い世代が受け継いだ。 | (9) 古文では、平和で明るい御代をショウダイと表す。 |
| (2) 記念日に古いリョウテイで食事をした。 | (10) 寺のボウズから、仏像の由来を聞いた。 |
| (3) 複数のシリョウを比べ、出来事を確かめた。 | (11) 江戸のハイジンが詠んだ句を味わった。 |
| (4) 美しい歌声が聴衆をミリョウした。 | (12) 人々を導いた人物は、後世にセイジンと呼ばれた。 |
| (5) 役者のエンギから、言葉にない感情を読み取った。 | (13) 深い山は、俗世を離れたセンキョウのようだった。 |
| (6) 山中のメイサツを訪ね、庭を拝観した。 | (14) 博物館に、王が用いたオウカンが展示されている。 |
| (7) ユウシュウな成績を収め、表彰された。 | (15) 秋の山の豊かなシキサイを写真に収めた。 |
| (8) 家のケイフをたどり、祖先の移動を調べた。 | |

B 次の熟語の読みを書きなさい。

- | | | | | |
|-------------|-------------|--------------|-------------|-------------|
| (16) 崇拜 () | (17) 囲碁 () | (18) 魔除け () | (19) 灯籠 () | (20) 象徴 () |
|-------------|-------------|--------------|-------------|-------------|

七 文章の中で考えよう

次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

一つの像にいくつの意味があるか

最終展示の中心には、古刹から伝わる彩色像が置かれた。芸術作品としての魅力、聖なる対象としての崇拜、町の歴史を示す象徴が重なり、一つの説明だけでは足りない。

【象徴を読む手がかり】形／典礼／物語／時代／受け手

昭和期の修理で冠と灯籠が加えられ、僧坊の記録には魔除けの役割も書かれる。後世の装飾を創建時の意味へ戻さず、どの時代に何が加わったかを層に分けた。

像の持ち物は時代によって取り替えられ、呼び名も変わっていた。一つの形へ一つの意味だけを固定できない。茶亭で演じられた演目の楽譜、俳句、囲碁の棋譜も像の周囲に残る。音、言葉、盤上の手順は異なるが、どれも人々が集まり意味を共有した痕跡である。

仙人の伝承は魅力的だが、史実と同じ確かさではない。一方、事実でないから無価値とも限らず、人々が何を願い、何を恐れたかを示す資料として位置づけた。

「秀作」「崇高」という評価は、誰の言葉かを添えた。聖地とする人、芸能の舞台と見る人、古い建物として守る人では、同じ古刹の意味が異なる。

悠人と真央は象徴を一語で解説せず、形・典礼・伝承・修理・現在の受け止め方を放射状に結んだ。矢印は一方向にせず、物が人へ、人が物へ意味を与える関係を示した。

最後の展示では、制作当初、後世の信仰、現在の保存という三つの時間を重ねた。読みの変化も像の歴史だからである。

高度な表現を究めるとは、難しい語で意味を閉じることではない。細かな違いを根拠とともに示しながら、複数の読みがどこから生まれるかを開いておくことで、言葉は物と人を結ぶ。

七 文章の中で考えよう（問い）

本文を根拠にして答えなさい。

（1）本文中から、「目に見えない考えや価値を具体的な物や形で表すこと」という意味で使われている熟語を抜き出しなさい。

（2）「コサツ」を漢字 2 字で書きなさい。

（3）本文中の「楽譜」の意味として最も近いものを選びなさい。

ア 囲碁などの対局の手順を記録したもの。

イ 古くから続き由緒のある寺。

ウ 絵や彫刻へ色を塗って仕上げること。

エ 音の高さや長さなどを記号で書き表したもの。

（4）仙人の伝承を史実と同じにせず、展示からも除かなかった理由を選びなさい。

ア 事実としての確かさは異なるが、人々の願いや恐れを伝える文化資料になるから。

イ 伝承は必ず史実より正確だから。

ウ 歴史展示では事実を示してはならないから。

エ 仙人は昭和期の人物だと確認されたから。

（5）中心作品を「象徴」の一語だけで説明しなかったのはなぜか。45～55 字で説明しなさい。

（6）「根拠」「複数」の二語を用い、象徴を読み解く方法を 70～90 字でまとめなさい。

三 漢字の働きを考えよう

- (1) イ 技法や想像力によって価値ある表現を生み出す活動。
- (2) ア 過去の出来事とその変化を記録し考えること。
- (3) エ 演劇・舞踊・音楽などで上演する作品や内容。
- (4) ウ 多くの作品の中でも特に優れた作品。
- (5) イ 茶を出したり休憩したりする小さな建物。
- (6) ア 人の心を強く引き付ける性質やよさ。

四 熟語を広げよう

- | | |
|--------|---------|
| (1) 芸術 | (8) 楽譜 |
| (2) 歴史 | (9) 昭和 |
| (3) 演目 | (10) 俳句 |
| (4) 秀作 | (11) 聖地 |
| (5) 茶亭 | (12) 仙人 |
| (6) 魅力 | (13) 冠位 |
| (7) 古刹 | (14) 彩色 |

使い分けを確かめよう：象徴は目に見えない考えや価値を形で表すこと、装飾は物や空間を美しく見せるため飾りを加えることを表す。

五 似た語を使い分けよう

(1) ア 象徴は目に見えない考えや価値を形で表すこと、装飾は物や空間を美しく見せるため飾りを加えることを表す。

用例：鶴を長寿の象徴とする／冠へ装飾を加える

(2) ウ 崇拜は神聖・偉大と考えるものを深く敬うこと、尊敬は人の人格や行為を優れたものとして敬うことを表す。

用例：聖像を崇拜する／師の研究を尊敬する

(3) ア 楽譜は音の高さや長さなどを記号で表したもの、棋譜は囲碁などの対局の手順を記録したものを表す。

用例：楽譜を見て演奏する／棋譜で囲碁の一局を再現する

(4) ウ 史実は資料によって実際に起きたと確かめられる事柄、伝承は人から人へ語り継がれてきた内容を表す。

用例：史実を年表へ置く／仙人の伝承を紹介する

(5) ウ A＝崇拜、B＝尊敬。(2)の使い分けを参照。

(6) エ A＝史実、B＝伝承。(4)の使い分けを参照。

六 短文で使ってみよう

(1) 芸能	(11) 俳人
(2) 料亭	(12) 聖人
(3) 史料	(13) 仙境
(4) 魅了	(14) 王冠
(5) 演技	(15) 色彩
(6) 名刹	(16) すうはい
(7) 優秀	(17) いご
(8) 系譜	(18) まよけ
(9) 昭代	(19) とうろう
(10) 坊主	(20) しょうちょう

七 文章の中で考えよう

- (1) 象徴 本文中では「象徴」と表されている。
- (2) 古刹
- (3) エ 音の高さや長さなどを記号で書き表したもの。
- (4) ア 事実としての確かさは異なるが、人々の願いや恐れを伝える文化資料になるから。
- (5) 解答例 (46 字)

芸術、崇拜、歴史、後世の修理など、時代と受け手によって異なる意味が同じ像に重なっていたため。

見る点：本文中の判断と、その理由を結びつけていること

- (6) 解答例 (76 字)

形、典礼、伝承、修理の時代を分け、それぞれの意味を支える根拠を示す。史実と評価を混ぜず、受け手による複数の読みがどこから生じたかを関係として開いておく。

見る点：指定語を用いたこと／本文の具体と結論を結んだこと